

第4節 中近世

(1) 遺構

この時期は、文化層の第1面に相当する。確認面・遺構検出面は主に第1層下面から第Ⅲ層上面にかけてであり、基本土層の第Ⅱ層が包含層である。

検出された遺構は掘立柱建物5棟や礎石建物2棟、それに土坑93基、ピット194基、石垣2か所、溝5本などであり、自然地形の谷地が2か所確認されている。

1 土坑

中近世と考えられる土坑は93基検出されている。形状や大きさ、深さ、それに埋没土の様子からいくつかに分類も可能で、用途も墓から廃棄穴など何種類かが考えられるが、ここではそのまま収録する。

412号土坑(第81・82図、P.L.38・76)

52区U-25グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸2.22m、短軸1.20m、深さ0.38mである。主軸方位は、N-70°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面は堅くしまっている。遺構確認面からの深さは約0.4mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としている。遺物は軟質陶器の植木鉢を中心に、寛永通寶(裏に「元」)が出土している。

263号土坑(第83図、P.L.28)

71区U・V-4グリッドに位置する。形状は隅丸方形。規模は長軸1.95m、深さ0.37mである。分類は3類。重複関係はない。床面は堅くしまっている。遺構確認面からの深さは約0.4mと浅く、壁はやや緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

264号土坑(第83図、P.L.28・29)

71区Q-6グリッドに位置する。形状は不定形。規模は長さ0.95m、深さ0.14mである。分類は3類。重複関係は265号土坑とで、265号土坑より新しい。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.1mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

265号土坑(第83図、P.L.28・29)

71区Q-6グリッドに位置する。形状は隅丸方形。規模は長さ1.08m、深さ0.14mである。分類は3類。重複関係は264・266号土坑とで、264号土坑より古く、266号土坑より新しい。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。

266号土坑(第83図、P.L.28・29)

71区Q-6グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸0.75m、短軸0.60m、深さ0.15mである。主軸方位は、N-33°-Wである。分類は3類。重複関係は265・267号土坑とで、265号土坑より古く、267号土坑より新しい。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。

267号土坑(第83図、P.L.28・29)

71区Q-6グリッドに位置する。形状は隅丸方形。規模は長さ0.32m、深さ0.24mである。分類は3類。重複関係は266号土坑とで、266号土坑より古い。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。

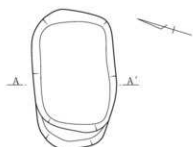
268号土坑(第83図、P.L.29・76)

71区R-5グリッドに位置する。形状は不定形。規模は長さ1.55m、深さ0.18mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。

269号土坑(第83図、P.L.29・76)

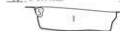
71区S-5グリッドに位置する。形状は不定形。規模は長さ0.90m、深さ0.27mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

第3章 検出された遺構と遺物

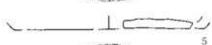
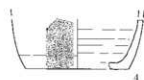
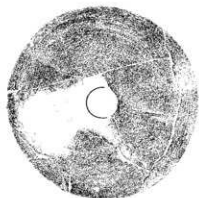
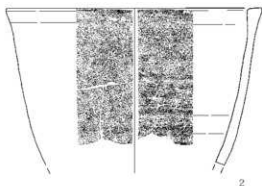


A. 1-977.90m

A' 412号土坑



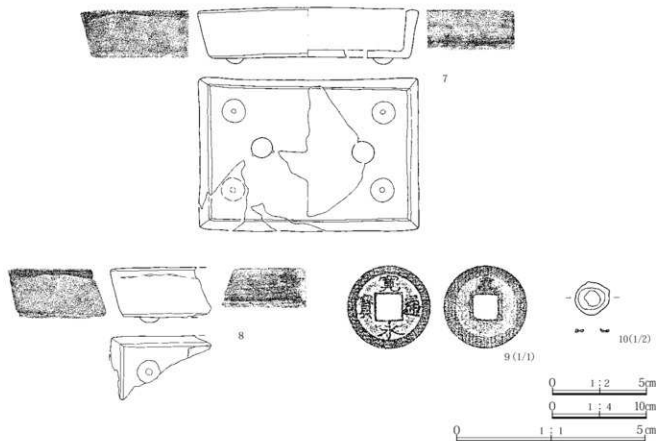
1. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒含む、締りあり、粘性弱、近現代遺物多含。



0 1:60 2m

0 1:4 10cm

第81図 412号土坑、出土遺物(1)



第82図 412号土坑出土遺物(2)

270号土坑(第83図、P L.29)

71区N-10グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸1.12m、短軸0.95m、深さ0.20mである。主軸方位は、N-50°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第IV層から第V層を中心としている。

272号土坑(第84図、P L.29)

71区N-9グリッドに位置する。形状は円形。規模は径(0.80)m、深さ0.29mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第III層を中心としている。

273号土坑(第84図、P L.29)

71区P・Q-8グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長さ2.24m、深さ(0.45)mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認

面からの深さは約0.5mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第II層から第III層を中心としている。

274号土坑(第84図、P L.29)

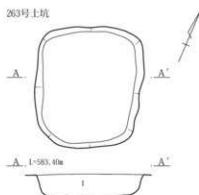
71区N-9グリッドに位置する。形状はほぼ円形。規模は径(0.94)m、深さ0.25mである。分類は3類。重複関係は278号土坑とで、278号土坑より新しい。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第III層を中心としている。

275号土坑(第83図、P L.30)

71区R-5グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.70m、深さ0.21mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第III層を中心としている。

第3章 検出された遺構と遺物

263号土坑



263号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) 黒褐色土大塊含む、締りやや弱、粘性あり。

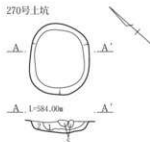
268号土坑



268号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) As-YpK少含、ローム粒多含、炭化物・焼土粒含む、締りやや弱、粘性強。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム大塊・粒多含、締りやや弱、粘性強。

270号土坑

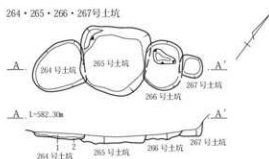


270号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) As-YpK・ローム粒少含、礫・炭化物含む、締りあり、粘性あり。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒多含、ローム小塊少含、締りややあり、粘性あり。



264・265・266・267号土坑



264号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 黄褐色粒 ϕ 0.1cm少含、灰白色軽石微含、締りあり、粘性あり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) ローム大塊・粒多含、黄褐色粒 ϕ 0.1cm少含、締りやや弱、粘性あり。

265号土坑

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) 黄褐色粒 ϕ 1.0~2.0cm少含、炭化物多含、締りやや弱、粘性あり。

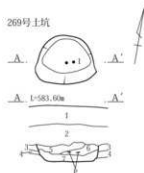
266号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色粒 ϕ 1.0cm少含、ローム粒少含、締りあり、粘性強。

267号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒多含、灰白色軽石少含、締りあり、粘性強。

269号土坑



269号土坑

1. 褐色土(10YR4/4) 表土盛上、締り弱、粘性弱。
2. 暗褐色土(10YR3/3) As-YpK少含、締り弱、粘性弱。
3. 黒褐色土(10YR3/1) 黄褐色粒少含、締りやや弱、粘性弱。
4. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒多含、ローム小塊少含、締りあり、粘性あり。
5. 黒褐色土(10YR3/1) 炭化物・焼土粒微含、締りややあり、粘性あり。
6. 灰黄褐色土(10YR4/2) 暗褐色土含む、ローム小塊・粒少含、礫含む、締りややあり、粘性あり。
7. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒多含、ローム大塊含む、締りあり、粘性あり。



第83図 263~270号土坑、268・269号土坑出土遺物

280号土坑(第57図、P.L.30)

71区Q-8グリッドに位置する。形状は楕円形と推定される。規模は長軸(0.94)m、短軸(0.78)m、深さ0.48mである。主軸方位は、N-35°-Wである。分類は3類。重複関係は282・283号土坑とで、282・283号土坑より新しい。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.5mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としている。

282号土坑(第57図、P.L.30)

71区Q-8グリッドに位置する。280・283号土坑との重複関係により、形状は楕円形?規模は長軸(1.90)m、短軸(1.88)m、深さ1.04mである。主軸方位は、N-35°-Wである。分類は3類。重複関係は280・283号土坑とで280号土坑より古く、283号土坑より新しい。床面は一部の検出ながら、ややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約1.0mとやや深く、残りのよい西壁はほぼ垂直に立ち上がるが、陥し穴とは認定しなかった。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

285号土坑(第84図、P.L.30)

62区L-19グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.60m、深さ0.33mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としている。

286号土坑(第84図、P.L.30)

62区L-20グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.54m、深さ0.32mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としている。形状や堆積状況などが285号土坑と類似している。

287号土坑(第84図、P.L.30)

62区L-20グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.60m、深さ0.55mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.6mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没

土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としている。形状や堆積状況から285・286号土坑と類似している。

290号土坑(第85図、P.L.30)

71区O-7・8グリッドに位置する。形状は円形。規模は径1.18m、深さ0.59mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.6mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としているが、ローム土や軽石が含まれる。

292号土坑(第85図、P.L.30)

71区M-9グリッドに位置する。形状は円形か?規模は径0.90m、深さ0.12mである。分類は3類。重複関係は279号土坑とで、279号土坑より新しい。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.1mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としている。

293号土坑(第85図、P.L.31)

71区N-10グリッドに位置する。形状は円形。規模は径1.10m、深さ0.29mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としている。

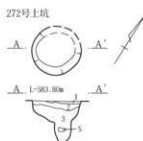
295号土坑(第85図、P.L.31)

71区N-10グリッドに位置する。形状は不定形。規模は長軸1.90m、深さ0.28mである。分類は3類。重複関係は119号ピットとで、新旧関係は不明である。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としている。

309号土坑(第85図、P.L.31)

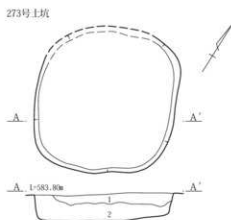
71区M-5グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸0.64m、短軸0.45m、深さ0.20mである。主軸方位は、N-65°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは0.2mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土

第3章 検出された遺構と遺物



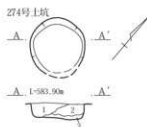
272号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム小塊・粒多含、締りあり、粘性あり。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒多含、焼土粒・炭化物含む、締りあり、粘性あり。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色粒φ約0.5～1.0mm少含、As-YPK少含、炭化物含む、締りやや弱、粘性あり。



273号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) As-YPK・ローム粒少含、締り弱、粘性ややあり。
2. 暗褐色土(10YR3/4) 礫φ約1.0～3.0cm多含、黒褐色土含む、締り弱、粘性ややあり。



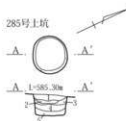
274号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) As-YPK少含、焼土粒含む、締りやや弱、粘性あり。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 炭化物・黄褐色粒含む、As-YPK微含、締りあり、粘性あり。
3. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム粒多含、As-YPK少含、締りあり、粘性あり。



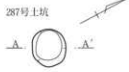
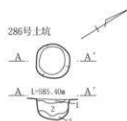
275号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/2) ローム小塊・粒少含、締りあり、粘性あり。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム大塊・粒多含、締りあり、粘性あり。



285号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/2) 砂質土、ローム粒・炭化物含む、締りあり、粘性弱。
2. 灰黄褐色土(10YR6/2) 砂質土、粗粒、締り弱、粘性なし。
3. にぶい黄褐色土(10YR6/3) 砂質土、明黄褐色ローム塊状に堆積、締りやや弱、粘性なし。
4. 褐灰色土(10YR4/2) 砂質土、ローム塊含む、締りややあり、粘性なし。
5. 黒褐色土(10YR3/1) 砂質土、暗赤褐色土(2.5YR3/6)との互層、水成堆積の様相、締りややあり、粘性なし。



287号土坑

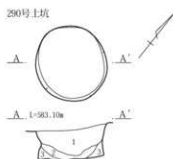
1. 黒褐色土(10YR3/1) 黒色土(10YR2/1)が部分的に混じる、ローム粒、軽石粒もわずかに混じる、締りあり。
2. 砂礫層 軽石粒もわずかに混じる、締りややあり。
3. 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロックが部分的に混じる、締りあり。
4. 黒褐色土(10YR3/1) 締りあり。
5. 暗褐色土(10YR3/3) 締りあり。
6. 黒色土(10YR2/1) ロームブロックが部分的に混じる、締りややあり、粘性ややあり。

286号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/2) 砂質土、ローム粒・炭化物含む、締りあり、粘性弱。
2. にぶい黄褐色土(10YR6/3) 砂質土、明黄褐色ローム塊状に堆積、締りやや弱、粘性なし。
3. 黒褐色土(10YR3/1) 砂質土、ローム小塊含む、締りややあり、粘性ややあり。



第84図 272～275・285～287号土坑



290号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック多含、1~30mmの軽石粒も部分的に混じる、締りあり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 1~5mmの軽石粒を微含、ローム粒も僅含、締りややあり。
3. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粘、ブロックを部分的に含む、締りややあり。



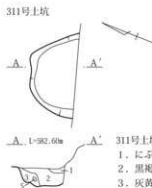
293号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 軽石粒・ローム粒微含、締りあり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 1層より軽石粒、ローム粒ともやや多い、焼土粒微含、締りややあり、粘性ややあり。



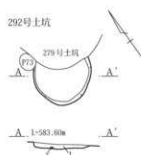
309号土坑

1. にふい黄褐色土(10YR4/3) 小礫・As-YFk少含、炭化物含む、締り弱、粘性なし。
2. にふい黄褐色土(10YR5/4) As-YFk多含、締り弱、粘性なし。



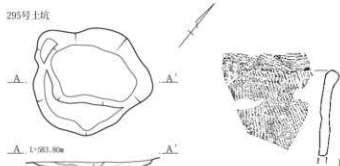
311号土坑

1. にふい黄褐色土(10YR5/4) ローム小塊・炭化物含む、締り弱、粘性あり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 黒色土含む、ローム約1.0cm塊・粒少含、締りややあり、粘性強。
3. 灰黄褐色土(10YR3/1) ローム粒・小塊含む、小礫含む、締り弱、粘性あり。



292号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) As-YFk微含、ローム小塊・粒含む、白色軽石φ約0.1cm大・炭化物含む、締りややあり、粘性弱。



295号土坑

295号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/2) As-YFk微含、ローム小塊少含、締りあり、粘性弱
2. にふい黄褐色土(10YR5/3) ローム約5.0~10.0cm大塊多含、ローム粒微、締りあり、粘性弱。



310号土坑

310号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム約5.0~10.0cm塊含む、締り弱、粘性ややあり。

0 1:60 2m

0 1:3 10cm

第85図 290・292・293・295・309~311号土坑、295号土坑出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としている。

310号土坑(第85図、P L.31)

71区O-5グリッドに位置する。形状は隅丸方形。規模は長軸1.32m、深さ0.18mである。分類は3類。重複関係は156号ピットとで、156号ピットより古い。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としている。

311号土坑(第85図、P L.31)

71区O-5グリッドに位置する。南側が調査区域外のため、形状は不明。規模は長軸(0.70)m、短軸1.32m、深さ0.31mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としている。

312号土坑(第86図、P L.31)

71区N-5グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸1.10m、短軸0.75m、深さ0.20mである。主軸方位は、N-18°-Wである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅳ層から第Ⅴ層を中心としている。下層に焼土を含む。

317号土坑(第86図、P L.31)

71区T-4グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸1.48m、短軸1.25m、深さ0.59mである。主軸方位は、N-70°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.6mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としている。

319号土坑(第86図、P L.31・32・76)

62区O-15・16グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.94m、深さ0.39mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.4mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。

埋没土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としている。遺物は縄文時代前期後半の土器が出土している。

320号土坑(第86図、P L.32)

71区Q-5グリッドに位置する。形状は円形。規模は径1.20m、深さ0.20mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としているがローム土も多く含む。

324号土坑(第86図、P L.32)

71区V-6グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸0.50m、短軸0.40m、深さ0.32mである。主軸方位は、N-69°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としている。

327号土坑(第86図、P L.32・76)

71区W-3グリッドに位置する。形状は楕円形だが、北側がやや浅い。規模は長軸0.98m、短軸0.62m、深さ0.67mである。主軸方位は、N-58°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.7mと深く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としている。遺物は縄文時代中期前半の土器が出土している。

332号土坑(第86図、P L.32)

71区X-4グリッドに位置する。形状は円形。規模は径2.26m、深さ0.43m。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.4mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としているが、ローム土も多く含む。

334号土坑(第87図、P L.32・76)

62区H-I-25グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸1.10m、短軸0.80m、深さ0.43mである。主軸方位は、N-39°-Eである。分類は3類。重複関係は



第86図 312・317・319・320・324・327・332号土坑、319・327号土坑出土遺物

ない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.4mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としている。遺物は磁器の碗である。

335号土坑(第87図、P.L.32)

62区Ⅰ-25グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸1.10m、短軸0.80m、深さ0.22mである。主軸方位は、N-48°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅰ層から第Ⅱ層を中心としている。

337号土坑(第87図、P.L.32)

72区Ⅰ-2・3グリッドに位置する。形状は隅丸方形。規模は長軸0.96m、深さ0.38mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.4mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅳ層から第Ⅴ層を中心としている。

338号土坑(第87図、P.L.33)

72区G・H-2グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸1.18m、短軸0.88m、深さ0.48mである。主軸方位は、N-55°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面は緩やかに傾斜し、ややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.5mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅳ層から第Ⅴ層を中心としている。

339号土坑(第87図、P.L.33)

72区H-3グリッドに位置する。形状は円形。規模は径1.20m、深さ0.42mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.4mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅳ層から第Ⅴ層を中心としている。

341号土坑(第87図、P.L.33)

71区T-3・4グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.60m、深さ0.25mである。分類は3類。重複関

係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。

342号土坑(第87図、P.L.33)

62区Ⅰ・J-24グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.53m、深さ0.12mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.1mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層から第Ⅳ層を中心としている。

343号土坑(第88図、P.L.33・76)

72区G-3グリッドに位置する。形状は隅丸方形。規模は長軸1.04m、短軸0.92m、深さ0.36mである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。埋没途中で小石が敷き詰められている様子から、石の上に何かが置かれていた可能性がある。和釘も出土していることから、木製の箱?遺構確認面からの深さは約0.4mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。遺物は和釘が出土している。

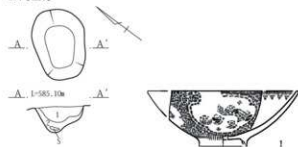
348号土坑(第88図、P.L.33)

72区G-3・4グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸1.46m、短軸0.70m、深さ0.36mである。主軸方位は、N-30°-Wである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしておらず、一部が窪んでいる。遺構確認面からの深さは約0.4mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。

349号土坑(第88図、P.L.33)

72区F・G-4グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸1.12m、短軸0.68m、深さ0.14mである。主軸方位は、N-20°-Wである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしておらず、一部が窪んでいる。遺構確認面からの深さは約0.1mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。

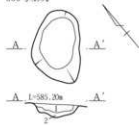
334号土坑



334号土坑

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りあり、粘性ややあり。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 黒褐色土(10YR3/1)が部分的に混じる、締りややあり、粘性ややあり。

335号土坑



335号土坑

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りあり、粘性ややあり。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 黒褐色土(10YR3/1)が部分的に混じる、締りややあり、粘性ややあり。

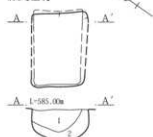
337号土坑



337号土坑

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 黒褐色土(10YR3/1)が混じり合う(比率7:3)、締り弱、粘性ややあり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) にぶい黄褐色土(10YR4/3)が部分的に混じる(比率8:2)、締りややあり、粘性ややあり。

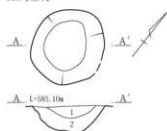
338号土坑



338号土坑

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 黒褐色土(10YR3/1)が部分的に混じる、焼土粒・炭化物僅含、1~10mmの軽石粒を少含、締りややあり。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 1~10mmの軽石粒少含、焼土粒・炭化物僅含(1層より少なめ)、締りあり。

339号土坑



339号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) 1~5mmの軽石粒微含、締りややあり、粘性ややあり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 1~10mmの軽石粒少含、焼土粒僅含、締りややあり、粘性ややあり。

341号土坑



341号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 1~3mmの軽石粒微含、締りあり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒・ブロック多含、締りややあり、粘性ややあり。

342号土坑



342号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム小塊・粒含む、締りやや弱、粘性弱。
2. にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム小塊・粒多含、1層より締りあり、粘性あり。
3. 黒褐色土(10YR3/1) ローム小塊・粒含む、締りややあり、粘性弱。



第87図 334・335・337~339・341・342号土坑、334号土坑出土遺物

350号土坑(第88図、P.L.34)

62区H-25、72区H-1グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.94m、深さ0.25m。分類は3類。重複関係はないが、南壁の一部が調査区域外である。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層から第Ⅲ層を中心としている。

355号土坑(第88図、P.L.34・76)

71区W-4グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸1.26m、短軸0.64m、深さ0.47m。主軸方位は、N-76°-Wである。分類は3類。重複関係はない。床面はしっかりしており、壁際にピットが3基。遺構確認面からの深さは約0.5mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。遺物は縄文時代後期前半の加曾利B式の土器が出土している。

357号土坑(第88図、P.L.34)

71区V-3グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.60m、深さ0.31m。分類は3類。重複関係は189号ピットと重複している。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。

358号土坑(第89図、P.L.34)

71区V-3グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.72m、深さ0.19m。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。

359号土坑(第89図、P.L.34)

71区V-5グリッドに位置する。形状は円形。規模は長軸1.25m、深さ0.19m。分類は3類。重複関係は191号ピットとで、191号ピットより新しい。床面はしっかりしている。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。

361号土坑(第89図、P.L.34・76)

72区E-2グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸1.92m、短軸1.46m、深さ0.43m。主軸方位は、N-35°-Wである。分類は3類。重複関係は362号土坑とで、362号土坑より新しい。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.4mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅳ層から第Ⅴ層を中心としている。

362号土坑(第89図、P.L.34)

72区E-2グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸(1.22)m、短軸0.98m、深さ0.60m。主軸方位は、N-89°-Wである。分類は3類。重複関係は361号土坑とで、361号土坑より古い。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは0.6mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅳ層から第Ⅴ層を中心としている。

363号土坑(第89図、P.L.34)

72区E-2グリッドに位置する。南側が調査区域外にのびるため、形状は不明。規模は長軸(0.48)m、短軸0.80m、深さ0.51m。主軸方位は、N-14°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.5mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅳ層から第Ⅴ層を中心としている。

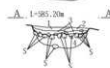
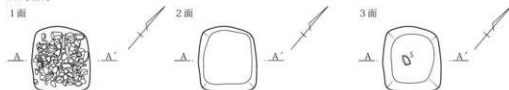
368号土坑(第89図、P.L.34・76)

71区W-6グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.84m、深さ0.17m。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅳ層から第Ⅴ層を中心としている。遺物は縄文時代前期前半の土器が出土している。

370号土坑(第89図、P.L.34)

62区S・T-14グリッドに位置する。西側が調査区域外にのびるため、形状は不明。規模は長軸(0.40)m、短軸0.70m、深さ0.58m。主軸方位は、N-58°-Wである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしな

343号土坑



343号土坑

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム小塊・焼土塊多含、As-YPk・炭化物少含、締り強、粘性弱。
2. 黒褐色土(10YR3/2) As-YPk少含、炭化物微含、締り強、粘性弱。
3. 黒褐色土(10YR3/1) 小〜大角礫多含、締りややあり、粘性あり。
4. 黒褐色土(10YR3/1) As-YPk少含、黄褐色粒多含、礫下層は硬化、粘性弱。



1 (1/2)

348号土坑



349号土坑



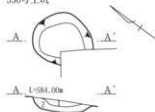
348号土坑

1. 黒色土(10YR2/1) ローム粒・小塊底部に多含、締りあり、粘性強。
2. 黒褐色土(10YR3/1) ローム約5.0cm塊含む、ローム粒は均質、締りやや弱、粘性強。

349号土坑

1. 黒色土(10YR2/1) ローム粒・小塊底部に多含、締りあり、粘性強。

350号土坑



350号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) 黒褐色土(10YR3/1)部分的に混じる、1〜10mmの軽石粒微含、締りあり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒・ブロックわずかに混じる、1〜10mmの軽石粒微含、締りややあり、粘性ややあり。

357号土坑



357号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒、軽石粒わずかに混じる、締りややあり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 炭化物わずかに混じる、1〜2mmの軽石粒微含、締り弱。

355号土坑



355号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒中央部に多含、褐色土含む、締り強、粘性あり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) ローム大塊底部に含む、1層より締り弱、粘性あり。



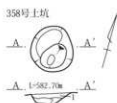
1

0 1:60 2m

0 1:2 5cm
0 1:3 10cm

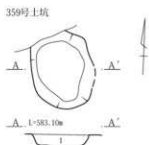
第88図 343・348～350・355・357号土坑、343・355号土坑出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物



358号土坑

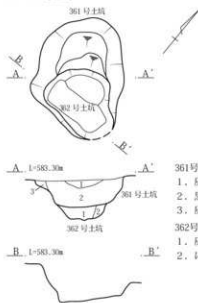
1. 黒褐色土(10YR3/1) 1~2mmの軽石粒微含、締りあり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 暗褐色土(10YR3/3)が混じり合う、1~10mmの軽石粒少含、締りあり。



359号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム約10.0cm塊・粒含む、締りあり、粘性強。

361・362号土坑



361号土坑

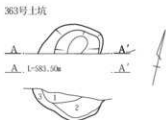
1. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム小~大塊・粒多含、締りやや弱、粘性強。
2. 黒褐色土(10YR3/1) ローム大塊少含、As-YPs微含、締りあり、粘性強。
3. 灰黄褐色土(10YR4/2) 1層に類似、ローム塊多含、灰白色粒含む、締り強、粘性あり。

362号土坑

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム約10.0cm塊含む、締り弱、粘性あり。
2. にぶい黄褐色土(10YR5/3) ローム塊含む、締りあり、粘性あり。



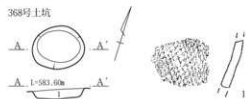
361号土坑1



363号土坑

363号土坑

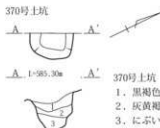
1. 黒褐色土(10YR3/1) As-YPs微含、締りあり、粘性強。
2. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒含む、締りあり、粘性強。
3. 暗褐色土(10YR3/3) ローム小~大塊多含、ローム塊含む、締りややあり、粘性強。



368号土坑

368号土坑

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム約1.0cm塊微含、締りあり、粘性あり。



370号土坑

370号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒少含、黄褐色粒微含、締りややあり、粘性あり。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム小塊少含、ローム粒多含、締りあり、粘性あり。
3. にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム約3.0~5.0cm塊・粒多含、締りややあり、粘性あり。



第89図 358・359・361~363・368・370号土坑、361・368号土坑出土遺物

い。遺構確認面からの深さは約0.6mと浅く、壁はやや緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

371号土坑(第90図、P.L.35・76)

62区X-5グリッドに位置する。北側が調査区域外にのびているが、形状は隅丸長方形と推定される。規模は長軸1.60m、短軸(1.08)m、深さ0.44m。主軸方位は、N-36°-Eである。分類は3類。重複関係は不明。床面はしっかりしている。遺構確認面からの深さは0.4mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。遺物は縄文時代中期の土器が出土している。

372号土坑(第90図、P.L.35)

62区W・X-2グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.94m、深さ0.40m。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは0.4mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

373号土坑(第90図、P.L.35)

62区S-9グリッドに位置する。形状は隅丸長方形だが、北壁から東壁にかけて374号土坑と重複している。規模は長軸1.82m、短軸0.70m、深さ0.79m。主軸方位は、N-23°-Eである。分類は3類。新旧関係は、374号土坑より新しい。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.8mと深く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

376号土坑(第90図、P.L.35・76)

62区V-5グリッドに位置する。形状は円形。規模は径1.20m、深さ0.56m。分類は3類。重複関係はない。床面はしっかりしている。遺構確認面からの深さは約0.6mと浅く、壁はやや緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。遺物は縄文時代後期の土器が出土している。

377号土坑(第90図、P.L.35・76)

62区X-2グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸1.68m、短軸1.40m、深さ0.27m。主軸方位は、N-21°-Wである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。遺物は縄文時代中期前半と弥生時代中期前半の土器が出土している。

378号土坑(第91図、P.L.35・76)

62区X-2グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸1.22m、短軸0.98m、深さ0.60m。主軸方位は、N-29°-Eである。分類は3類。重複関係は386号土坑と重複。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは0.6mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅳ層から第Ⅴ層を中心としている。遺物は確認時に石臼の下臼の破片、それに弥生時代中期前半の土器が出土している。

379号土坑(第91図、P.L.35・77)

62区W-2グリッドに位置する。形状は円形。規模は長軸1.32m、深さ0.62m。分類は3類。重複関係は218号ピットと重複。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.6mと浅く、東壁はほぼ垂直に立ち上がるが、西壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。遺物は縄文時代前期後半と弥生時代中期前半の土器が出土している。

380号土坑(第91図、P.L.36)

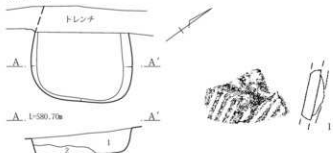
62区T・U-7・8グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸(1.36)m、短軸0.85m、深さ0.51m。主軸方位は、N-48°-Eである。分類は3類。重複関係は381号土坑とで、381号土坑より新しい。床面はしっかりしている。遺構確認面からの深さは約0.5mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

382号土坑(第91図、P.L.36)

62区S-4グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸1.15m、深さ0.54m。分類は3類。重複関係は

第3章 検出された遺構と遺物

371号土坑



371号土坑

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) As-YPK少含、礫微含、締りやや弱、粘性弱。
2. にいり黄褐色土(10YR4/3) As-YPK多含、ローム小塊・粒多含、黒褐色土塊含む、締りやや弱、粘性弱。

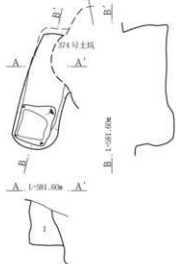
372号土坑



372号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 焼土粒・炭化物僅含、1~5mmの軽石粒微含、締りややあり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 暗褐色土(10YR3/3)が混じり合う、1~3mmの軽石粒少含、締りややあり。

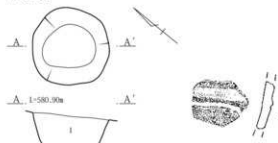
373号土坑



373号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) As-YPK少含、ローム小塊・粒多含、締りあり、粘性ややあり。

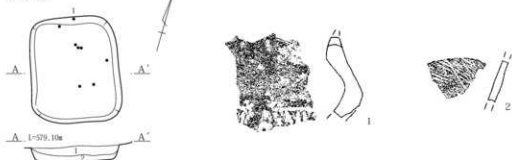
376号土坑



376号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/3) As-YPK上層に含む、小礫微含、締りあり、粘性あり。

377号土坑



377号土坑

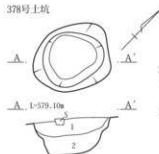
1. 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物僅含、1~10mmの軽石粒微含、締りあり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 1~2mmの軽石粒微含、締りややあり、粘性ややあり。

0 1:60 2m

0 1:3 10cm

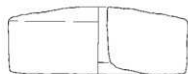
第90図 371・373・376・377号土坑、371・376・377号土坑出土遺物

378号土坑



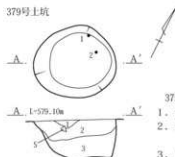
378号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 焼土粒・炭化物僅含、1~3mmの軽石粒少含、締りややあり、上部に石臼の破片あり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 1~3mmの軽石粒微含、締りややあり、粘性ややあり。



3(1/6)

379号土坑

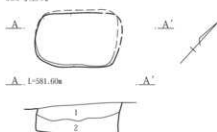


379号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 焼土多含、1~3mmの軽石粒微含、締りあり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 焼土粒・炭化物僅含、1~10mmの軽石粒少含、締りややあり、拳大の礫も数個あり。
3. 黒褐色土(10YR3/1) 1~2mmの軽石粒微含、締りややあり、粘性ややあり。



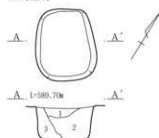
380号土坑



380号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒・ブロック多含、締りややあり、小礫が部分的に混じる。
2. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒・ブロック多含、締りややあり。

382号土坑



382号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) 1~10mmの軽石粒少含、ローム粒僅含、締りややあり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒・ブロック多含、軽石粒微含、締りややあり、粘性ややあり。
3. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒・ブロックがまばらに点在、締りややあり、粘性ややあり。

0 1:60 2m

0 1:3 10cm
0 1:6 20cm

第91図 378~380・382号土坑、378・379号土坑出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

ない。床面はしっかりしている。遺構確認面からの深さは約0.5mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としている。

383号土坑(第92図、P.L.36・77)

62区U-4グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.58m、深さ0.16m。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としている。炭化物が僅かに含まれており、墓に関係する可能性もある。出土遺物は、古銭「寛永通寶」2枚が出土している。

385号土坑(第92図、P.L.36)

62区W・X-3グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.76m、深さ0.20m。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。

386号土坑(第92図、P.L.36・77)

62区X-2グリッドに位置する。形状は、378号土坑との関係で不定形。規模は長軸(0.80)m、深さ0.54m。分類は3類。重複関係は378号土坑と重複。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.5mと浅く、壁は2段でほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

387号土坑(第92図、P.L.36)

62区U-4グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.95m、深さ0.28m。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。

388号土坑(第92図、P.L.36・37)

62区W・X-4グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸1.87m、短軸1.48m、深さ0.24m。主軸方位は、N-77°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面はしっかりしている。遺構確認面からの深さは約0.2m

と浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

389号土坑(第92図、P.L.37)

62区T-4グリッドに位置する。形状は円形。規模は径1.18m、深さ0.20m。分類は3類。重複関係は390号土坑とで、390号土坑より新しい。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としている。

390号土坑(第92図、P.L.37)

62区T-4グリッドに位置する。形状は円形。規模は径1.10m、深さ0.33m。分類は3類。重複関係は389号土坑とで、389号土坑より古い。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としている。

392号土坑(第93図、P.L.37・77)

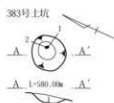
62区V-3・4グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸1.70m、短軸1.08m、深さ0.44m。主軸方位は、N-62°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.4mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としている。遺物は縄文時代の石器、石核が出土している。

393号土坑(第93図、P.L.37)

62区T-6グリッドに位置する。形状は円形。規模は径1.21m、深さ0.20m。分類は3類。重複関係は397号土坑とで、397号土坑より新しい。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としているが、ローム土と軽石を含む。

394号土坑(第93図、P.L.37)

62区U-4グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸1.42m、短軸1.01m、深さ0.27m。主軸方位は、N-45°-Wである。分類は3類。重複関係はない。床面



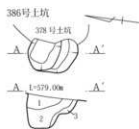
383号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物微含、1~3mmの軽石粒 微含、締りややあり、粘性ややあり。



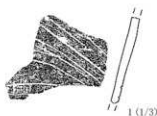
385号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 灰白色粒上層に多含、As-YPr微含、締り強、粘性弱。



386号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) As-YPr少含、灰白色粒微含、締りあり、粘性あり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 遺物含む、締りあり、粘性あり。
3. 暗褐色土(10YR3/3) As-YPr少含、締り弱、粘性あり。



387号土坑

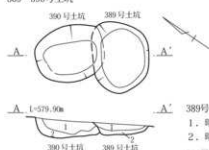
1. 黒褐色土(10YR3/1) 1~3mmの軽石粒微含、締りあり、遺物(土器片)あり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 1~5mmの軽石粒少含、締りあり、小礫数個あり。



388号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム小塊・粒少含、灰白色粒上層に少含、締りあり、粘性あり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 1層より灰白色粒多含、ローム小塊・粒多含、締りあり、粘性あり。

389・390号土坑



389号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) 黒褐色土(10YR3/1)一部混じる、1~15mmの軽石粒少含、締りあり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 1~10mmの軽石粒微含、締りあり。

390号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) 1~30mmの軽石粒少含、締りあり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 黒褐色土(10YR3/1)が混じり合う、1~5mmの軽石粒微含む、締りややあり。



第92図 383・385~390号土坑、383・386号土坑出土遺物

はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としている。

395号土坑(第77図、P.L.27)

62区W-6・7グリッドに位置する。396号土坑との重複関係で、形状は楕円形?規模は長軸1.56m、短軸1.26m、深さ0.80m。主軸方位は、N-0°である。分類は3類。重複関係は396号土坑とで、396号土坑より新しい。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは0.8mと深く、北壁や東壁はほぼ垂直に立ち上がるが、南壁や西壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

398号土坑(第78図、P.L.27)

62区T・U-6・7グリッドに位置する。形状は不明。規模は深さ0.60m。分類は3類。重複関係は397号土坑とで、397号土坑より新しい。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは0.6mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がり、一部では崩落でハンクしている。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

399号土坑(第93図、P.L.37)

62区T-6グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸1.65m、短軸1.00m、深さ0.32m。主軸方位は、N-64°-Wである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりせず、東と西とで段違いになっている。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。

401号土坑(第93図、P.L.37・77)

62区U-6グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸1.13m、短軸(0.85)m、深さ0.19m。主軸方位は、N-58°-Wである。分類は3類。重複関係は397号土坑とで、397号土坑より新しい。床面はしっかりしていて東と西で段違いになっている。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅳ層から第Ⅴ層を中心としている。

402号土坑(第93図、P.L.37・38・77)

62区W-4・5グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸1.18m、短軸0.88m、深さ0.16m。主軸方位は、N-42°-Wである。分類は3類。重複関係は246号ピットと重複。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。遺物は縄文時代後期前半の土器が出土している。

403号土坑(第94図、P.L.38)

62区W-7グリッドに位置する。形状は楕円形?規模は長軸(0.50)m、短軸0.92m、深さ0.23m。主軸方位は、N-2°-Wである。分類は3類。重複関係は396号土坑とで、396号土坑より新しい。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅲ層を中心としている。

404号土坑(第94図、P.L.38)

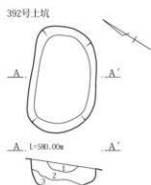
53区C-25グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸0.95m、短軸0.73m、深さ0.42m。主軸方位は、N-36°-Wである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.4mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としている。

405号土坑(第94図、P.L.38・77)

62区U-5、V-5・6グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸2.70m、短軸1.70m、深さ0.23m。主軸方位は、N-60°-Eである。分類は3類。重複関係は421号土坑とで、421号土坑より新しい。床面はややしかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

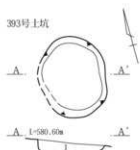
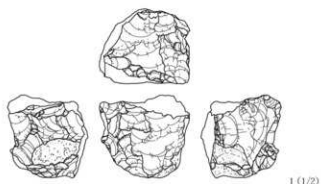
406号土坑(第94図、P.L.38)

53区B-25、63区B-1グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸1.98m、短軸0.66m、深さ0.33m。主軸方位は、N-24°-Wである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしかりしない。遺構確認面か



392号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) 焼土粒・炭化物微含、1～10mmの軽石粒微含、締りあり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 1～5mmの軽石粒微含、締りややあり、粘性ややあり、小礫が数個点在。
3. 暗褐色土(10YR3/3) 軽石粒・ブロックがわずかに点在、締りややあり、粘性ややあり。



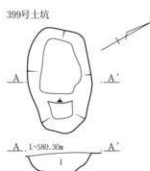
393号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) As-YPrk少含、ローム大塊含む、締り弱、粘性弱。



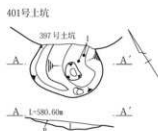
394号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒・ブロック少含、締りあり。



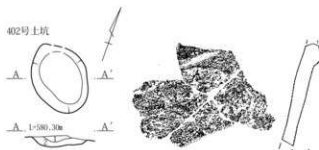
399号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 1～20mmの軽石粒微含、小礫も数個含む、締りあり。



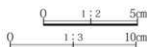
401号土坑

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム大塊少含、As-YPrk約0.5cm微含、締りあり、粘性弱。



402号土坑

1. 黒褐色土(10YR2/2) 炭化物微含、遺物含む、締り弱、粘性強。
2. 暗褐色土(10YR3/1) 黄褐色粒・As-YPrk微含、締り弱、粘性強。



第93図 392～394・399・401・402号土坑、392・401・402号土坑出土遺物

らの深さは約0.3mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としている。

410号土坑(第94図、P.L.38)

62区V-6グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.68m、深さ0.15m。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

411号土坑(第94図、P.L.38)

62区V-6グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は径0.85m、深さ0.59m。分類は3類。重複関係は409号土坑とで、409号土坑より新しい。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.6mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としている。

413号土坑(第94図、P.L.38・39・77)

62区V-1グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.60m、深さ0.34m。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。遺物は縄文時代前期後半の土器が出土している。

414号土坑(第94図、P.L.39)

52区U-24グリッドに位置する。形状は円形。規模は径1.25m、深さ0.32m。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

415号土坑(第95図、P.L.39)

52区U-24・25グリッドに位置する。形状はほぼ円形。規模は径1.23m、深さ0.19m。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としている。

416号土坑(第95図、P.L.39)

52区T・U-25グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸1.02m、短軸0.75m、深さ0.14m。主軸方位は、N-65°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.1mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

417号土坑(第95図、P.L.39)

52区S-25グリッドに位置する。形状は円形。規模は径0.80m、深さ0.55m。分類は3類。重複関係はない。床面はしっかりしている。遺構確認面からの深さは約0.6mと浅く、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。遺物は縄文土器が出土している。

418号土坑(第95図、P.L.39)

52・62区S-1・25グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸1.05m、短軸0.73m、深さ0.19m。主軸方位は、N-65°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層を中心としている。

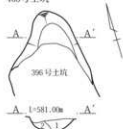
419号土坑(第95図、P.L.39・77)

62区Y-2グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸1.00m、短軸0.90m、深さ0.48m。主軸方位は、N-7°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.5mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

420号土坑(第95図、P.L.39)

62区X-1グリッドに位置する。形状は方形に近い円形。規模は径0.80m、深さ0.21m。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.2mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

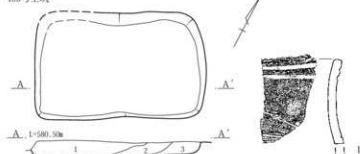
403号土坑



403号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 灰白色粒少含、ローム粒少含、締りややあり、粘性あり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 1層よりローム粒少含、締りあり、粘性あり。

405号土坑



405号土坑

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) As-YPk少含、黄褐色粒多含で均質、黒褐色土塊含む、締りあり、粘性強。
2. 黒褐色土(10YR3/2) As-YPk微含、色味は暗い、締りややあり、粘性強。
3. 濃い黄褐色土(10YR4/3) ローム粒多含、As-YPk少含、小礫含む、締りあり、粘性あり。

410号土坑



410号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒少含、黄褐色粒微含、締りややあり、粘性強。
2. 濃い黄褐色土(10YR4/3) ローム小塊含む、ローム粒多含、締りややあり、粘性強。

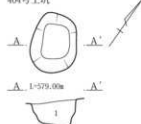
413号土坑



413号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色粒少含、礫含む、締り弱、粘性あり。
2. 褐色土(10YR4/4) ローム粒均質、締り弱、粘性あり。

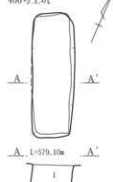
404号土坑



404号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/1) 1～50mmのローム粒少含、小礫もわずか、締りややあり、粘性ややあり。

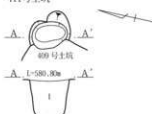
406号土坑



406号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/1) 1～30mmのローム粒少含、締りややあり、粘性ややあり。

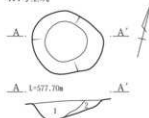
411号土坑



411号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) As-YPk少含、黄褐色粒多含、小礫含む、ローム粒均質、締りあり、粘性弱。

414号土坑



414号土坑

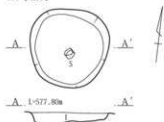
1. 暗褐色土(10YR3/3) As-YPk多含、ローム粒均質、締りややあり、粘性あり。
2. 黒褐色土(10YR3/2) As-YPk少含、締り弱、粘性あり。



第94図 403～406・410・411・413・414号土坑、405・413号土坑出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

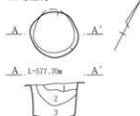
415号土坑



415土坑

1. 暗褐色土(10YR3/1) As-YPk少含、大礫含む、黒褐色土塊含む、締り強、粘性弱。

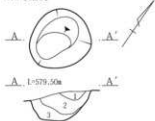
417号土坑



417号土坑

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム小塊少含、締りあり、粘性強。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム約1.0cm塊・粒多含、締りややあり、粘性強。
3. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム約1.0cm塊少含、色味は暗い、締り弱、粘性強。

419号土坑



419号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 黄褐色粒少含、締り弱、粘性弱。
2. 暗褐色土(10YR3/3) As-YPk多含、締り強、粘性あり。
3. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒均質、As-YPk微含、締りややあり、粘性あり。

422号土坑



422号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色粒・ローム粒含む、締り弱、粘性弱。
2. 暗褐色土(10YR3/3) As-YPk少含、締り弱、粘性弱。
3. 褐色土(10YR4/4) 砂質土、灰白色粒少含、締りあり、粘性弱。

416号土坑



416土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒多含、灰白色粒少含、締りあり、粘性弱。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 黄褐色粒少含、ローム粒含む、締りあり、粘性あり。

418号土坑



418号土坑

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム約5.0～10.0cm塊・粒多含、締りややあり、粘性弱。

420号土坑



420号土坑

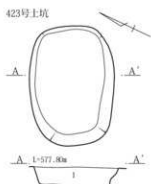
1. 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色粒少含、黒褐色土含む、締りあり、粘性弱。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム小塊・粒含む、締りあり、粘性あり。



0 1:60 2m

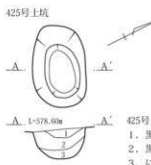
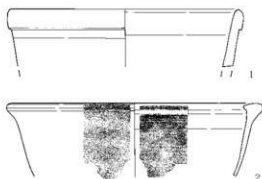
0 1:3 10cm

第95図 415～420・422号土坑、419・422号土坑出土遺物



423号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) As-YPrやや多含、炭化物含む、締りあり、粘性弱。



425号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1)

2. 黒褐色土(10YR3/2)

3. にぶい黄褐色土(10YR4/3)

黄褐色粒少含、締り弱、粘性強。

ローム粒多含、As-YPr少含、酸化鉄分を含む、締りあり、粘性強。

ローム粒多含、酸化鉄分多含、締りあり、粘性強。



第96図 423・425号土坑、423号土坑出土遺物

422号土坑(第95図、P L.40・77)

62区X-1グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸(0.82)m、短軸0.73m、深さ0.42m。主軸方位は、N-45°-Wである。分類は3類。重複関係は254号ピットとで、254号ピットより新しい。床面はややしっかりしないで、遺構確認面からの深さは約0.4mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

423号土坑(第96図、P L.40・77)

52区U-25グリッドに位置する。形状は隅丸長方形。規模は長軸1.90m、短軸1.35m、深さ0.34m。主軸方位は、N-62°-Eである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは約0.3mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。遺物は近世の鉢が2点出土している。

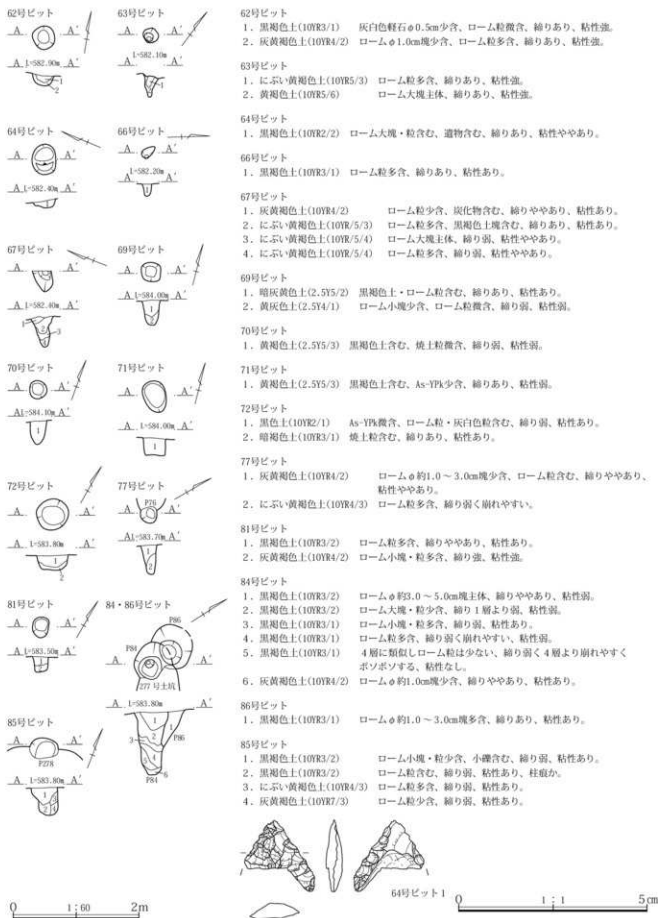
425号土坑(第96図、P L.40)

62区X・Y-1グリッドに位置する。形状は楕円形。規模は長軸1.28m、短軸0.84m、深さ0.50m。主軸方位は、N-65°-Wである。分類は3類。重複関係はない。床面はややしっかりしない。遺構確認面からの深さは0.5mと浅く、壁は緩やかに立ち上がる。埋没土は基本土層の第Ⅱ層から第Ⅲ層を中心としている。

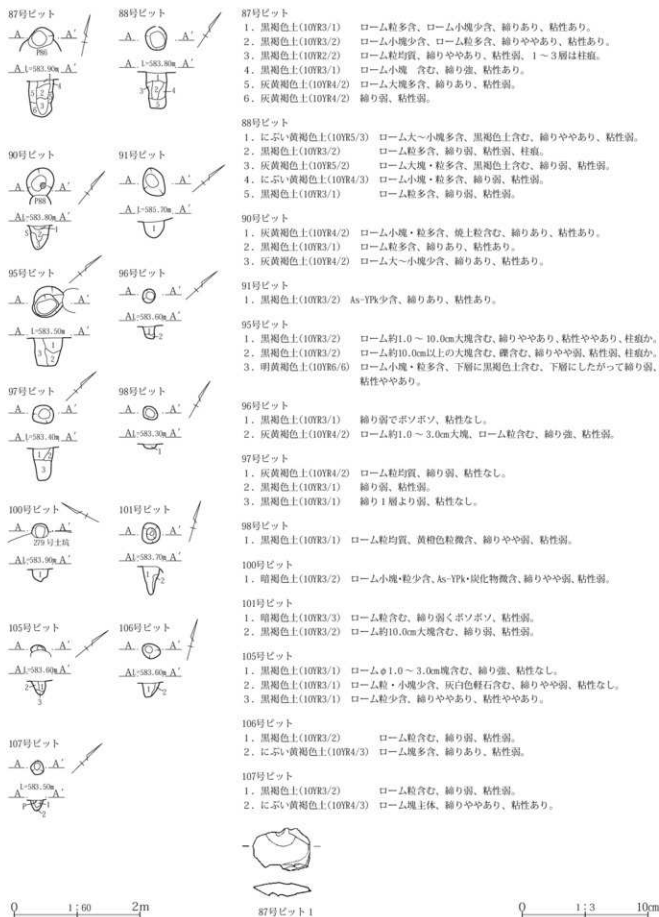
2 ピット

中近世と考えられるピットは194基検出されている。形状や大きさ、深さ、それに埋没土の様子から柱の痕跡と考えられるものがあるが、そのうちのいくつかは掘立柱建物や柵に伴う可能性も考えられる。

第3章 検出された遺構と遺物

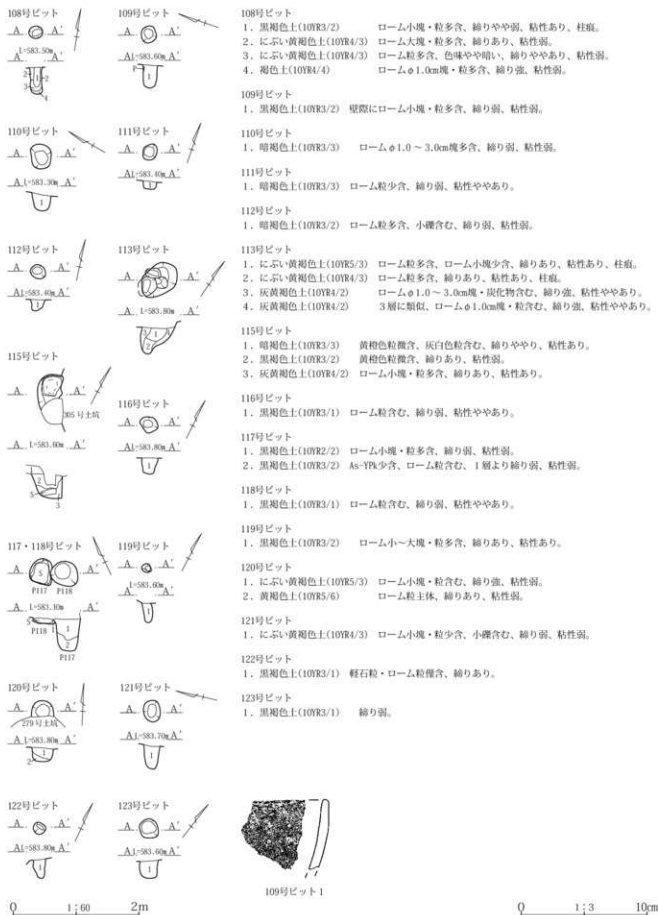


第97図 62~64・66・67・69~72・77・81・84~86号ピット、64号ピット出土遺物

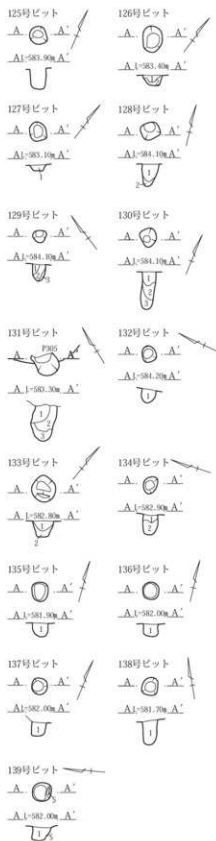


第98図 87・88・90・91・95～98・100・101・105～107号ビット、87号ビット出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

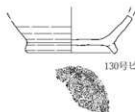


第99図 108～113・115～123号ビット、109号ビット出土遺物



0 1:60 2m

- 126号ビット
1. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒含む、As-YPk微含、締りあり、粘性あり。
2. にぶい黄褐色土(10YR5/3) 締りあり、粘性あり。
- 127号ビット
1. にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム粒多含、黒褐色土含む、締りあり、粘性あり。
- 128号ビット
1. にぶい黄褐色土(10YR5/3) 炭化物・As-YPk微含、締りやや弱、粘性あり。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 黒褐色土含む、締りあり、粘性あり。
- 129号ビット
1. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒・黄褐色粒・黒褐色土含む、締りあり、粘性あり。
2. にぶい黄褐色土(10YR5/3) 炭化物・As-YPk微含、締りやや弱、粘性あり。
3. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム粒含む、締りややあり、粘性あり。
- 130号ビット
1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 1~5mmの軽石粒微含、締りややあり。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 黒褐色土(10YR3/1)が部分的に混じる、1~2mmの軽石粒微含、締り弱。
3. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り弱。
- 131号ビット
1. 暗褐色土(10YR3/2) ローム粒少含、褐色土含む、締りやや弱、粘性あり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) As-YPk少含、暗褐色土含む、締り弱、粘性強。
3. 灰黄褐色土(10YR4/3) ローム約1.0~3.0cm塊含む、ローム粒少含、締り弱、粘性弱。
- 132号ビット
1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 黒褐色土(10YR3/1)が部分的に混じる、1~2mmの軽石粒微含、締りあり。
- 133号ビット
1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム小粒・粒微含、灰白色粒少含、締りあり、粘性あり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) ローム約1.0~3.0cm塊多含、締りあり、粘性あり。
- 134号ビット
1. 黒褐色土(10YR3/2) As-YPk少含、締り強、粘性ややあり。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや弱、粘性弱。
- 135号ビット
1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム約1.0cm塊多含、締り強、粘性弱。
- 136号ビット
1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム約1.0cm塊多含、締り強、粘性弱。
- 137号ビット
1. 暗褐色土(10YR3/3) As-YPk多含、締り強、粘性あり、138号ビットに類似。
- 138号ビット
1. 暗褐色土(10YR3/3) As-YPk少含、炭化物含む、締りあり、粘性強。
- 139号ビット
1. にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム約3.0~5.0cm塊・粒含む、締り強、粘性弱。



130号ビット 1

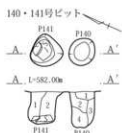


139号ビット 1 (1/1)

0 1:3 10cm
0 1:1 5cm

第100図 125~139号ビット、130・139号ビット出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物



140号ビット

1. にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム約1.0cm塊多含、締りややあり、粘性弱。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム粒多含、締り弱、粘性弱。
3. にぶい黄褐色土(10YR4/3) As-YpK多含、締りあり、粘性なし。
4. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム粒を含む、締り弱、粘性弱。

141号ビット

1. にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム小塊・粒多含、As-YpK含む、締りあり、粘性あり。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム約1.0cm塊多含、ローム粒含む、底部に窪む、締りあり、粘性あり。

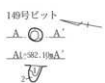


143号ビット

1. 黄褐色土(10YR5/6) 黒褐色土を含む、締りあり、粘性弱。
2. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒・As-YpK含む、締りややあり、粘性弱。
3. 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒少含、締り2層よりあり、粘性あり。

144号ビット

1. にぶい黄褐色土(10YR5/3) ローム約3.0～5.0cm塊多含、締りあり、粘性弱土。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) 締り弱、粘性弱。
3. 灰黄褐色土(10YR5/2) ローム大塊・As-YpK多含、締り強、粘性なし。

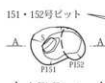


145号ビット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム粒多含、炭化物・窪含む、締りあり、粘性弱。

146号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色小塊・炭化物含む、As-YpK少含、締り強、粘性ややあり。
2. にぶい黄褐色土(10YR5/3) ローム粒多含、As-YpK含む、締りややあり、粘性ややあり。
3. 黒褐色土(10YR3/2) As-YpK多含、締りあり、粘性なし。
4. 灰黄褐色土(10YR4/3) ローム塊主体、締り強、粘性なし。

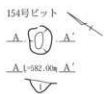
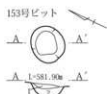


147号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒多含、小礫含む、締りややあり、粘性あり。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム大塊含む、As-YpK含む、締りやや弱、粘性あり。

149号ビット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りややあり、粘性あり。
2. にぶい黄褐色土(10YR5/3) ローム粒多含、As-YpK含む、締りやや弱、粘性あり。



150号ビット

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒・炭化物含む、締りあり、粘性強。

151号ビット

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム小塊・As-YpK含む、締りやや弱、粘性弱。
2. 灰黄褐色土(10YR5/2) As-YpK多含、締りやや弱、粘性あり。

152号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/2) As-YpK少含、ローム小塊含む、締りあり。
2. にぶい黄褐色土(10YR5/3) As-YpK多含、締り強、粘性弱。
3. にぶい黄褐色土(10YR5/4) As-YpK少含、締りややあり、粘性あり。



153号ビット

1. にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム大塊・As-YpK含む、締りあり、粘性あり。
2. にぶい黄褐色土(10YR5/4) As-YpK含む、締りあり、粘性なし。

154号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/2) As-YpK多含、ローム粒含む、締りややあり、粘性なし。

155号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/2) ローム小塊・粒含む、As-YpK隙間に含む、締りあり、粘性なし。

158号ビット

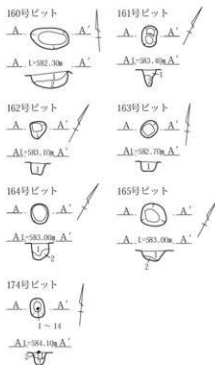
1. 暗褐色土(10YR3/3) ローム小塊・粒含む、炭化物微含、締りややあり、粘性弱。

159号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロックが部分的に混じる、締りあり、粘性ややあり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) にぶい黄褐色土(10YR4/3)が混じり合う、ローム粒微含、締りあり、粘性あり。



第101図 140・141・143～147・149～155・158・159号ビット



160号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒僅含、締りあり、粘性ややあり。
2. ロームに黒褐色土(10YR3/1)がわずかに混じる。締りあり、粘性ややあり。

161号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/1) 軽石粒、ローム粒僅含、締りややあり、粘性ややあり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 軽石粒、ローム粒少含、締りややあり、粘性ややあり。

162号ビット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 黒褐色土含む、締りややあり、粘性あり。

163号ビット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム小塊含む、締りややあり、粘性弱。

164号ビット

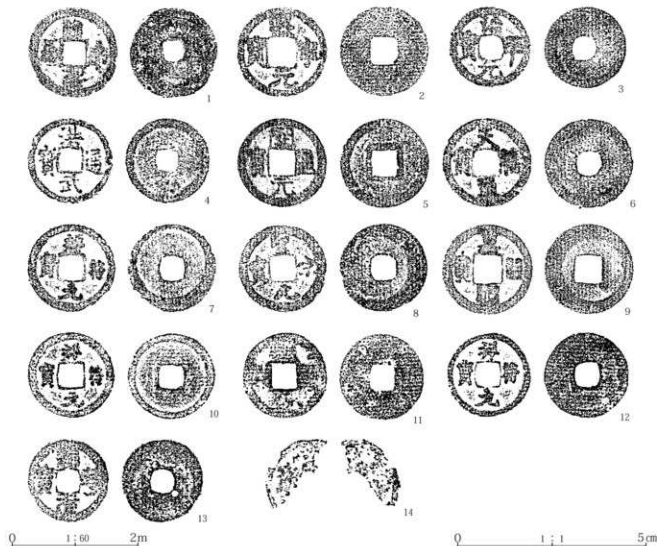
1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム小塊含む、締りややあり、粘性弱。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 締り弱、粘性ややあり。

165号ビット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム小塊含む、締りややあり、粘性弱。
2. 黒色土(10YR1/2) 締りややあり、粘性あり。

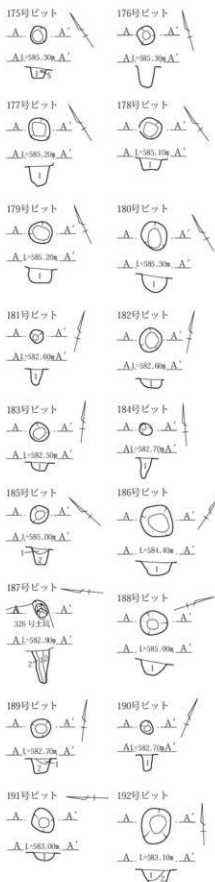
174号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/1) 暗褐色土含む、締り弱、粘性あり、上層に遺物(古銭)含む。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 暗褐色土少含、色味はやや明るい、締りやや弱、粘性あり。
3. 黒褐色土(10YR2/2) 締りややあり、粘性あり。



第102図 160～165・174号ビット、174号ビット出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物



175号ビット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム粒僅含、締りややあり、粘性ややあり、準大の小礫が底部にあり。

177号ビット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りややあり、粘性ややあり。

178号ビット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りややあり、粘性ややあり。

179号ビット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りややあり、粘性ややあり。

180号ビット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りややあり、粘性ややあり。

181号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒・小塊微含、締り弱、粘性弱。

182号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒・小塊微含、締り強、粘性あり。

183号ビット

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒・小塊多含、締りややあり、粘性あり。

184号ビット

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒多含、中央部にローム小塊少含、締り弱、粘性弱。

185号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/1) 1~5mmの軽石粒微含、締りややあり、粘性ややあり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 1~2mmの軽石粒微含、締り弱。

186号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/3) 1~10mmの軽石粒少含、締りややあり、粘性ややあり。

187号ビット

1. 明黄褐色土(10YR5/6) ローム層、締り強、粘性なし。
2. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒多含で均質、締り弱、粘性弱、柱状。

188号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックが部分的に混じる。1~20mmの軽石粒少含、締りあり。

189号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/1) 軽石ブロックが部分的に混じる、締りあり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 1~2mmの軽石粒微含、締りあり。

190号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒均質、締り強、粘性強。

191号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/2) ローム小塊・粒多含、締りあり、粘性あり。

192号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒少含、As-YPk少含、締りあり、粘性強。
2. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒均質、As-YPk約0.5mm少含、締りあり、粘性強。

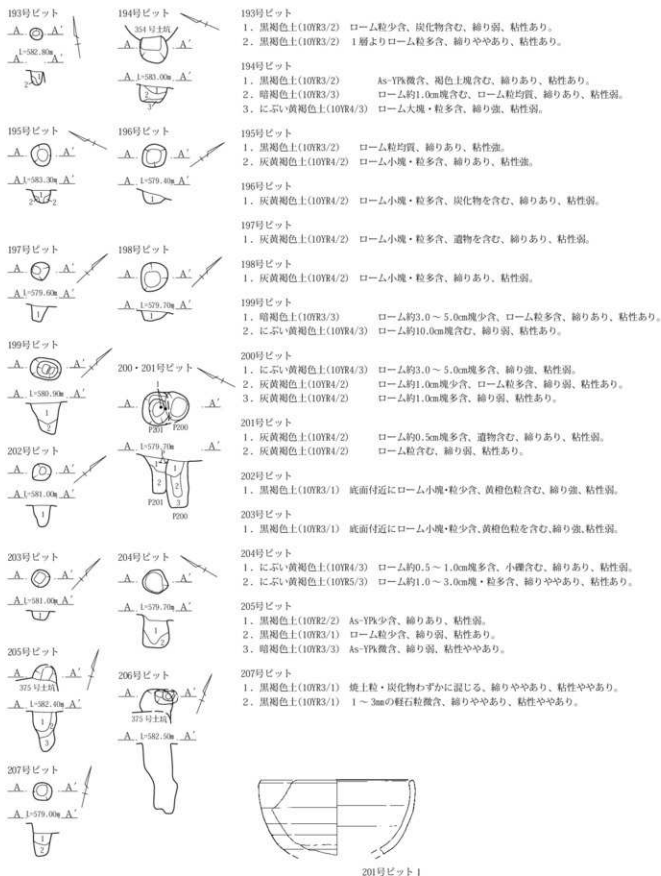


177号ビット 1

0 1:60 2m

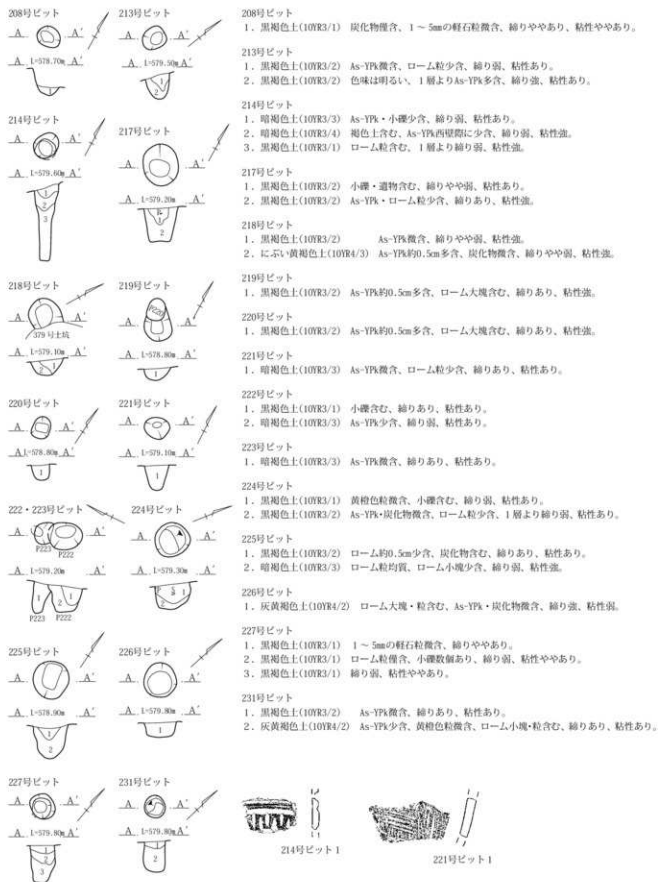
0 1:2 5cm

第103図 175~192号ビット・177号ビット出土遺物

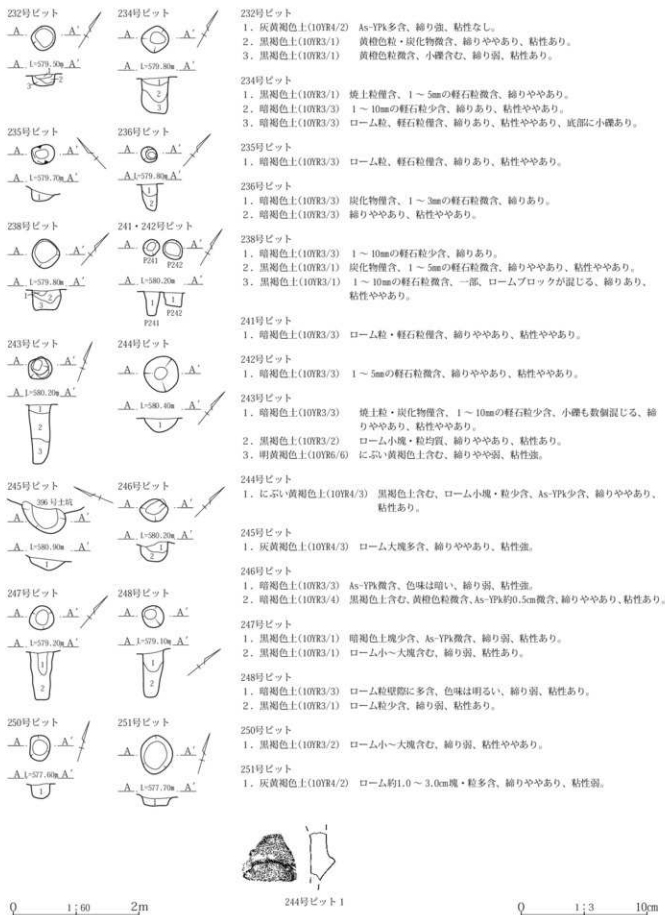


第104図 193～207号ビット、201号ビット出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

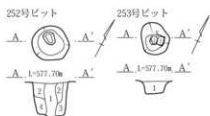


第105図 208・213・214・217~227・231号ピット、214・221号ピット出土遺物



第106図 232・234~236・238・241~248・250・251号ピット、244号ピット出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

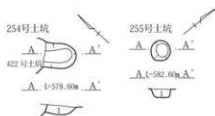


252号ピット

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム約1.0cm塊少含、締りややあり、粘性あり。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム約1.0cm塊・粒多含、締り弱、粘性強。
3. 黒褐色土(10YR3/2) ローム約3.0～5.0cm塊多含、締りややあり、粘性あり。
4. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒含む、締り弱、粘性強。

253号ピット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム約10.0cm塊を含む、締り強、粘性弱。



254号ピット

1. 暗褐色土(10YR4/4) ローム粒少含、締りややあり、粘性あり。

255号ピット

1. 黒褐色土(10YR2/1) ローム小～大塊・粒多含、炭化物微含、締り弱、粘性あり。



第107図 252～255号ピット

3 掘立柱建物

掘立柱建物は2棟検出されている。竪穴住居と異なり、遺物が伴うことがほとんど無く、時期の判定に悩む事例である。ここでは、中近世としておく。

傾斜に沿う建て方で、テラス状の整地が伴い、納屋などの構造物と考えられる。

1号掘立柱建物(第108・109図、P.L.51～53)

位置は71区M-9、N-8～10、O-8・9グリッドで、規模は3間(5.75m)×2間(3.70m)と推定される。主軸方位はN-40°-E。ピットは10基検出されている。

P1 71区N-10グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.30m、短軸0.28m、深さ0.38m。

P2 71区N-9グリッドで、形状は隅丸方形である。規模は長軸0.34m、短軸0.33m、深さ0.40m。

P3 71区N-9グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.39m、短軸0.36m、深さ0.52m。

P4 71区O-9グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.52m、短軸0.48m、深さ0.74m。重複関係はP77とで、P77より新しい。

P5 71区N-8グリッドで、形状はほぼ円形である。規模は長軸0.38m、短軸0.35m、深さは0.32m。

P6 71区N-8グリッドで、形状は円形である。規模は径0.36m、深さ0.42m。

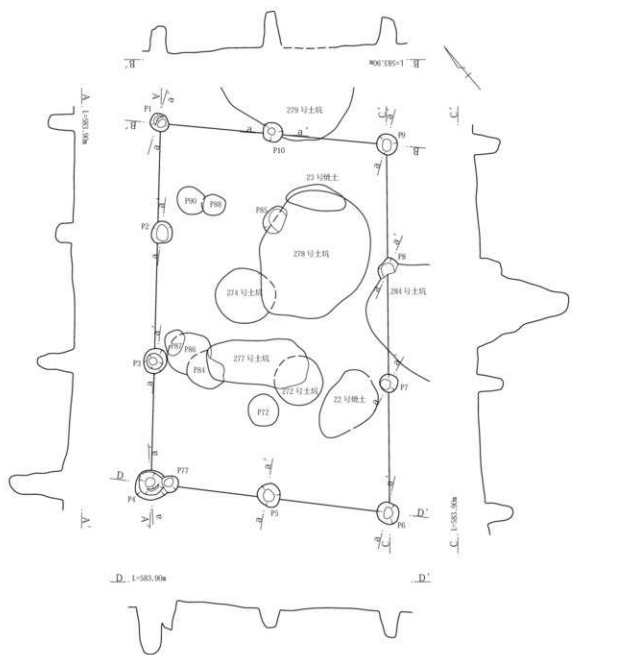
P7 71区N-8グリッドで、形状は円形である。規模

は径0.19m、深さ0.40m。

P8 71区M-9グリッドで、形状は284号土坑と重複するため不明確だが、隅丸方形か？。規模は長軸(0.25)m、短軸0.35m、深さ0.36m。重複関係は284号土坑とで、284号土坑より古い。

P9 71区M-9グリッドで、形状は円形である。規模は径0.34m、深さ0.39m。

P10 71区M-9グリッドで、形状は円形である。規模は径0.33m、深さ0.39m。重複関係は279号土坑とで、279号土坑より新しい。



第106図 1号掘立柱建物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



P1 (68号ビット)

1. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒少含、締り弱、粘性あり、柱痕。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ロームφ1.0m塊・ローム粒多含、締り弱、粘性あり。

P2 (79号ビット)

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒含む、締りあり、粘性あり。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム小塊・粒多含、締りあり、粘性あり。

P3 (74号ビット)

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム小塊・粒多含、焼土粒含む、締りあり。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒含む、締り弱。

P4 (76号ビット)

1. 黒褐色土(10YR3/2) ローム小塊・粒多含、As-YPKを含む、締り弱、粘性ややあり、柱痕か。
2. 黒褐色土(10YR3/2) ローム小塊微含、ローム粒少含、締りややあり、粘性あり。

P5 (82号ビット)

1. 黒褐色土(10YR3/1) 黄褐色粒微含、ローム粒下層に顕著に認められる、締りあり、粘性あり。

P6 (80号ビット)

1. 黒褐色土(10YR3/1) 黄褐色粒微含、締りあり、粘性強。
2. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒多含、締りややあり、粘性強。
3. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム小塊少含、ローム粒を含む、締りあり、粘性強。

P7 (78号ビット)

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 黒褐色土大塊含む、As-YPK少含、締りあり、粘性あり。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒を含む、締り弱、粘性あり。

P8 (83号ビット)

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム小塊φ約1.0cm以下少含、ローム粒多含、炭化物含む、締りあり、粘性あり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒多含、締りあり、粘性あり。
3. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒多含、ローム小塊少含、締りあり、粘性あり。

P9 (75号ビット)

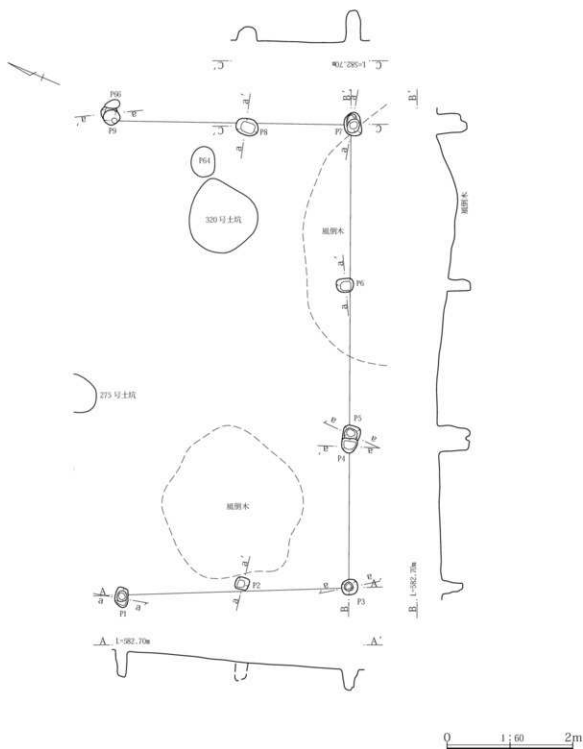
1. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒多含、炭化物含む、締り弱、粘性あり、柱痕か。
2. 黒褐色土(10YR3/2) I層よりローム粒多く含む、締り弱、粘性あり。
3. 黒褐色土(10YR3/1) ローム小塊・粒少含、締り弱、粘性あり。

P10 (73号ビット)

1. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒含む、締り弱、粘性あり、柱痕か。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム小塊・粒多含、締り弱、粘性あり。
3. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒多含、締り弱、粘性あり。

0 1:60 2m

第109図 1号掘立柱建物(2)



第110図 2号据立柱建物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



第111図 2号掘立柱建物(2)

2号掘立柱建物(第110・111図、P L.53・54)

位置は71区P・Q・S-5、Q・R-4グリッドで、北側が不明確だが、規模は3間(7.40m)×2間(3.65m)と推定される。主軸方位はN-67°-E。ピットは9基検出されている。

P1 位置は71区S-5グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.29m、短軸0.20m、深さ0.44m。

P2 位置は71区R-4グリッドで、形状は隅丸方形である。規模は長軸0.24m、短軸0.20m、深さ0.25m。

P3 位置は71区R-4グリッドで、形状は円形である。規模は径0.26m、深さ0.31m。

P4 石は71区R-4グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.27m、短軸0.21m、深さ0.48m。重複関係

はP5とである。

P5 位置は71区R-4グリッドで、形状は隅丸方形である。規模は長軸0.22m、短軸(0.21)m、深さ0.49m。重複関係はP4とである。

P6 位置は71区Q-4グリッドで、形状は隅丸方形である。規模は長軸0.26m、短軸0.20m、深さ0.36m。

P7 位置は71区P-5グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.38m、短軸0.26m、深さ0.47m。

P8 位置は71区Q-5グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.36m、短軸0.28m、深さ0.23m。

P9 位置は71区Q-5グリッドで、形状は円形である。規模は径0.26m、深さ0.19m。

4 礎石建物

礎石建物は1棟検出されている。掘立柱建物と同様に、遺物が伴うことがほとんど無く、時期の判定に悩む事例である。ここでは、中近世としておく。

掘立柱建物と同様に傾斜に沿って建て、テラス状の

整地が伴い、母屋などの構造物と考えられる。

2号礎石建物(第112図、P.L.54・55)

位置は71区L-7、M・N-5～7グリッドで、礎石は11個、他にピットが4～5基検出されている。

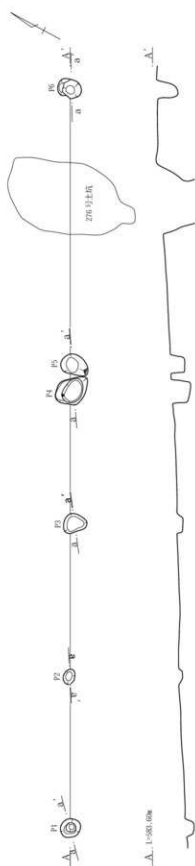


A-A'

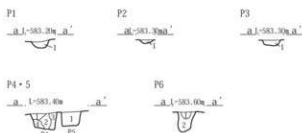
1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) As-YPK微含、ローム粒含む、締りあり、粘性弱。
2. 褐灰色土(10YR4/1) As-YPK微含、締りややあり、粘性弱。
3. 灰黄褐色土(10YR4/2) As-YPK多含、締りあり、粘性弱。
4. 灰黄褐色土(10YR4/2) As-YPK多含、締りあり、粘性弱。
5. にぶい黄褐色土(10YR7/4) ローム層、灰白色砂含む、ローム強、粘性なし。

0 1:60 2m

第112図 2号礎石建物(1)



第113図 1号柵



P1 (90号ビット)

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム小塊・粒少含、黄褐色粒微含、締り弱、粘性弱。

P2 (104号ビット)

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒均質、黄褐色粒微含、締りやや弱、粘性弱。

P3 (102号ビット)

1. 黒褐色土(10YR3/1) 暗褐色土含む、締りややあり、粘性あり。

P4 (94号ビット)

1. 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色粒含む、ローム粒均質、締りあり、粘性あり。
 2. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム小塊・粒多含、締り強、粘性弱。
 3. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 2層に類似、ローム大・小塊含む、締りやや弱、粘性あり。
 4. 黄褐色土(10YR4/4) ローム小塊・粒多含、にぶい黄褐色土含む、締りあり、粘性あり。

P5 (93号ビット)

1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム小塊・粒含む、締り強、粘性弱。

P6 (114号ビット)

1. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒含む、締り弱、粘性弱。
 2. 暗褐色土(10YR3/3) 1層に類似、締りあり、粘性あり。



5 柵

柵は5か所検出されている。1列のみのビットの配列を柵としたが、あるいは掘立柱建物のような構造物の可能性もあるかもしれない。また、その位置から土地利用の区画の境を示すものかもしれない。

1号柵(第113図、P.L.55・56)

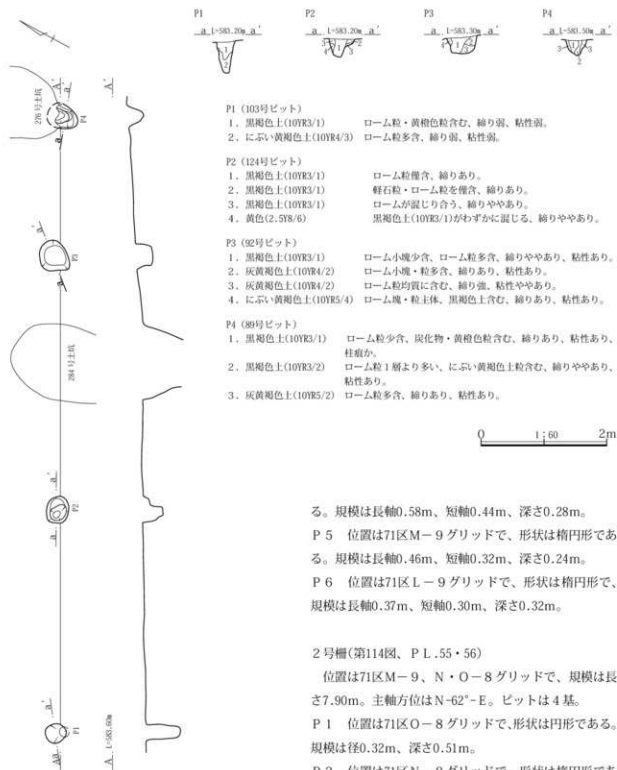
位置は71区L~N-9、N・O-8グリッドで、規模は長さ11.90m。主軸方位はN-62°-E。ビットは6基検出されている。

P1 位置は71区O-8グリッドで、形状は円形である。規模は径0.32m、深さ0.13m。

P2 位置は71区N-8グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.25m、短軸0.19m、深さ0.06m。

P3 位置は71区N-9グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.38m、短軸0.30m、深さ0.08m。

P4 位置は71区M-9グリッドで、形状は楕円形であ



第114図 2号槽

る。規模は長軸0.58m、短軸0.44m、深さ0.28m。

P 5 位置は71区M-9グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.46m、短軸0.32m、深さ0.24m。

P 6 位置は71区L-9グリッドで、形状は楕円形で、規模は長軸0.37m、短軸0.30m、深さ0.32m。

2号槽(第114図、P.L.55・56)

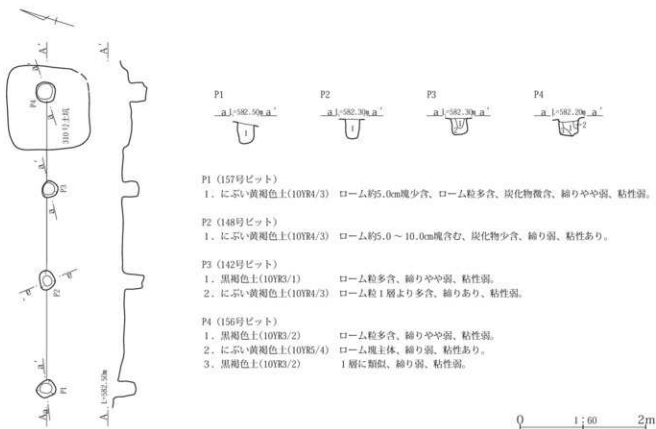
位置は71区M-9、N・O-8グリッドで、規模は長さ7.90m。主軸方位はN-62°-E。ピットは4基。

P 1 位置は71区O-8グリッドで、形状は円形である。規模は径0.32m、深さ0.51m。

P 2 位置は71区N-8グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.44m、短軸0.36m、深さ0.30m。

P 3 位置は71区M-9グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.55m、短軸0.44m、深さ0.28m。

P 4 位置は71区M-9グリッドで、形状は276号土坑と重複するため不明確だが、楕円形と推測される。規模は長軸(0.40)m、短軸0.35m、深さ0.25m。重複関係は276号土坑と重複する。



第115図 3号柵

3号柵(第115図、P L.56・57)

位置は71区O・P-5グリッドで、規模は長さ5.00m。主軸方位はN-72°-E。ピットは4基検出されている。

P1 位置は71区P-5グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.30m、短軸0.25m、深さ0.34m。

P2 位置は71区O-5グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.30m、短軸0.24m、深さ0.31m。

P3 位置は71区O-5グリッドで、形状はほぼ円形で、規模は長軸0.27m、短軸0.24m、深さ0.26m。

P4 位置は71区O-5グリッドで、形状は円形である。規模は径0.33m、深さ0.26m。重複関係は310号土坑とで、310号土坑より新しい。

4号柵(第116図、P L.57・58)

62区T・U-5、V-4グリッドで、規模は長さ9.20m。主軸方位はN-56°-E。ピットは7基。

P1 位置は62区V-4グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.46m、短軸0.42m、深さ0.77m。

P2 位置は62区V-4グリッドで、形状は円形である。規模は径0.40m、深さ0.73m。重複関係は424号土坑とで、424号土坑より新しい。

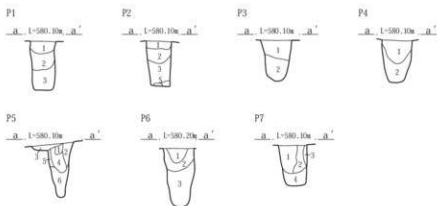
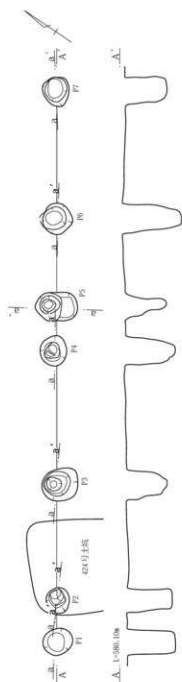
P3 位置は62区V-4グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.57m、短軸0.50m、深さ0.65m。

P4 位置は62区U-5グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.48m、短軸0.43m、深さ0.67m。

P5 位置は62区U-5グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.66m、短軸0.46m、深さ0.87m。

P6 位置は62区U-5グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.50m、短軸0.45m、深さ0.94m。

P7 位置は62区T-5グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.48m、短軸0.42m、深さ0.67m。



P1 (240号ビット)

1. 暗褐色土(10YR3/3) 焼土粒・炭化物僅含, 1~2mmの軽石粒微含, 締りあり, 粘性ややあり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 小礫が数個混じる, 締りややあり, 粘性あり。
3. 暗褐色土(10YR3/3) 締りあまりなく, 粘性あり。

P2 (239号ビット)

1. 暗褐色土(10YR3/3) 焼土粒・炭化物僅含, 1~5mmの軽石粒微含, 締りあり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 1~3mmの軽石粒微含, 締りややあり, 粘性ややあり。
3. 暗褐色土(10YR3/3) 一部にローム粒が混じる, 締りあまりなく, 粘性あり, 底部に礫あり。

P3 (233号ビット)

1. 暗褐色土(10YR3/3) 黒褐色土(10YR3/1)が部分的に混じる, 焼土粒・炭化物を僅含, 1~5mmの軽石粒微含, 締りあり, 粘性ややあり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 焼土粒・炭化物僅含, 1~5mmの軽石粒微含, 締りややあり, 粘性ややあり。

P4 (229号ビット)

1. 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物僅含, 1~5mmの軽石粒微含, 締りややあり, 粘性ややあり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 1~5mmの軽石粒微含む, 締りややあり, 粘性ややあり。

P5 (230号ビット)

1. 黒褐色土(10YR3/2) As-YPk約0.5cm多含, 炭化物含む, 締り強, 粘性弱。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム約1.0cm塊多含, 締り弱, 粘性あり。
3. 黒褐色土(10YR3/2) ローム大塊含む, ローム粒少含, 締り弱, 粘性あり。
4. 黒褐色土(10YR3/1) ローム小塊少含, 締り弱, 粘性あり。
5. 黒色土(10YR2/1) 締りやや弱, 粘性あり。
6. にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム粒均質, 締り弱, 粘性あり。

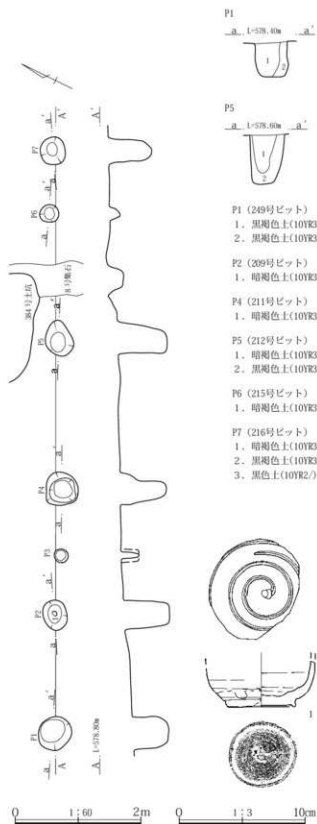
P6 (228号ビット)

1. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒, 軽石粒少含, 締りあり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 1層よりローム粒・軽石粒は大きく多含, 締りややあり, 粘性ややあり。
3. 暗褐色土(10YR3/3) 1~10mmの軽石粒微含, 締りややあり, 粘性ややあり。

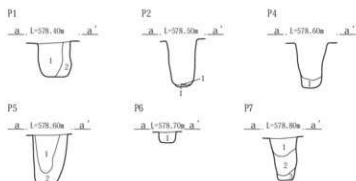
4号標 P 7 (237号ビット)

1. 暗褐色土(10YR3/3) 1~20mmのローム粒が混じり合う(比率7:3), 締りあり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 1~5mmの軽石粒を微含, 締りややあり。
3. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒, 軽石粒が混じり合う(比率4:6), 締りややあり, 粘性ややあり。
4. 暗褐色土(10YR3/3) 1~20mmの軽石粒微含, 締りややあり。

0 1:60 2m



第117図 5号柵、出土遺物



P1 (249号ビット)

1. 黒褐色土(10YR3/2) As-YPK・黄褐色粒微含、締りややあり、粘性あり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒多含、締りやや弱、粘性弱。

P2 (209号ビット)

1. 暗褐色土(10YR3/3) As-YPK・黄褐色粒微含、締り弱、粘性強、上層に遺物含む。

P4 (211号ビット)

1. 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色粒微含、酸化鉄分含む、締りやや弱、粘性強。

P5 (212号ビット)

1. 暗褐色土(10YR3/3) As-YPK微含、炭化物・焼土粒含む、締りあり、粘性あり。
2. 黒褐色土(10YR3/2) As-YPK微含、1層より締りあり、粘性強。

P6 (215号ビット)

1. 暗褐色土(10YR3/3) As-YPK微含、焼土・炭化物含む、締りあり、粘性あり。

P7 (216号ビット)

1. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒少含、As-YPK微含、締りやや弱、粘性あり。
2. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒含む、締りやや弱、粘性あり。
3. 黒色土(10YR2/7) 小礫含む、ローム粒多含、締り弱、粘性強。

5号柵(第117図、P L .58・78)

位置は52区W・X-25、62区V・W-1グリッドで、規模は長さ9.70m。主軸方位はN-64°-E。ビットは7基検出されている。

P1 位置は52区X-25グリッドで、形状は楕円形で、規模は長軸0.55m、短軸0.50m、深さ0.57m。

P2 52区W-25グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.49m、短軸0.37m、深さ0.77m。出土遺物は、陶器碗が1点出土している。

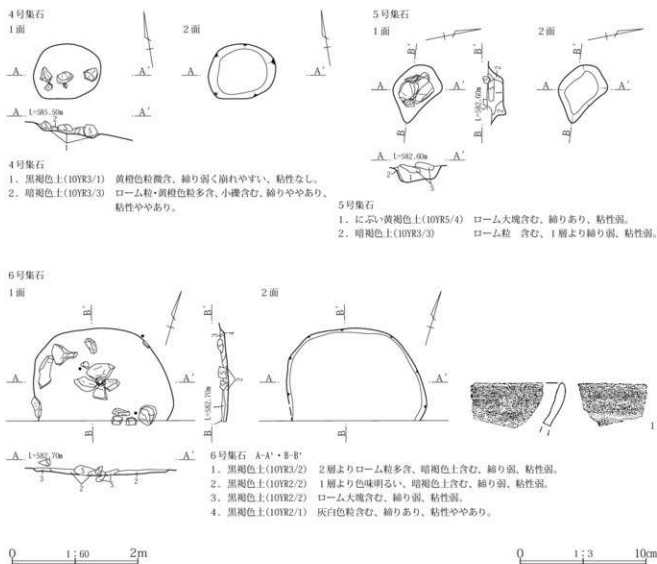
P3 位置は62区W-1グリッドで、形状は円形である。規模は径0.22m、深さ0.27m。

P4 位置は62区W-1グリッドで、形状は円形である。規模は径0.55m、深さ0.72m。

P5 位置は62区V-1グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.57m、短軸0.42m、深さ0.80m。

P6 位置は62区V-1グリッドで、形状は円形である。規模は径0.30m、深さ0.16m。

P7 位置は62区V-1グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸0.44m、短軸0.38m、深さ0.69m。



第118図 4～6号集石、6号集石出土遺物

6 集石

集石は5基検出されている。石を並べたり、敷き詰めたような事例がある。

4号集石(第118図、P L.59)

位置は62区L-20グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸1.10m、短軸0.85m、深さ0.26m。主軸方位はN-81°-W。

5号集石(第118図、P L.59)

位置は71区P-5グリッドで、形状は不定形である。規模は長軸0.78m、短軸0.60m、深さ0.26m。主軸方位はN-32°-W。大小の扁平な石を床に敷き詰めている。

6号集石(第118図、P L.59・78)

位置は71区R・S-4グリッドで、形状は不明。規模は長軸2.30m、短軸(1.45)m、深さ0.10m。主軸方位はN-73°-E。

7号集石(第119図、P L.59・78)

位置は71区W-4グリッドで、形状は楕円形である。規模は長軸1.35m、短軸0.93m、深さ0.26m。主軸方位はN-20°-W。

8号集石(第119図、P L.59・78)

位置は62区V-1グリッドで、形状は隅丸長方形である。規模は長軸1.60m、短軸0.58m、深さ0.30m。主軸方位はN-30°-W。

第3章 検出された遺構と遺物

7号集石

1面

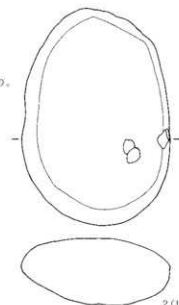
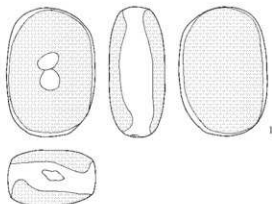


2面



7号集石

1. 黒褐色土(10YR3/1) 褐色土塊・炭化物含む、締り弱、粘性弱。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 焼土粒微含、1層より締りあり、粘性ややあり。

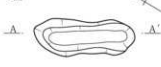


8号集石

1面

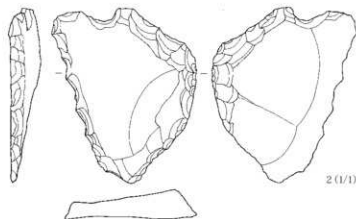


2面



8号集石

1. 黒褐色土(10YR3/1) 黄褐色粒微含、締り弱、粘性あり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) As-Yrk少含、締りややあり、粘性あり。

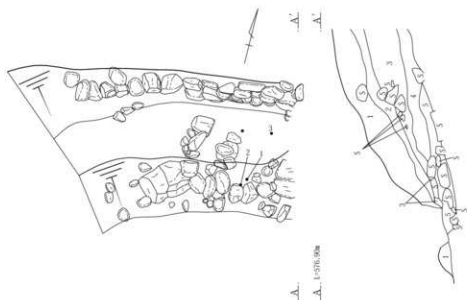


2 (1/1)

0 1:60 2m

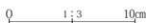
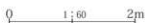
0 1:3 10cm
0 1:6 20cm
0 1:1 5cm

第119図 7・8号集石、出土遺物



1号石垣

1. 黒褐色土(10YR3/2) 現表土、攪乱あり。
2. 暗褐色土(10YR3/3) As-YpK酸含、締りやや弱、粘性あり。
3. 暗褐色土(10YR3/3) 礫約3.0～5.0cm多含、炭化物少含、ローム粘含む、締りやや弱、粘性あり。
4. 暗褐色土(10YR3/3) 3層に類似、炭化物多含、黄褐色粒少含、褐灰色土含む、締りやや弱、粘性強。
5. 黒褐色土(10YR3/1) 砂質土、小礫含む、締り弱、粘性あり。



第120図 1号石垣、出土遺物

7 石垣

石垣は1基検出されている。前回の調査では野口茂四郎氏居宅跡のテラスの壁として検出されているが、今回は宅地の東で、1号谷地の南側に位置することから、宅地への進入路や谷地部分の水対策のための施設である可能性がある。

1号石垣(第120図、P L.59・78)

位置は53区B・C-21・22、D-22グリッドで、規模は長さ1.90m、幅1.10m、高さ1.25m。

8 焼土

焼土は18基検出されている。その大部分で焼土が薄く

広がる形で検出されているが、その広がりや形状もまちまちで、灰や炭化物の分布が見られる事例もある。また、一部で石が焼けた状態で出土している。

21号焼土(第121図、P L.59・60)

位置は71区Q-6グリッドで、形状は不定形である。規模は長軸0.52m、短軸0.30m、深さ0.06m。主軸方位はN-65°-E。

22号焼土(第121図、P L.60)

位置は71区N-8・9グリッドで、形状は不定形である。規模は長軸1.18m、短軸0.78m、深さ0.16m。主軸方位はN-68°-E。

第3章 検出された遺構と遺物

23号焼土(第121図、P L.60・79)

位置は71区M・N-9グリッドで、形状は不定形である。規模は長軸0.96m、短軸0.41m、深さ0.11m。主軸方位はN-45°-W。

24号焼土(第121図、P L.60)

位置は71区M-9・10グリッドで、形状は不定形である。規模は長軸0.38m、短軸0.32m、深さ0.07m。主軸方位はN-29°-E。

25号焼土(第121図、P L.60)

位置は71区M-9・10グリッドで、形状は不明である。規模は長軸(0.64)m、短軸(0.31)m、深さ0.24m。主軸方位は不明である。

26号焼土(第121図、P L.60)

位置は71区P-8グリッドで、形状は不定形である。規模は長軸0.75m、短軸0.48m、深さ0.22m。主軸方位はN-80°-E。

27号焼土(第121図、P L.61・79)

位置は62区L-21グリッドで、形状は不明である。規模は長軸0.95m、短軸(0.43)m、深さ0.14m。主軸方位は不明である。

28号焼土(第121図、P L.61)

位置は62区L-20・21グリッドで、形状は不定形である。規模は長軸1.13m、短軸1.10m、深さ0.25m。主軸方位はN-39°-E。

29号焼土(第122図、P L.61)

位置は71区V-4・5グリッドで、形状はほぼ円形である。規模は径0.46m、深さ0.09m。主軸方位はN-0°。

30号焼土(第122図、P L.61)

位置は71区V-3グリッドで、形状・規模・主軸方位は不明である。

31号焼土(第122図、P L.61)

位置は71区X-3グリッドで、形状・規模・主軸方位

は不明である。

32号焼土(第122図、P L.61)

位置は72区G-3グリッドで、形状は不定形である。規模は長軸0.42m、短軸0.34m、深さ0.05m。主軸方位はN-16°-E。

33号焼土(第122図、P L.61・62)

位置は72区G-3グリッドで、形状は不定形である。規模は長軸0.32m、短軸0.24m、深さ0.09m。主軸方位はN-11°-W。

34号焼土(第122図、P L.62)

位置は72区E-2グリッドで、形状は不定形である。規模は長軸1.24m、短軸0.92m、深さ0.20m。主軸方位はN-27°-W。掘り込みの四面に石が並ぶ様子から縄文時代の石囲いや、平安時代の「コ」の字の竈のような構造であるが、検出面からみても第一面の中近世であることから、住居のやや竈とは異なる。集石や土坑の可能性もあるかも知れない。

35号焼土(第123図、P L.62)

位置は62区S-7グリッドで、深さは0.13m。その他の規模、形状、主軸方位は不明である。

36号焼土(第123図、P L.62)

位置は62区U-4グリッドで、形状は不定形である。規模は長軸1.01m、短軸0.60m、深さ0.13m。主軸方位はN-46°-W。

37号焼土(第123図、P L.62)

位置は62区U-4グリッドで、形状は不定形である。規模は長軸0.55m、短軸0.43m、深さ0.09m。主軸方位はN-51°-W。

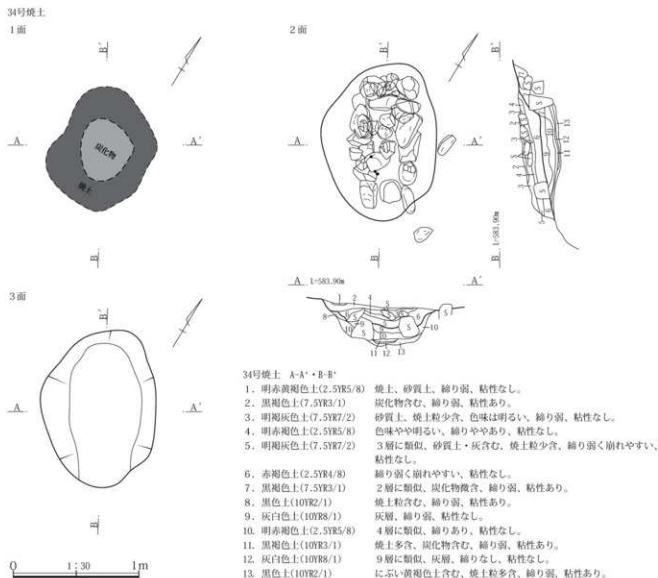
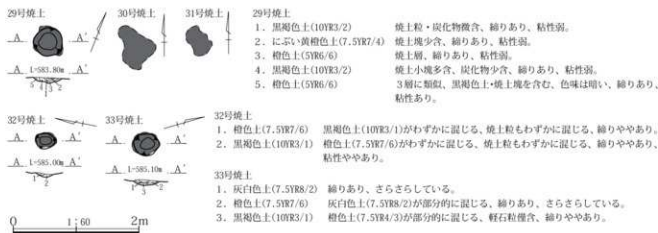
38号焼土(第123図、P L.62・63・79)

位置は62区W-3グリッドで、形状は不定形である。規模は長軸(0.53)m、短軸0.49m、深さ0.11m。主軸方位はN-60°-W。

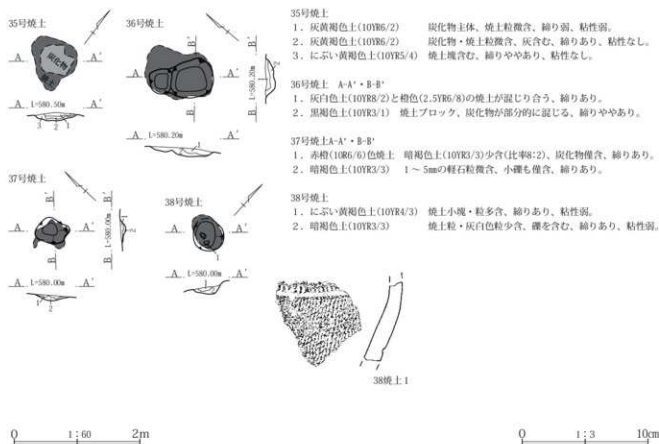


第121図 21～28号焼土、23・27号焼土出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物



第122図 29～34号焼土



第123図 35～38号焼土、38号焼土出土遺物

9 溝

溝は5本検出されている。地形に直交したり、並行したりすることから、柵などと同様に土地利用の区画などと考えられる。埋没土の様子からは水の流れの痕跡はない。

1号溝(第124図、P L.63)

位置は62区V-5、W-4・5グリッドで、規模は長軸5.00m、幅0.36m、深さ0.17m。主軸方位はN-62°-E。分類はU字。

2号溝(第124図、P L.63)

位置は62区V-4、W-3・4グリッドで、規模は長軸5.58m、幅0.50m、深さ0.16m。主軸方位はN-60°-E。

分類はU字。

3号溝(第124図、P L.63)

位置は62区T-9・10グリッドで、規模は長軸4.50m、幅0.48m、深さ0.07m。主軸方位はN-38°-W。分類はU字。

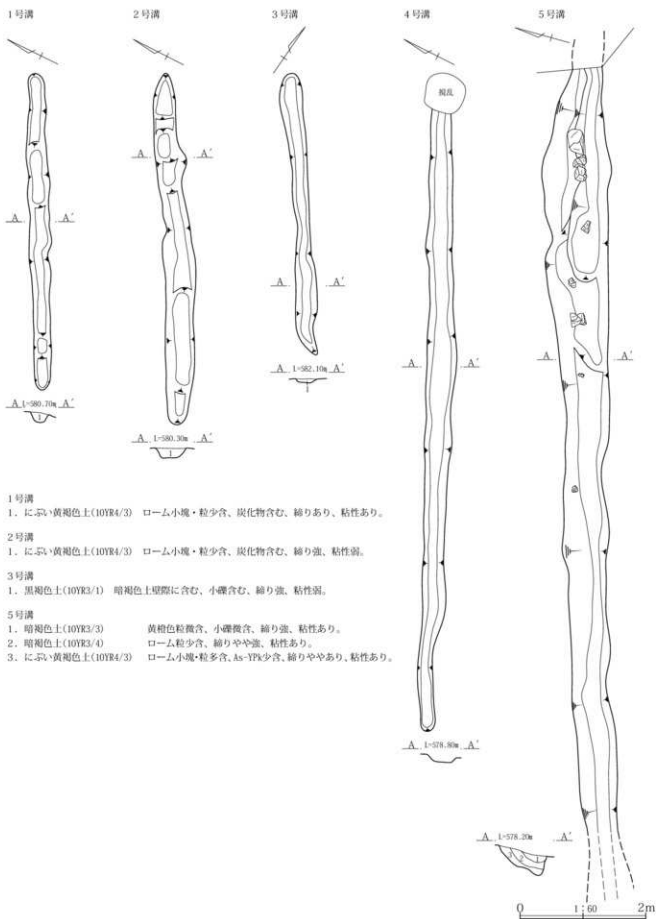
4号溝(第124図、P L.63)

位置は62区V-1・2、W・X-1グリッドで、規模は長軸(9.90)m、幅0.46m、深さ0.13m。主軸方位はN-64°-E。分類はU字。

5号溝(第124図、P L.63)

位置は52区W・X-25、62区V・W-1グリッドで、規模は長軸(12.20)m、幅1.10m、深さ0.48m。主軸方位はN-73°-E。分類はU字。

第3章 検出された遺構と遺物



1号溝

1. にぶい・黄褐色土(10YR4/3) ローム小塊・粒少含、炭化物含む、締りあり、粘性あり。

2号溝

1. にぶい・黄褐色土(10YR4/3) ローム小塊・粒少含、炭化物含む、締り強、粘性弱。

3号溝

1. 黒褐色土(10YR3/1) 暗褐色土壁際を含む、小礫含む、締り強、粘性弱。

5号溝

1. 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色粒微含、小礫微含、締り強、粘性あり。

2. 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒少含、締りやや強、粘性あり。

3. にぶい・黄褐色土(10YR4/3) ローム小塊・粒多含、As-YPs少含、締りややあり、粘性あり。

第124図 1～5号溝



第125図 1号谷地

第3章 検出された遺構と遺物

1号谷地 A-A'

1. 深い黄褐色土(10YR4/3) ローム約1.0～3.0cm塊多含、As-YpK微含、締りやや弱、粘性弱。
2. 明黄褐色土(10YR6/6) ローム、山からの崩落土か、小礫多含、締りやや弱、粘性弱。
3. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム大塊・粒多含、角礫多含、締り強、粘性弱。
4. 灰色土(7.5Y5/1) 角礫約1.0～3.0cm多含、締り強く崩れやすい、粘性なし。
- 4' . 灰色土(7.5Y5/1) 4層に類似、色味やや暗い、黄褐色土含む、4層より締りあり、粘性なし。
5. 黒褐色土(7.5Y3/1) 砂質土、角礫約1.0～15.0cm主体、締りあり、粘性なし。
6. 灰褐色土(5YR5/2) 砂質土、角礫約3.0～5.0cm少含、締りあり、粘性なし。
7. 赤褐色土(5YR4/6) 砂質土、酸化鉄分の沈着あり、締り弱、粘性なし。
8. 暗青灰色土(5PB3/1) 小～大礫主体、約30.0cm以上礫含む、締り強く崩れやすい、粘性なし、応変泥流か。

1号谷地 B-B'

1. 暗褐色土(10YR3/3) 小～大礫多含、As-YpK含む、締りややあり、粘性弱。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 上層に砂質土含む、As-YpK約0.5cm多含、締りややあり、粘性あり。
3. 黒褐色土(10YR3/1) 2層に類似、1層の礫含む、締りあり、粘性あり。
4. 黒色土(10YR2/1) As-YpK少含、小礫多含、締りややあり、粘性強。
5. 深い黄褐色土(10YR4/3) As-YpK0.5～1.0cm多含、締りあり、粘性あり。
6. As-YpK解。
7. 黒褐色土(10YR3/2) 5層に類似、As-YpK多含、締りあり、粘性あり。
8. 褐色土(10YR4/4) ローム大塊約10.0～15.0cm多含、As-YpK少含、締りあり、粘性ややあり。
9. 灰黄褐色土(10YR6/2) 砂質土、角礫多含、色味は明るい、締りあり、粘性なし。
10. 灰黄褐色土(10YR4/3) 砂質土、小礫多含、色味は暗い、締りややあり、粘性なし。
11. 灰黄褐色土(10YR6/2) 9層に類似、大礫含む、深い黄褐色土含む、締り弱、粘性なし。
12. 深い黄褐色土(10YR4/3) As-YpKは8層より多い、ローム崩落土か、締りあり、粘性なし。
13. 深い黄褐色土(10YR7/3) シルト質土、小礫含む、締り弱、粘性あり。
- 13' . 深い黄褐色土(10YR7/1) 灰白色シルト質土含む、色味は明るい、小礫含む、締り弱、粘性あり。
14. 黒褐色土(10YR3/2) 7層に類似、As-YpK少含、締り弱、粘性あり。
15. 深い黄褐色土(10YR4/3) 12層に類似しAs-YpK少含、締り弱、粘性弱。
16. 灰黄褐色土(10YR6/2) 粘質土、締り弱、粘性強。

1号谷地 C-C'

1. 現表土。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 盛土、As-YpK含む。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 小礫少含、As-YpK微含、締りあり、粘性あり。
4. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒少含、小礫微含、締りあり、粘性弱。
5. 褐色土(10YR4/4) 砂質土、水成堆積層、締りややあり、粘性なし。
6. 褐色土(10YR4/3) 小礫多含、水成堆積層、酸化鉄分の沈着あり、締りややあり、粘性なし。
7. 黒褐色土(10YR2/3) As-YpK少含、締りややあり、粘性強。
8. 黒褐色土(10YR3/2) As-YpK微含、締りあり、粘性あり。
9. 黒褐色土(10YR2/3) 8層に類似、ローム小塊・粒含む、締りやや弱、粘性強。
10. 黒色土(10YR2/1) As-YpK少含、小礫多含、締りややあり、粘性強。

10 谷地

谷地は本来は自然地形だが、遺構の立地などに影響を与えることから、部分調査を行った。

1号谷地(第125図)

位置は62区Q・R-7～12グリッドで、南東方向に緩やかな傾斜で下る谷頭である。

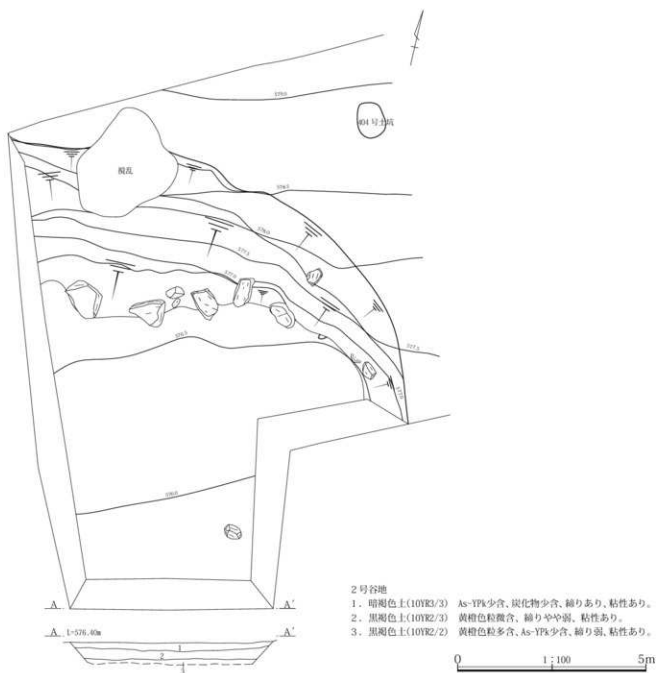
2号谷地(第126図)

位置は53区B～E-22～25グリッドで、南に緩やかな傾斜で下る地形で、傾斜変換線に石が並ぶように存在する。

(2)出土遺物

ここでは陶磁器・金属製品・石製品などの中近世の遺物をまとめて紹介する。陶磁器や軟質陶器などが出土しており、最も古いと考えられるのは、中世前半の遺物で、13世紀中頃の中国・龍泉窯系の輪花の白磁の碗である。日本の資料では、中世の時期の遺物が少なく、陶器に比べて特に磁器類が少ない。それに対して、内耳鍋等の軟質陶器の数量が多く、少量ながら信濃型の内耳鍋(内耳の付いた土鍋)の資料もある。近世に入ると、九州北部の肥前系の磁器を中心に量が増加する。18世紀後半～19世紀前半の肥前磁器の磁器碗、19世紀の瀬戸・美濃磁器の小碗などがみられる。軟質陶器では新しい円筒の植木鉢が顕著である。

金属製品では、煙管(キセル)が目目される。特に雁首



第126図 2号谷地

の形態が江戸編年のⅢ期とⅣ期の間の時期に相当するものがあり、その使用者と共に消費され、中には副葬品とされるものも多いため、天明三年(1783)との関係が注目される。

古銭も、通常の経済流通のみならず、墓の副葬品として使用される事が多い。中国からの渡来銭のみならず、江戸時代を代表する寛永通宝は、寛永13年(1636)に正式な官銭として製造が開始されたものであるが、数点出土している。この他に銅貨も出土している。

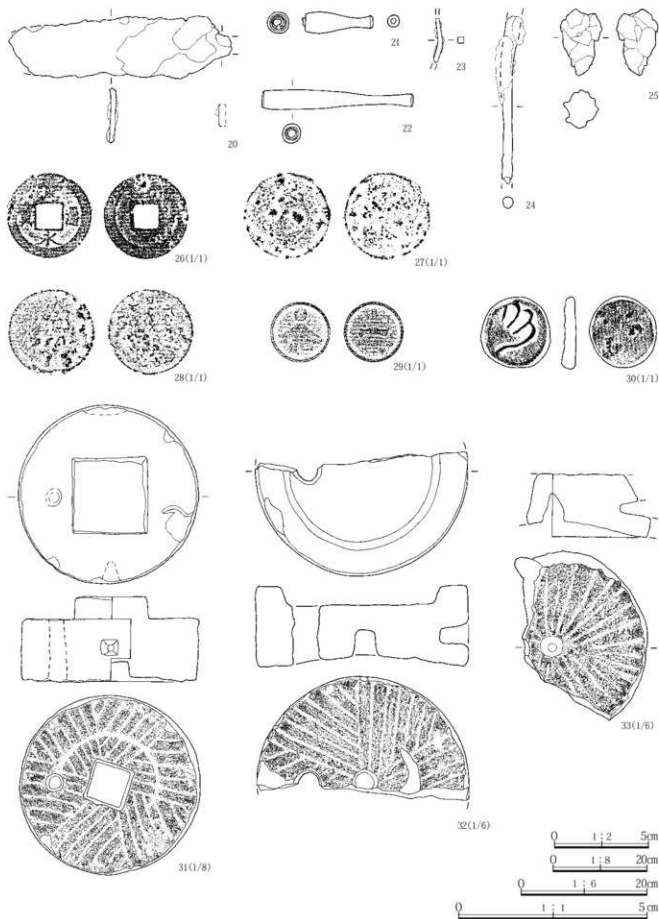
石製品では、石臼が顕著である。上下が揃って出土し

た事例は無いものの、数は多くサイズも揃っており、後程詳しく述べてみたい。

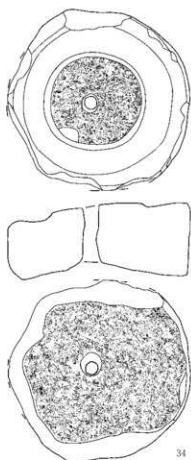
また、砥沢石の砥石が注目される。県内のみならず、大消費地である江戸方面をはじめ信州方面にも出荷されており、長野県松本市の城下町の火災の被害に遭遇した問屋から多量に出土した事例もある。産出地は甘楽郡南牧村の砥沢であるが、当時は利根地域の砥石としてのブランドであった「沼田砥」の名称で広く流通していたとの事である。



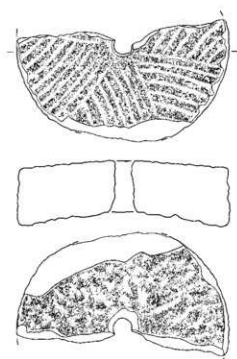
第127回 遺構外出土遺物(1)



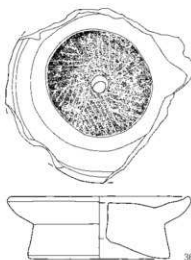
第126図 遺構外出土遺物(2)



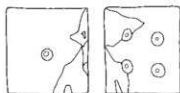
34



35



36



37(1/1)



第129図 遺構外出土遺物(3)

第4章 まとめ

第1節 遺構と遺物

本遺跡からは、今回の発掘調査で縄文時代の竪穴住居5棟・土坑1基、平安時代の竪穴住居5棟・土坑72基、中近世の掘立柱建物5棟・礎石建物2棟・土坑93基・ピット194基・石垣2か所・溝5本が出土している。これまでの報告分と合わせた遺跡全体での遺構数を集計したのが表4である。縄文時代の竪穴住居は総数26棟であり、遺跡内の南東側に分布しているのに対して、平安時代の竪穴住居は31棟で、遺跡内で万遍なく分布しているのに対して、中近世の土坑は遺跡内の標高の低い南東側のテラス上に集中している。これらは、時代ごとの生活の拠点の立地による差と考えられる。

遺構内及び遺構外から多数の遺物が出土しているが、縄文時代に所属する土器・石器を中心に記述する。さらに、既刊の2冊の報告書に収録された資料も合わせて考察する。

土器については、本遺跡の遺構外出土の縄文土器のうち、早期前半から後期の資料を主に扱う。なお、数は僅かながら、晩期や弥生時代中期前半の土器も出土しており、ここで合わせて記述する。早期前半の燃系文が少量

ながら出土しており、スタンプ形石器の出土と合わせて、最上位面に位置する遺跡に認められる傾向が興味深い。次に前期前半の花積下層式・関山式・黒浜式などの織襷を含む羽状縄文系土器、前期後半の諸磯a式・b式・c式の竹管文やボタン状貼付文がみられ、その時期の竪穴住居も僅かだが検出されている。さらに、中期前半の勝坂式、中期後半の加曾利E式が出土しており、長野原地域には中期後半の集落の遺跡が数多く存在するが、本遺跡でも竪穴住居17棟とその傾向は認められる。後期前半の称名寺式も出土しているが、その数は7棟とやや少ない。

以上のように、本遺跡では当地域で濃密に出土する中期後半～後期中葉にかけての土器資料が多いが、このことも本遺跡の特性を示すものといえる。

石器を見てみると、表3はこれまでに報告した資料を含めた各器種別の総数である。打製石鏝の未成品の数が多いのが特徴の一つである。また、出土例が少ないものの、装飾品と考えられる特徴的な製品が出土している。

表5は、今回の発掘調査で出土した土器・陶磁器類を出土遺構及び地点別に集計したものである。全体に出土量は多くないものの、縄文土器がほぼ全域で万遍なく、土師器もかなりの範囲で出土している。

表4 遺構数一覧表

	竪穴住居	埋設土器	礎石建物	掘立柱建物	西小屋	土坑	墓坑	焼土	石垣	コンクリート敷設部	井戸	溝	ピット
縄文	28	3				31							7
弥生						1							
平安	32					256		17					
中・近世			1	2		119	17	18	1			5	5
近～現代			1		3				4	1	4		216

第4章 まとめ

表5 出土遺物集計表 (単位はgを用いた。)

遺物名	縄文		弥生		土師器・埴		土師・滑		土師・埴		土師・埴		土師・埴		土師・埴		土師・埴		土師・埴		
	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
255号住居	7	27.6			10	30.3			3	15.5											
1394号住居	37	307.8							1	14.9											
1545号住居	338	3229.9			7	38.8															
1414号住居	114	112.0			2	2.8					1	9.0									
1255号住居	13	141.4			75	220.7			5	11.5											
1393号住居	62	879.3			61	679.2			9	401.1	20	159.6									
1445号住居	38	829.9	4	72.9	60	309.9			6	309.4	23	68.6	3	8.9					1	23.1	
65号住居	146	1793.3	3	51.2			329	1700	1	48.2	3	25.5									
96号住居	64	1063.5																			
127号住居	33	321.3			1	4.7															
1449号土																					
80号土																					
180号土					1	3.8					1	30.6									
1号石割					2	9.8					4	6724.6						3	23.5	7	32.4
6号礫石	4	45.9			1	35.2					1	37.6									
8号礫石	14	52.8	1	10.4	4	31.7															
1号礫									1	15.7											
2号礫					3	19.3															
14号礫	7	32.2			2	8.4															
7号礫					1	3.1													1	3.1	
15号礫																			1	1.4	
141号トレンゾ	28	300.0			1	2.5															
25号トレンゾ	3	36.3																			
296号土			1	11.4																	
230号土	4	34.9																			
235号土					1	31.8															
201号土	10	400.2			1	15.3															
282号土			2	20.7					1	3.8											
26号土																					
288号土																					
289号土	2	38.2																			
271号土	15	425.9																			
222号土	3	3.1																			
273号土					1	7.6			1	11.6											
214号土	1	37.3																			
277号土	1	37.8																			
278号土	13	214.0																			
279号土	15	268.8			1	7.3															
280号土	1	17.1																			
282号土	6	129.2							1	4.7											
283号土	7	116.5																			
286号土	3	157.2																			
288号土	6	70.6			2	4.8															
289号土	12	180.0			4	31.6															
290号土	3	37.3																			
291号土	6	130.0			5	17.0					6	18.1									
292号土					1	22.6															
293号土					6	49.0															
294号土	7	84.8			3	33.3	1	11.8													
295号土	5	41.3																			
296号土	2	35.3			3	18.2															
297号土	1	30.6																			
298号土					3	16.3															
300号土	2	15.6	1	6.8	1	6.2	1	17.9													
301号土	7	32.2																			
304号土	1	27.8																			
306号土	7	34.8			2	11.2															
307号土																					
313号土	4	68.8			1	5.6															
314号土	3	19.2																			
315号土	1	18.5																			
317号土							1	20.9													
318号土	6	75.8																			
322号土	7	36.2			7	19.2															
323号土	1	3.5																			
324号土					1	13.8															
325号土	3	79.5			3	18.3															
328号土									1	8.9	1	22.3									
327号土	3	13.0																			
328号土	3	71.1			3	42.1															
329号土	10	104.9			2	25.8			1	17.3											
330号土	4	162.7			2	19.2															
331号土	6	86.4			1	9.8															
332号土	6	43.8			2	3.4			1	7.4											
334号土					1	2.6															
335号土					1	5.7			1	6.3									1	2	
338号土	5	77.9																			
347号土	14	73.7			1	1.1															
360号土	1	23.1																			
367号土	2	32.9																			
369号土	2	74.6																			
120号土	7	31.2																			
111号土	1	39.7																			

表6 珪質変質岩集計表

遺跡/器種	長野原一本松	横塚中村	幸神	久々戸	尾坂	上原I	上原IV	榎木I	榎木II	中原II
打製石鏃	35	140				7	4	1	5	1
打製石斧		2								
磨製石斧		1								
石斧未成品										
スタンプ形石鏃										
石鏃未成品	1	38	2							
加工面ある剥片	1	3							26	
使用痕ある剥片		2								
剥片		1	1							
磨石	1				3					
砥石		1								1
くぼみ石	7									
多孔石										
台石										
石皿										
石棒										
楔形石器	1	3								
削器	6	17	1						41	
種器										
石錐	8	14	1			2	1		4	
砥石										
石核		6		1						
石匙		1							2	
石輪									1	
籠状石器										1
装飾品?										
火打ち石?										
礫石										
縄文石製品										
計	60	229	5	1	3	9	5	1	79	2

第2節 石器

本遺跡からは、打製石鏃、石匙、削器、打製石斧、磨製石斧、スタンプ形石器、くぼみ石、磨石、石皿、砥石等の石器・石製品が、縄文時代の堅穴住居等の遺構や遺跡内での表採の形で数多く出土している。今回はそのうちの114点について報告することとし、器種分類の後に実測・写真撮影を実施した。以下にその概要について記述する。

全般に出土点数及び重量は多くはないが、その器種・種類は多種にわたり、本遺跡でのこれまでの縄文時代の特定遺物の総数が370点であることが、表3 縄文石器器種別一覧表で分かっている。

一方、所属の時期については、早期前半の摺糸文と共に出土するスタンプ形石器や、後期以後の分銅形の打製石斧のような特徴的な資料は少なく、むしろ時期の判断が難しい。

本遺跡の今回の石器組成をみると、打製石鏃は7点(製品6点、未成品1点)、石匙は1点(籠型1点)、削器6点、石錐1点、打製石斧17点(製品15点、未成品2点)、スタンプ形石器2点、砥石11点、磨石17点、くぼみ石11点、

多孔石1点、台石1点、石皿1点、砥石1点、石核4点、加工剥片14点、使用剥片1点。石核6点、剥片4点、その他に多数の剥片・砕片が出土している。

まず、打製石鏃の細分については、従来の形を踏襲すると、点数は少ないが、平・円基無茎1点、凹基無茎4点、凹基有茎1点、不明1点となる。

周辺の縄文時代の遺跡と比較すると、6つの類を使用した三平I遺跡などでは、平基無茎がA類・凹基無茎がB類・円基無茎がC類、鋳形がD類、長脚がE類、不明がF類で、凹基有茎の出土が無いために類型化されておらず、鋳形のD類と長脚のE類も基本的には凹基無茎であり、凹基無茎の占める割合が高い事となる。実際の数としては、凹基無茎が圧倒的に多いが、他の遺跡と比較すると、三平I遺跡では平基無茎4点、凹基無茎12点と長脚2点、未製品4点である。三平II遺跡では、平基無茎12点と円基無茎3点、凹基無茎119点と鋳形4点と長脚10点、それに不明9点となる。立馬I遺跡では平・円基無茎1点、凹基無茎点、凹基有茎1点、立馬II遺跡では平・円基無茎1点、凹基無茎33点、凹基有茎1点が出土している。榎木II遺跡では、平基無茎10点、凹基無茎

遺跡/器種	立馬Ⅰ	立馬Ⅱ	立馬Ⅲ	上ノ平Ⅰ	三平Ⅰ	三平Ⅱ	上郷岡原	東宮	東原Ⅰ	東原Ⅱ	東原Ⅲ	計
打製石鏃	1	6	1	2	2	19	15					239
打製石斧												2
磨製石斧												1
石斧未成品												
スタンプ形石器												
石鏃未成品								1				42
加工痕ある剥片												30
使用痕ある剥片												2
剥片							1			1		4
磨石												4
砥石												2
くぼみ石												7
多孔石												
白石												
石皿												
石棒												
楔形石器												4
削器			2			3	2					72
掻器				1		1	1					34
石鏃		1										
砥石			1									9
石核												8
石鏃					1	4						1
石輪												1
塊状石器						2						2
装飾品?												
火打ち石?									1		2	3
基石												0
縄文石製品							1					1
計	1	8	4	3	3	29	20	1	1	1	2	467

66点、未成品3点である。やはり、いずれの遺跡も凹基無茎の出土数が多い。

これまでに本遺跡から出土した石器の一覧表をみると、特に打製石鏃の未成品の点数が多く、10点も出土している。だが、前回までの報告で指摘しているように、その製作場の遺構そのものが検出された訳ではなく、本遺跡内での製作を直接的に結びつける根拠はない。だが、近接する三平Ⅰ遺跡の報告の中で篠原正洋が指摘しているように、遺跡内での「製作跡」や「製作工房」などの存在を推定するような名称を用いると、それは專業集団による大量生産をも想起させる事となる。本遺跡においては、未製品や剥片類の出土量から、石鏃が遺跡内で製作されていたことはおそらく間違いないと考えられるが、石鏃の製作活動は、集落においてある程度は日常的、一般的に行われていたとの説もあり、結論に導くのは困難である。また、そこには日々のメンテナンスによる再生工程も当然含まれていたであろう。いずれにしても、この地域における未製品の多さが、一つの特徴である事は間違いない。

他の石材では、打製石鏃や石匙、削器などの小型の石

器に、黒曜石の多用が顕著である。吾妻地区での黒曜石の原産地推定分析は、長野原一本松遺跡や坪井Ⅱ遺跡、それに群坪遺跡といずれも長野原町だけで、まだまだ数が少なく限られているものの、大部分が信州系統である事が分かっている。つまり、遠距離であるにもかかわらず、かなりの量が持ち込まれている様相が見えてくる。点数の把握はなされているが、残念ながら重量計測はなされていないために、詳細は不明であるが、遺跡内に大量に持ち込まれているのは間違いない、今後の資料の集積を待ちたい。

また、この地域の特徴の一つとして、珩質変質岩を使用する事例が多く認められる。表6は長野原地区を中心とした遺跡での珩質変質岩を材質とする主要な石器の出土点数を集計したものである。三平遺跡では、打製石鏃とその未製品の10%程度を占めており、長野原一本松遺跡のこれまでの報告分でも、110点中22点と約20%を占めている。横壁中村遺跡など他の遺跡でも同様に高い割合を示している。特に、打製石鏃や石匙、削器、石錐などの小型の精製な石器に多く用いられており、まるで貴重な黒曜石の補充を図っているかの様である。この石材

については、吾妻川流域の北西側にある滝沢頁岩の岩石が変成作用で変質したものであり、色調も赤から灰白まで様々である。一見、チャートに類似するような剥離を示す事から、出土地域も長野原町から中之条町にかけての限られた地域に多く、確認されている範囲で最も距離が遠い資料は、利根川と合流する渋川地区でも僅かであるが検出されている。この石については、長野原町の北側の野反湖周辺に広がる「根小屋層」を中心としており、須川(白砂川)等を流下して、吾妻川に流れ込んでいるものと考えられる。あるいは、直接に露頭から採取していた可能性も想定されよう。おそらくは白砂と言う名称自体が、この石の微細剥片等が川の景観を決定付けている可能性が高い。

次に、周辺の遺跡との比較を行うこととする。本遺跡の東に隣接する三平Ⅰ遺跡では、剥片を含む299点が出土しており、器種では打製石鏃22点(製品17点、未製品5点)、石匙2点(縦型1点、横型1点)、石槍2点、削器1点、石飾1点、石製品1点、打製石斧1点、籠状石器1点、磨製石斧3点、くぼみ石4点、磨石2点、スタンプ形石器1点、石皿1点、砥石3点、剥片254点が出土している。剥片を除いた器種では打製石鏃が48.9%とほぼ半分の割合を占める。三平Ⅱ遺跡では、剥片を含む5861点が出土しており、器種では打製石鏃245点(製品157点、未製品88点)、石匙24点(縦型5点、横型15点、未製品4点)、石槍1点、石核6点、削器48点(製品45点、未製品3点)、石錐21点(製品11点、未製品10点)、石飾5点、異形石器1点、打製石斧11点、籠状石器17点、磨製石斧12点、くぼみ石25点、磨石4点、砥石3点、スタンプ形石器1点、石皿5点、砥石3点、石臼8点、剥片5421点が出土している。器種では打製石鏃が56%と高い割合を占める。縄文時代早期を中心とする立馬Ⅰ遺跡では、剥片を含む2983点が出土しており、器種では打製石鏃35点、石匙7点(縦型2点、横型5点)、削器13点、石錐3点、異形石器1点、打製石斧15点、磨製石斧2点、くぼみ石4点、磨石66点、スタンプ形石器2点、石皿5点、砥石4点、剥片2500点以上と多数出している。器種では打製石鏃が25.6%の割合を占める。縄文時代中期初頭から前半を中心とする立馬Ⅱ遺跡では、剥片を含む4338点が出土しており、器種では打製石鏃151点、石匙6点(縦型2点、横型4点)、削器36点、石錐6点、石製品2

点、石棒2点、打製石斧35点、磨製石斧16点、くぼみ石42点、磨石23点、スタンプ形石器3点、石皿6点、石核2点、剥片多数が出土しており、45.8%と高い割合を占める。榎木Ⅱ遺跡では打製石鏃25点、石匙7点(縦型2点、横型5点)、石槍2点、削器49点、石錐4点、打製石斧13点、磨製石斧2点、くぼみ石5点、磨石103点、スタンプ形石器2点、石皿3点、砥石4点、剥片2500点以上と多数出している。器種では打製石鏃が1.9%(ただし、スタンプ形石器を除くと21.6%)の割合を占める。

縄文時代中期後葉から後半前葉を中心とする林中原Ⅱ遺跡は、報告がすべてされていないが、多数の石器が出土しており、器種では打製石鏃の凹基無茎が圧倒すると報告されている。石匙も縦型・横型に斜めタイプや押出型が出土し、削器や石錐などの剥片石器もみられる。打製石斧も数多く、短冊形・撥形・分銅型がみられる。磨製石斧も定角式・乳棒式がある。礫石器も多く、くぼみ石・磨石・石皿・石核などがみられる。剥片も多数が出土しており、全体の数がはっきりした時点で、再度検討したい。

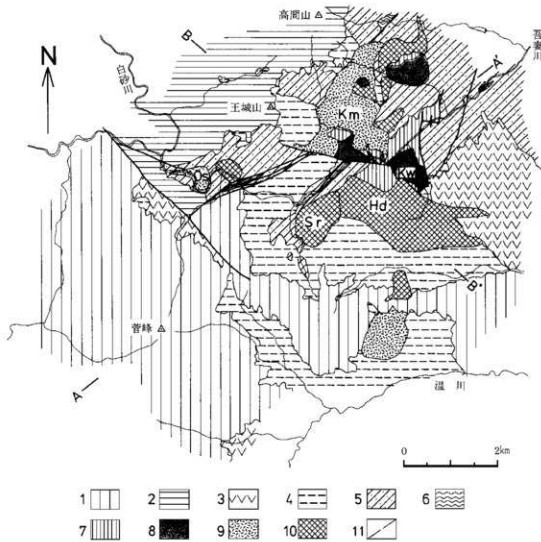
本遺跡では器種で打製石鏃が62.7%の割合を占める。こうしてみると、各遺跡共に打製石鏃の割合がほぼ1/4から半分を占めており、狩猟への依存度が高いようにみえるが、榎木Ⅱ遺跡のみは割合が低い。だがこれはこの遺跡でのスタンプ形石器の数が非常に多いためであり、それを除けば26.8%と高い割合になる。

こうした事例との比較の中から、この地域での縄文時代の石器組成と石材組成を検討する事で、様々な様相が垣間見える。特に、縄文時代の古い段階から様々な様相を比較して調べる事で、この地域での生業の様子を把握する事が可能かも知れない。が、今後の課題としたい。

その他の興味深い資料としては、片岩を材料とした装飾品が興味深い。残念ながら頭部部分が欠損しているため、形状が不明だが、角柱状の頭部をしていたとすると、垂飾と考えられる。

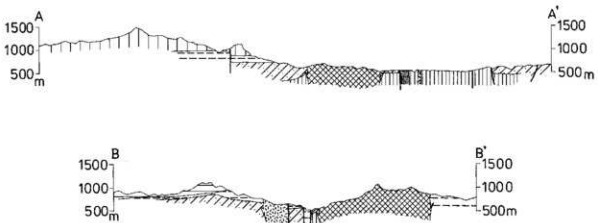
参考文献

- 長野原一木松遺跡(1) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団報告書 第287集(以下 (財)群理文Ⅱ集) 2002
 八ッ場ダム発掘調査集成(1) 東京・石畑・川原田勝治・横壁勝治・西久保一・山根直・下田・花畑・榎木・尾坂 (財)群理文303集 2003
 横壁中村遺跡(2) (財)群理文355集 2005
 横壁中村遺跡(3) (財)群理文368集 2006
 立馬Ⅱ遺跡 (財)群理文375集 2006



各時代の地層の分布を記号ないし模様で示したものである。

1 菅峰層、2 高間山層(または王城山層)、3 川原湯時層、4 横壁層、5 八ッ場層、6 根古屋(溶結凝灰岩)層、7 川原畑層、8 石英閃綠玢岩、9 テイサイト、10 安山岩、11 断層、Km 久藤岩体、Kw 川原湯岩体、Os 尾坂岩体、Hd 不動沢岩体、Sr 白岩沢岩体。



第130図 長野原地域の地質図

第4章 まとめ

表7 石織未成品一覧表

道跡名	遺構名	番号	種類	長さ	幅	厚さ	石材	備考	西種認定
上ノ平1	28号住居	28	石織未成品	1.9	1.6	0.4	黒色頁岩	上ノ平1(1)	
上ノ平1	遺構外	228	石織未成品	2.3	1.2	0.4	黒曜石	上ノ平1(1)	
上ノ平1	遺構外	239	石織未成品	2.1	1.8	0.6	黒曜石	上ノ平1(1)	
上ノ平1	19号住居	78	石織未成品	5.1	4.5	1.2	黒色安山岩	上ノ平1(2)	使用痕ある割片
上ノ平1	20号住居	31	石織未成品	1.9	1.5	0.5	黒曜石	上ノ平1(2)	
上ノ平1	20号住居	32	石織未成品	1.5	1.5	0.3	黒曜石	上ノ平1(2)	
上ノ平1	35号住居	7	石織未成品	2.1	1.4	0.6	珪質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	上ノ平1(2)	石織
上ノ平1	40号住居	23	石織未成品	1.5	1.9	0.6	黒曜石	上ノ平1(2)	加用痕ある割片
上ノ平1	40号住居	24	石織未成品	(1.9)	1.5	0.4	黒曜石	上ノ平1(2)	加用痕ある割片
上ノ平1	40号住居	26	石織未成品	1.5	(1.3)	0.4	黒曜石	上ノ平1(2)	石織
上ノ平1	46号住居	17	石織未成品	1.3	1.4	0.4	黒曜石	上ノ平1(2)	
上ノ平1	遺構外	286	石織未成品	1.7	(1.6)	0.4	黒曜石	上ノ平1(2)	
上ノ平1	遺構外	291	石織未成品	2.1	1.5	0.3	黒色頁岩	上ノ平1(2)	石織
上ノ平1	遺構外	293	石織未成品	1.9	2.0	0.6	チャート	上ノ平1(2)	
上ノ平1	遺構外	294	石織未成品	2.2	1.5	0.3	黒曜石	上ノ平1(2)	加用痕ある割片
上ノ平1	遺構外	295	石織未成品	3.3	2.4	0.5	黒色頁岩	上ノ平1(2)	確認
上ノ平1	遺構外	296	石織未成品	2.3	1.4	1.6	黒曜石	上ノ平1(2)	石織
上ノ平1	33号住居	2	石織未成品	2.0	1.7	0.6	チャート	上ノ平1(3)	
上ノ平1	35号住居	9	石織未成品	(2.1)	(1.8)	0.5	黒曜石	上ノ平1(3)	
上ノ平1	51号住居	3	石織未成品	2.1	1.4	3.6	チャート	上ノ平1(3)	
上ノ平1	遺構外	79	石織未成品	(2.3)	(1.8)	0.6	赤碧玉	上ノ平1(3)	
上ノ平1	遺構外	83	石織未成品	1.8	1.5	0.6	チャート	上ノ平1(3)	
上ノ平1	遺構外	85	石織未成品	2.1	1.5	0.5	赤碧玉	上ノ平1(3)	
上ノ平1	遺構外	118	石織未成品	1.3	1.2	0.3	黒曜石	上ノ平1(3)	
上ノ平1	遺構外	125	石織未成品	2.0	2.2	0.6	黒曜石	上ノ平1(3)	
上ノ平1	268号土坑	1	石織未成品	2.1	2.2	0.6	流紋岩	上ノ平1(3)	
上ノ平1	64号ビット	1	石織未成品	1.9	(1.9)	0.5	チャート	上ノ平1(3)	
三平Ⅱ	遺構外	32	石織未成品	1.6	1.5	0.4	細粒輝石安山岩	三平Ⅰ・Ⅱ	石織
三平Ⅱ	遺構外	40	石織未成品	1.7	1.4	0.4	チャート	三平Ⅰ・Ⅱ	石織
三平Ⅱ	遺構外	96	石織未成品	2.2	(1.4)	0.3	赤チャート	三平Ⅰ・Ⅱ	石織
三平Ⅱ	遺構外	131	石織未成品	1.5	1.3	0.2	黒曜石	三平Ⅰ・Ⅱ	石織
三平Ⅱ	遺構外	139	石織未成品	(1.9)	2.2	0.4	珪質変質岩(元凝灰岩)	三平Ⅰ・Ⅱ	石織
三平Ⅱ	遺構外	150	石織未成品	2.5	1.9	0.6	水晶	三平Ⅰ・Ⅱ	

横塚中村道跡(4) (財)群理文381集 2006

立馬1道跡 (財)群理文388集 2006

三平Ⅰ・Ⅱ道跡 (財)群理文401集 2007

横塚中村道跡(5) (財)群理文406集 2007

長野原一本松道跡(2) (財)群理文408集 2007

山根玉道跡(2)・上原IV道跡・幸神道跡 (財)群理文429集 2008

長野原一本松道跡(3) (財)群理文433集 2008

横塚中村道跡(6) (財)群理文436集 2008

横塚中村道跡(7) (財)群理文439集 2008

上ノ平1道跡(1) (財)群理文440集 2008

長野原一本松道跡(4) (財)群理文441集 2008

立馬道跡 (財)群理文457集 2009

榎木Ⅱ道跡(2) (財)群理文458集 2009

長野原一本松道跡(5) (財)群理文461集 2009

横塚中村道跡(8) (財)群理文462集 2009

横塚中村道跡(9) (財)群理文466集 2009

上郷原道跡(3) (財)群理文471集 2009

横塚中村道跡(10) (財)群理文488集 2010

横塚中村道跡(11) (財)群理文492集 2010

東京Ⅰ道跡・東京Ⅱ道跡・東京Ⅲ道跡 (財)群理文502集 2010

横塚道跡(12) (財)群理文526集 2012

東京道跡(2) (財)群理文536集 2012

榎木Ⅰ道跡・上原IV(2)道跡・西久保IV道跡 (公財)群馬県埋蔵文化財

調査事業団報告書 第549集(以下(公財)群理文○集) 2012

長野原一本松道跡(6) (公財)群理文554集 2013

横塚中村道跡(13) (公財)群理文559集 2013


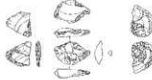








長野原一本松道跡(7) (公財)群理文578集 2014

横塚中村道跡(14) (公財)群理文587集 2014

林中原Ⅱ道跡(2) (公財)群理文617集 2016

上ノ平1道跡(2) (公財)群理文623集 2017

第131圖 打製石器未成品分類圖

之平一類(1)	第1形態	第2形態	第3形態	第4形態
之平一類(2)				
之平一類(3)				
三平一類				

第3節 陥し穴

ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査において、平成28年度までに陥し穴として報告された遺跡の数は、集計した表8によれば20遺跡で、数も1,000基を超えている。ハッ場ダム関連遺跡の発掘調査は、現在も進行中であり、陥し穴として認定される土坑の数も更に増え続けている。

これまでのハッ場ダム関連遺跡では、多数ある土坑の中から陥し穴を区分・推定される根拠は、遺構確認時の上面の平面形、断面形、規模(長軸、短軸、深さ)、底部施設(「逆茂木痕」や杭痕と推定される「小ピット」)の存在などが挙げられている(諸田康成2002:第149集;飯森康弘2006:第375集;篠原正洋2007:第401集)。平面形については、代表的な形として楕円形・長楕円形・長方形・隅丸長方形が挙げられているが、この四種類だけで実に8割以上を占めている。

断面の形状については、具体的な言及はないが、とくに短軸の断面の形状が特徴的であり、壁が垂直に立ち上がる「箱形」、上方に向かって開く「逆台形」、途中まで垂直に立ち上がった後、上方に向かって開く「Y字形」でほぼ100%を占める。規模としては、長軸が130～220cm、短軸が60～170cm、深さが50～160cmのものが多い。「小ピット」を有する陥し穴の数は少なく、大多数の陥し穴は「小ピット」を持たない。

また、石田が以前(2004)に集計した時点では、群馬県内における陥し穴の数量は、1700基以上、130遺跡とされ、その後の本遺跡を含めたハッ場ダム関連遺跡の数を加えれば、2000基以上、140遺跡に近い数字となると想定される。このことから考えても、ハッ場ダム関連遺跡の陥し穴の数量は、県内の陥し穴の数量の4分の1近い数を占めていることになる。数量の多さをもさることながら、ハッ場ダム関連遺跡における陥し穴の調査は、その設置・使用時期や掘削方法などにいくつもの新しい所見が得られている。特に、花畑遺跡や立馬Ⅰ遺跡における掘削用の金属製工具痕の発見や、立馬Ⅱ遺跡での対の形での2基で設定された地形を利用した配置など興味深い。

立馬遺跡における埋没土最上位にAs-B、As-Kkを含み、平安時代住居の一部を壊す陥し穴の発見など、県内の陥し穴研究において重要な成果を挙げている。特に、これ

らの成果を使って考察した石田の論考では、従来は県内での陥し穴を縄文時代の所産としてきた陥し穴の構築・使用年代観に警鐘を鳴らすと共に、ハッ場ダム関連遺跡においては、平安時代を中心とする古代に比定される陥し穴の報告が増大し、逆に縄文時代に比定される陥し穴の数量が激減する傾向を指摘するなど、大きな影響を与えている。

石田による分析以降、前述したように陥し穴の数量も倍近くに増え、立馬Ⅰ遺跡や立馬Ⅱ遺跡も正式に報告され、三平Ⅰ遺跡・三平Ⅱ遺跡の報告における、陥し穴の埋没土上層にみられる「ローム質土レンズ状堆積層」の指摘など、新たな知見が増えてきた。そこで、ハッ場ダム関連遺跡における陥し穴の調査の現状と課題を論じてみたい。

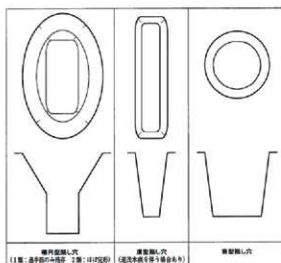
ハッ場ダム関連遺跡では、これまでに提示してきたいくつもの特徴を併せ持つ土坑を、主に陥し穴と認定されている。これまでに、7遺跡・5報告において分類案が提示されている。上郷A遺跡を除けば、上面形の分類と短軸断面形の分類との組み合わせによる分類が主となっているが、上面形と短軸断面形の間には、相関関係があり、全ての組み合わせが存在するわけではない。上面の長軸と短軸を比較したところ、上面長軸/短軸=1と上面長軸/短軸=1.2の数値の間に円形と方形がおさまるため、円形と楕円形の違いや、方形と(隅丸)長方形の違いも、横壁勝沼遺跡・花畑遺跡の分類(松原孝志2002:第153集)のように短軸×1.2を基準とするのが妥当であると判断される。また、立馬Ⅰ遺跡・立馬Ⅱ遺跡や三平Ⅰ遺跡・三平Ⅱ遺跡における「溝型」・「溝状」と分類される陥し穴は、上面形では「(長)楕円形」や「(隅丸)長方形」と大差がないことから、分類の基準は下面の長軸・短軸比にあると推定され、明瞭な違いが表れた。つまり、下面長軸÷下面短軸×5.5の数値の大きさが、陥し穴を「溝形」と分類する基準とするのが妥当と考えられる。これまで群馬県内では、前述したように陥し穴について従来は縄文時代と考えられていたが、花畑遺跡や立馬Ⅰ遺跡・立馬Ⅱ遺跡などの報告によって、ハッ場ダム関連遺跡の調査では、陥し穴の大部分は、縄文時代よりもさらに新しい時代と考えられるようになった。その根拠として、各遺跡での所見による金属製の工具による掘削痕、埋没土中に含まれるテフラ、特にAs-Kk、年代の

分かる遺構との切り合い関係などが挙げられている。その他に、陥し穴の埋没土に着目して、構築・使用時期を推定する試みが行われている。上郷A遺跡では、テフラ分析の結果と切り合い関係、覆土の観察によって、縄文中期以前から平安以前の陥し穴の変遷が明らかにされている。篠原(2007)による三平I遺跡・三平II遺跡の報告にて指摘された、平安時代と推定される陥し穴の埋没土上層にみられる「ローム質土レンズ状堆積層」は、同報告によれば、花畑遺跡・長野原一本松遺跡・立馬I遺跡・立馬II遺跡の陥し穴においても確認されており、その堆積年代が正しいと判明すれば、陥し穴の構築/使用年代を推定する鍵層として重要な役割を持つと期待される。現状では、陥し穴の構築使用時期は平安時代から中世ごろまでを下限と考えられている。

これらのことから、村上章義(2008)が指摘するように、文献では古代『日本書紀』巻二九 天武天皇四年四月庚

寅(十七)；『続日本後紀』巻二 天長十年六月丙辰朔)から江戸時代まで、民俗事例では明治時代まで陥し穴が記録されている。とくに、後者は、長野原町に隣接した六合村(現在は合併で中之条町)における民俗事例であり、今後、構築・使用時期が江戸時代や明治である可能性を見た調査を行う必要がある。

陥し穴の底面には、しばしば小ピットの存在が報告されている。小ピットの存在は、遺構が陥し穴と比定される根拠のひとつとしてあげられるものである。ハッ場ダム関連遺跡においても、長野原一本松遺跡(1)・(2)、花畑遺跡、上郷A遺跡、立馬I遺跡・立馬II遺跡、三平II遺跡において報告されている。特に、小野和之が長野原一本松遺跡(2)で言及したように、その数は55基で、僅か11%にすぎない。小ピットのみとめられる陥し穴は、数量的には、楕円形・長方形と溝形・円形との差は、9～13基と大きな差はないが、割合においては、溝形が



第132図 陥し穴模式図 『上ノ平I遺跡(1)』より



第133図 陥し穴埋没状況図 『上ノ平I遺跡(1)』より

表8 陥し穴集計表

遺跡名	陥し穴数	計
町	0	0
長野原一本松	252	252
幸神	14	14
久々戸	5	5
榎原中村	3	3
榎原勝沼	3	3
西久保IV	0	0
山根原	0	0
楡木I	9	9
楡木II	44	44
上原I	1	1
上原II	0	0
上原IV	0	0
東原I	20	20
東原II	10	10
東原III	3	3
花畑	51	51
林中原II	0	0
下田	8	8
石川原	多数	
川原湯中原II	65	65
上ノ平I	242	242
東宮	0	0
上郷同原	0	0
上郷A	130	130
上郷B	80	80
上郷西	1	1
榎谷	67	67
計	1008	1008

39%、円形が17%と突出している。小ピットに対する断ち割り調査が行われているのは立馬Ⅰ遺跡・立馬Ⅱ遺跡と三平Ⅱ遺跡であり、いずれも溝形の陥し穴に対して行われ、断ち割りを実施した結果、打ち込まれたものと推定されている。その際の断ち割りによって、検出時には小ピットとされていたものが攪乱であったことが判明しており、大多数の陥し穴に小ピットがみとめられないことから、断ち割らずに小ピットと認定することには慎重であるべきであろう。陥し穴の埋没土については、陥し穴が掘り込まれる地点の基本土層と埋没土を対比すると、壁の部分が崩落し易い。直接切り合っていない陥し穴同士の前後関係を明らかにすることは可能であろう。

また、埋没土の確認のために掘り下げた半截後のプランの大きさと、遺構確認での検出時のプランの大きさが著しく異なる場合、遺構確認面が掘り込み面よりも上位にある可能性があるので、埋没土の上位の層と遺構周辺の土層とが同じなのか切り合っているのかよく観察する必要がある。

いずれにしても、篠原や村上らが指摘するように、これからは基本土層での遺構の掘り込み面の正確な把握が要求される。

参考文献

- 石田真「群馬県北西部における陥し穴の構築時期をめぐって」『研究紀要』22、群馬県埋蔵文化財調査事業団 2004
 (以下(財)・(公財)群文○集)
 村上章義「ハツ場ダム関連遺跡における陥し穴の調査の現状と課題」**榎木Ⅱ遺跡(1)**(財)群文432集 2008
野原一本松遺跡(1)(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団報告書 第287集 2002
ハツ場ダム発掘調査集成(1) 東宮・石畑・川原湯勝沼・横壁勝沼・西久保Ⅰ・山根Ⅲ・下田・花畑・榎木Ⅲ・尾坂(財)群文303集 2003
久々戸遺跡・中榎Ⅱ遺跡・下原・横壁中村遺跡(財)群文319集 2003
久々戸遺跡(2)・中榎Ⅱ遺跡(2)・西ノ上・上郷A遺跡(財)群文349集 2004
横壁中村遺跡(2)(財)群文355集 2005
横壁中村遺跡(3)(財)群文368集 2006
立馬Ⅱ遺跡(財)群文375集 2006
上郷B遺跡・廣石A遺跡・二反沢遺跡(財)群文379集 2006
横壁中村遺跡(4)(財)群文381集 2006
立馬Ⅰ遺跡(財)群文388集 2006
下原遺跡Ⅱ(財)群文389集 2007
三平ⅠⅡ遺跡(財)群文401集 2007
横壁中村遺跡(5)(財)群文406集 2007
長野原一本松遺跡(2)(財)群文408集 2007
山根Ⅲ遺跡(2)・上原Ⅳ遺跡・幸神遺跡(財)群文429集 2008
榎木Ⅱ遺跡(1)(財)群文432集 2008
長野原一本松遺跡(3)(財)群文433集 2008
横壁中村遺跡(6)(財)群文436集 2008
横壁中村遺跡(7)(財)群文439集 2008
上ノ平Ⅰ遺跡(1)(財)群文440集 2008
長野原一本松遺跡(4)(財)群文441集 2008
上郷西遺跡(財)群文448集 2008
立馬Ⅲ遺跡(財)群文457集 2009
長野原一本松遺跡(5)(財)群文461集 2009
横壁中村遺跡(8)(財)群文462集 2009
横壁中村遺跡(9)(財)群文466集 2009
上郷阿原遺跡(3)(財)群文471集 2009
上郷A遺跡(2)(財)群文473集 2009
横壁中村遺跡(10)(財)群文488集 2010
横壁中村遺跡(11)(財)群文492集 2010
東京Ⅰ遺跡・東京Ⅱ遺跡・東京Ⅲ遺跡(財)群文502集 2010
東京遺跡(1)(財)群文514集 2011
横壁遺跡(12)(財)群文526集 2012
榎木Ⅰ遺跡・上原Ⅳ(2)遺跡・西久保Ⅳ遺跡(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団報告書 第549集(以下(公財)群文○集) 2012
長野原一本松遺跡(6)(公財)群文554集 2013
横壁中村遺跡(13)(公財)群文559集 2013
長野原一本松遺跡(7)(公財)群文578集 2014
横壁中村遺跡(14)(公財)群文587集 2014
上原Ⅰ遺跡・上原Ⅲ遺跡・林宮原遺跡(公財)群文604集 2016
上ノ平Ⅰ遺跡(2)(公財)群文623集 2017

第4節 石臼

食生活に欠かせない粉食には、対象物の穀物などを砕くための道具が必要である。

日本では古くは、縄文時代から石皿に敲石・磨石、弥生時代以後は大陸から米とともに伝来した杵と臼のセットである付き臼も使われている。

さらに、中世以後は上・下2個のセットである挽き臼が登場し、穀物利用の拡大が図られることとなった。その材料には木、あるいは石が利用されている。

この研究では、三輪茂雄(1978)が著名であり、その著書によると中近世の挽き臼については前記したように、上(雄)臼と下(雌)臼との2種類の組み合わせから成る。民俗例では、その形状は地域によって異なるようで、全国的には上臼の側面に穴を開けて、棒を差し込む「横打ち込み式」という形式が一般的である。それに対して、中部・東海地域では上臼の側面に竹のタグを巻いてそこに棒をくさびのように差し込む「竹たが締めくさび式」、東京・神奈川地域では棒を刺した添え木をベルトで締める「添え木式」がある。これらに対して、上臼そのものに一部加工して棒を付ける形式もある。上臼の側面の一部を台形状にほぞの切り込みを入れて棒を差し込む「ほぞ打ち込み式」、埼玉県や群馬県にみられるような、側面の一部を張り出して、そこに棒の差し込み穴を開ける「作り付け式」などがあるとされている。

だが、実際にはここ長野原地区での発掘調査の出土事例では「横打ち込み式」が主流で、「作り付け式」は僅かである。特に、江戸時代後期の天明三年の浅間山の噴火に伴う泥流によって埋没していた資料が数多く、遺跡ごとの数を集計したのが表9で、その中からほぼ完形で近い資料を集めたのが第134図である。

一方で、対象物を細かく粉砕するために、石が利用されている点は共通である。その石材には目が粗く、通風性があり熱を持ちにくくするために、粗粒輝石安山岩など様々な安山岩を利用している。それはこれらの安山岩類は適度な硬さを持ち、細かな穴が無数に開いていることから、長時間挽いても温度が上がりにくく、そばなどの穀物そのものの持つ風味を損なうことが少ないからと言われている。つまり、この無数の穴が石臼で穀物を挽く時に摩擦熱の発生を抑えることで粉が熱くなりやすくなり、またこの無数の穴があることで、より細かな粒子

まで粉砕することが出来る訳である。

このため、抹茶には専用の小型の茶臼が利用される。この地域でも出土例はあるが、里に比べて出土数は少ない。やはり生活環境などの違いが影響するのだろうか。

また、上臼と下臼を安定して設置するために、それぞれの中央に木などの軸を差し込む穴を開けるのだが、下臼は貫通させるのに対して、上臼は途中までが多い。

さらに、ものくぼりと呼ばれる、供給がから延びるへこみが上臼にはあり、その向きで臼の回転方向は分かる。上臼の回す方向は反時計回りが一般的であるが、これは右利きの人ハンドルの回すために必然といえる。今回の周辺遺跡の出土資料の集成の中には、1例だけ時計回りと考えられる資料が存在する。




















石臼の製作は大まかにみて、まずは①祖型の荒削り、②成型、③目の割り付け(均等割り)の順である。実際の資料では中心部を通る一本の線の刻み目がしっかりしているものの、その他の目の面の境の線は揃っていないことが多い。

挽き臼は、棒のハンドルを用いて、手で回して粉砕する。その際に、上臼の上から材料の穀物類を供給する穴に穀物を入れ、上臼と下臼に刻み込まれた目で擦り潰す訳であるが、その目は4～8の数で、主に6と8の偶数が多い。中には5や7の奇数の目も稀に存在するが、その数が少ないのは円形の面に奇数を割り振るのはかなり難しいからと言える。

石臼で一番大切なところは上臼と下臼の擦り合わせる面の微妙なすきま(ふくみ)と目立てと言われているが、上下で揃っていない事が多く、おそらくは厳密な規則がなされていないか、使用による擦り減り後の再調整、つまり目直し時点での不統一などがあるのかも知れない。

大きさにも規格があるようで、表9にあるようにほぼ完形資料の集計値によれば、大型の唐臼以外の臼の直径が25cm～40cmの間で、高さが7.5cm～20cmである。重量も5kg～40kgと幅広い。本来の製品の規模は、おそらくは直径40cm、高さ20cmの規格に揃えられていたと考えられる。

また、搗臼(つきうす)は唐臼とも呼ばれ、大型で納屋などの土間に直接埋め込んで、杵付き等の構造物が伴う。その動力には人力では無理で、水車や牛などの家畜が利用される。本遺跡でも、前回報告の野口茂四郎宅地でや

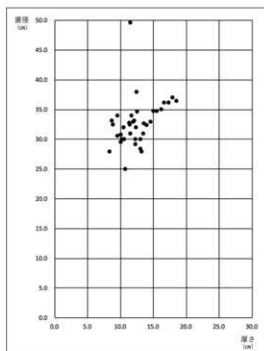
下白					
					
					
					
	東次郎成四	東次郎成四	三平止留成	平左衛門成	
上白					
					
					
					
	十之平一層成四	東次郎成四	東次郎成四	東次郎成四	

第134図 挽き白比較図

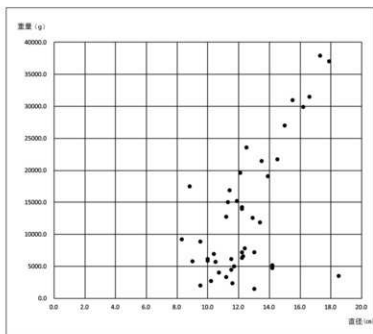
表9 石臼一覧表

道跡名	道跡名	番号	種類	幅(cm)	高さ(cm)	重さ(g)	目	備考
上郷岡原	1号建物	77	下臼	32.0	10.4	6900.0	6	上郷岡原(1)
上郷岡原	1号貯穴状遺構	352	上臼	30.0以上	(12.9)	6400.0	6	上郷岡原(1)
上郷岡原	12号土坑	429	上臼	30.0	13.0	7200.0	6	上郷岡原(1)
上郷岡原	176号土坑	431	下臼	30.0	12.2	7200.0	8	上郷岡原(1)
上郷岡原	192号土坑	434	下臼	(31.0)	11.7	5000.0	6	上郷岡原(1)
上郷岡原	192号土坑	435	上臼	31.0	13.4	11900.0	6	上郷岡原(1)
上郷岡原	208号土坑	436	上臼	(32.0)	11.2	3300.0	6	上郷岡原(1)
上郷岡原	208号土坑	437	下臼	(30.0)	12.2	6300.0	6	上郷岡原(1)
上郷岡原	208号土坑	438	上臼	31.0	11.5	6100.0	6	上郷岡原(1)
上郷岡原	T-17	480	上臼	(32.0)	12.2	14200.0	6?	上郷岡原(1)
三平Ⅱ	46号土坑	2	上臼	(29.6)	11.2	12700.0	6	三平Ⅰ・Ⅱ
三平Ⅱ	遺構外 81区B-12	277	上臼	(25.8)	9.0	5800.0	6	三平Ⅰ・Ⅱ
三平Ⅱ	遺構外 81区B-12	278	上臼	(24.5)	14.2	4700.0	6	三平Ⅰ・Ⅱ
三平Ⅱ	遺構外 906X-11	279	上臼	(24.5)	14.2	5200.0	6?	三平Ⅰ・Ⅱ
三平Ⅱ	遺構外 906X-11	281	下臼	28.4	13.0	1500.0	6	三平Ⅰ・Ⅱ
横塚中村	3号石組	2	茶臼・下臼					横塚中村(10)
横塚中村	3号石組	3	下臼	(30.0)	10.6	—	6	横塚中村(10)
横塚中村	6号石組	2	下臼	(30.0)	12.0	—	6	横塚中村(10)
横塚中村	8号石臼	16	上臼	(27.8)	12.3	—	6	横塚中村(10)
横塚中村	2号石組	10	上臼	(29.0)	10.2	—	6	横塚中村(10)
横塚中村	18号配石	1	茶臼・上臼	(19.5)	(10.8)	—	6	横塚中村(10)
横塚中村	2号ヤックラ	13	下臼	—	—	—	6	横塚中村(10)
横塚中村	2号ヤックラ	14	下臼	—	(11.0)	—	6	横塚中村(10)
横塚中村	2号ヤックラ	15	上臼	—	(10.9)	—	6	横塚中村(10)
横塚中村	ヤックラ	10	上臼	—	(9.0)	—	6	横塚中村(10)
横塚中村	ヤックラ	11	上臼	(30.0)	11.4	—	6	横塚中村(10)
横塚中村	20区遺構外	95	下臼	(32.0)	11.9	—	6	横塚中村(10)
東宮	1号建物	450①	上臼	36.2	16.6	31500.0	6	東宮(2)
東宮	1号建物	450②	下臼	36.2	17.3	37900.0	6	東宮(2)
東宮	1号建物	451	上臼	33.2	12.1	19600.0	7	東宮(2)
東宮	1号建物	452	下臼	34.7	12.5	23600.0	6	東宮(2)
東宮	1号屋敷	62①	上臼	34.8	15.0	27000.0	6	東宮(2)
東宮	1号屋敷	62②	下臼	34.8	15.5	31000.0	6	東宮(2)
東宮	5号建物	220	上臼	33.0	11.9	15200.0	6	東宮(2)
東宮	1号被焼岩	1	上臼	28.0	13.2	(8500.0)	6	東宮(2)
東宮	7号建物	81	茶臼・下臼	(23.0)	11.5	(3500.0)	6	東宮(2)
東宮	7号建物	82	上臼	33.2	8.6	(6500.0)	6	東宮(2)
東宮	14号建物	31	下臼	36.5	18.5	3490.0	—	東宮(2)
東宮	14号建物	32	上臼	(17.3)	14.4	(7400.0)	—	東宮(2)
東宮	14号建物	33	下臼	(35.2)	12.4	(1190.0)	6	東宮(2)
東宮	7号屋敷	3	下臼	34.0	11.6	2390.0	7	東宮(2)
東宮	8号屋敷跡16号建物	29	上臼	32.8	11.3	15000.0	5	東宮(3)
東宮	8号屋敷跡16号建物	31	下臼	32.5	11.4	16900.0	6	東宮(3)
東宮	8号屋敷跡16号建物	32	下臼	32.7	13.5	21500.0	6	東宮(3)
東宮	9号屋敷跡18号建物	42	上臼	33.0	14.5	21680.0	6	東宮(3)
東宮	9号屋敷跡23号建物	10	上臼	32.4	13.9	19100.0	6	東宮(3)
東宮	10号屋敷跡23号建物	71	下臼	32.5	8.8	17500.0	8	東宮(3)
東宮	遺構外	81	上臼	35.1	16.2	29900.0	6	東宮(3)
上ノ平Ⅰ	野口茂四郎氏住宅跡	112	上臼	(27.0)	12.4	—	6	上ノ平Ⅰ(2)
上ノ平Ⅰ	野口茂四郎氏住宅跡	113	上臼	49.6	11.5	—	6	上ノ平Ⅰ(2)
上ノ平Ⅰ	遺構外 1区Ⅰ面表探	31	上臼	37.0	17.9	37000.0	6	上ノ平Ⅰ(3)
上ノ平Ⅰ	遺構外 1区表探	32	上臼	(34)	12.9	12600.0	6	上ノ平Ⅰ(3)
上ノ平Ⅰ	遺構外 2区Ⅰ面Ⅰ括	34	上臼	29.2	12.2	14000.0	—	上ノ平Ⅰ(3)
上ノ平Ⅰ	遺構外 1区表探	35	上臼	34.0	9.5	8900.0	6	上ノ平Ⅰ(3)
上ノ平Ⅰ	遺構外 2区Ⅰ括	36	上臼	29.6	10.0	6100.0	6	上ノ平Ⅰ(3)
下原	3号石組	下-132	上臼	(28.0)	11.5	4450.0	8	久々戸他
下原	63号土坑	下-135	下臼	30.8	10.0	5900.0	6?	久々戸他
下原	1号石組	下-140	下臼	32.0	12.3	6600.0	—	久々戸他
下原	61号土坑	下-141	上臼	(29.5)	(10.4)	8000.0	6?	久々戸他
下原	遺構外 Ⅱ区中世面0.73	下-142	下臼	28.0	8.3	9200.0	6	久々戸他
下原	3号石組	下-143	茶臼・上臼	17.5	(14.0)	7500.0	8	久々戸他
下原	中世面	下-146	上臼	25.0	10.7	4000.0	—	久々戸他
下原	4号石組	下-147	上臼	31.0	(8.5)	6700.0	—	久々戸他
下原	4号石組	下-148	上臼	30.0	10.5	5700.0	8	久々戸他
榎木Ⅱ	31号土坑	1	下臼	38.0	12.4	7784.0	6	榎木Ⅱ(1)
榎木Ⅱ	46号土坑	1	上臼	36.6	9.5	1961.0	6	榎木Ⅱ(1)
榎木Ⅱ	中世世	G-7	上臼	30.0	10.2	2696.0	6	榎木Ⅱ(1)

直径・厚さの分布図



重量・直径の分布図



第135図 石臼の数値分布図

や大型の石臼が検出されている。底部から緩やかに立ち上がり、内面は使用による光沢も見られる。全体を荒削り加工し、埋め込みを意識して、上位部分のみに工具による小叩き加工を加えるが、その動力についてははっきりしない。

参考文献

- 三輪茂雄 『ものと人間の文化史 25 臼』 法政大学出版局 1978
- 谷藤保彦・山下歳信・永谷貴之 『群馬県内出土の石臼について』 『研究紀要21』 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2003 (以下(財)・(公財)群埋文○集)
- 津金澤吉茂 『下原遺跡出土の石臼を中心に』 『久々戸遺跡・中郷Ⅱ遺跡・下原・横塚中村遺跡』 (財)群埋文410集 2003
- 津金澤吉茂 『上郷四原遺跡田区出土の石臼(粉引き臼・茶臼)について』 『上郷四原遺跡(1)』 (財)群埋文410集 2007
- 久々戸遺跡・中郷Ⅱ遺跡・下原・横塚中村遺跡。 (財)群埋文319集 2003
- 三平Ⅰ・Ⅱ遺跡 (財)群埋文401集 2007
- 上郷四原遺跡(1) (財)群埋文410集 2007
- 横木Ⅱ遺跡(1) (財)群埋文432集 2008
- 横塚中村遺跡(10) (財)群埋文488集 2010
- 東宮遺跡(1) (財)群埋文514集 2011
- 東宮遺跡(2) (財)群埋文536集 2012
- 上ノ平Ⅰ遺跡(2) (公財)群埋文623集 2017

表10 遺構一覧表

縄文・弥生時代

竪穴住居

号	区	グリッド	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	面積	写真
33	62	W・X-5～7	740	670	37	N-35°-E	円形	40.4㎡	PL.3-1～7, PL.4-1～10
35	62	U-7, V・W-6・7	(570)	(540)	51	N-90°-E	楕円形	26.5㎡	PL.4-10～14, PL.5-1～8, PL.6-1～21
51	71	S・T-3～5	454	370	35	N-13°-W	楕円長方形	15.7㎡	PL.7-1～6, PL.8-1～24
56	62	U・V-6・7	(410)	(340)	33	N-5°-W	楕円長方形	12.0㎡	PL.9-1～16, PL.10-1～10
57	71	O-8, P-8・9	(400)	(330)	(40)	N-5°-E	楕円形	(8.8) ㎡	PL.10-11～14, PL.11-1～10

土坑

号	区	グリッド	種類	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	分類	新旧関係	写真
409	62	V-6		122	(82)	28	N-15°-W	楕円形	1類	411号土坑と重複。	PL.11-11・13

平安時代

竪穴住居

号	区	グリッド	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	面積	写真
32	62	X・Y-4・5	440	(420)	35	N-57°-E	楕円方形	18.1㎡	PL.12-1～15
52	71	V・W-3・4	412	375	65	N-68°-E	楕円方形	15.2㎡	PL.13-1～8, PL.14-1～13
53	62	V-6, W-5・6, X-5	492	(364)	52	N-42°-E	楕円長方形	(17.7) ㎡	PL.14-14・15, PL.15-1～7, PL.16-1～10
54	62	W-4, X-3・4, Y-4	350	340	54	N-123°-W	楕円方形	11.8㎡	PL.16-11～14, PL.17-1～11
55	62	V・W-4・5	466	340	45	N-67°-E	楕円長方形	15.5㎡	PL.18-1～8, PL.19-1～9

土坑

号	区	グリッド	種類	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	分類	新旧関係	写真
261	71	U-5	竪穴	235	198	234	N-15°-W	楕円形	2類		PL.19-10・11
262	71	R-6	竪穴	(375)	(273)	250	N-26°-E	楕円形	2類		PL.19-12・13
271	71	Q-6・7	竪穴	(276)	(225)	222	N-27°-W	楕円形	2類		PL.19-14・15
276	71	M-9	竪穴	(192)	124	168	N-19°-W	楕円形	2類	89号ビットと重複。	PL.20-1・2
277	71	N-9	竪穴	160	78	88	N-46°-W	楕円長方形	2類	272号土坑、84・86・87号ビットと重複。	PL.20-3・4
278	71	M・N-9	竪穴	202	174	144	N-48°-E	楕円長方形	2類	274号土坑より古い。85号ビットと重複。	PL.20-5・6
279	71	M-9・10	竪穴	225	155	126	N-20°-W	楕円長方形	2類	292号土坑より新しい。73・100・120号ビットより古い。	PL.20-7・8
281	71	N・O-10	竪穴	(240)	(91)	195	N-44°-E	楕円長方形	2類		PL.20-9
283	71	Q-8	竪穴	(260)	(210)	208	N-24°-W	楕円長方形	2類	282号土坑より古い。	PL.20-10・11, PL.30-3
284	71	M-8	竪穴	196	166	156	N-16°-W	楕円長方形	2類	83号ビットより新しい。	PL.20-12・13
288	71	R-8	竪穴	190	148	159	N-24°-E	楕円長方形	2類		PL.20-14
289	71	P-6・7, Q-7	竪穴	260	230	247	N-5°-E	楕円長方形	2類		PL.20-15, PL.21-1
291	71	N-7	竪穴	(215)	192	140	N-62°-E	楕円長方形	2類	305号土坑より新しい。	PL.21-2・3
294	71	P-7・8	竪穴	284	206	243	N-0°	楕円長方形	2類		PL.21-4・5
296	71	S-6	竪穴	194	153	179	N-14°-W	楕円長方形	2類		PL.21-6・7
297	71	T-6	竪穴	176	120	146	N-15°-E	楕円長方形	2類		PL.21-8・9
298	71	T-7	竪穴	216	154	200	N-27°-W	楕円長方形	2類		PL.21-10・11
299	71	U-6	竪穴	190	145	161	N-74°-W	楕円長方形	2類	128・129号ビットより古い。	PL.21-12・13
300	71	U-6	竪穴	222	194	203	N-9°-E	楕円長方形	2類	130号ビットより古い。	PL.21-14・15
301	71	V-6	竪穴	160	118	120	N-13°-W	楕円長方形	2類		PL.22-1・2
302	71	O-7・8	竪穴	(182)	(143)	200	N-24°-W	楕円長方形	2類		PL.22-3・4
303	71	P-9	竪穴	(178)	168	118	N-30°-W	楕円長方形	2類		PL.22-5・6
304	71	P-9	竪穴	132	96	62	N-7°-E	楕円長方形	2類		PL.22-7・8
305	71	N-7	竪穴	(168)	(90)	160	N-51°-W	楕円長方形	2類	291号土坑、131号ビットより古い。115号ビットと重複。	PL.21-3
306	71	S-7	竪穴	232	200	206	N-6°-W	楕円長方形	2類		PL.22-9～11
307	71	N-7	竪穴	(200)	(158)	150	-	楕円方形か?	2類		PL.22-12・13
308	71	M-8	竪穴	152	(68)	149	-	楕円方形か?	2類		PL.22-14・15
313	71	R-6・7	竪穴	(260)	154	230	N-30°-W	楕円長方形	2類		PL.23-1・2
314	71	P-8	竪穴	190	(124)	134	N-35°-W	楕円長方形	2類		PL.23-3・4
315	71	P-7	竪穴	172	84	130	N-15°-W	楕円長方形	2類		PL.23-5
316	71	O-9	竪穴	174	95	85	N-62°-W	楕円長方形	2類		PL.23-6・7
318	62	O-16	竪穴	171	73	89	N-45°-W	楕円長方形	2類		PL.23-8・9
321	71	V-3	竪穴	(155)	82	79	N-30°-W	楕円長方形	2類		PL.23-10・11
322	71	V・W-3	竪穴	153	80	126	N-76°-W	楕円長方形	2類		PL.23-12
323	71	W・X-4	竪穴	(153)	(128)	110	-	楕円方形	2類	329号土坑と重複。	PL.23-13・14
325	71	W-5	竪穴	195	111	109	N-20°-W	楕円長方形	2類		PL.23-15, PL.24-1
326	71	V-3	竪穴	153	118	73	-	楕円方形	2類	187号ビットより新しい。	PL.24-2・3
328	71	W-3・4	竪穴	211	169	134	N-83°-E	楕円長方形	2類		PL.24-4・5
329	71	W・X-4	竪穴	312	293	264	N-3°-W	楕円形	2類	323号土坑と重複。	PL.24-6・7
330	71	W・X-4・5	竪穴	287	(238)	216	N-69°-W	楕円長方形	2類	325号土坑より新しい。	PL.24-8・9
331	71	X-3・4	竪穴	258	190	244	N-37°-E	楕円長方形	2類		PL.24-10・11

遺構一覧表

号区	グリッド	種類	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	分類	新旧関係	写真
333	72 I-3	陥穴	210	142	71	N-70°-W	楕丸長方形	2類		
336	72 I-J-2	陥穴	158	94	132	N-43°-W	楕丸長方形	2類		Pl.24-12-13
340	71 V-4	陥穴	198	101	102	N-25°-W	楕丸長方形	2類	356号土坑より新しい。	Pl.24-14-15
344	72 F-2	陥穴	173	86	114	N-41°-W	楕丸長方形	2類		Pl.25-1~4
345	62 I-25	陥穴	144	(97)	126	N-38°-E	楕円形	2類		Pl.25-5-6
346	62 K-21+22	陥穴	105	65	128	N-14°-E	楕円形	2類		Pl.25-7
347	72 H-3	陥穴	250	150	190	N-12°-W	楕丸長方形	2類		Pl.25-8-9
351	72 G-4+5	陥穴	166	77	46	N-15°-E	楕丸長方形	2類		Pl.25-10-11
352	71 V-W-2+3	陥穴	227	(90)	209	N-72°-E	楕丸長方形か?	2類		Pl.25-12-13
353	71 Y-4	陥穴	222	(185)	232	N-4°-E	楕円形	2類		Pl.25-14
354	71 V-4	陥穴	155	97	123	N-82°-W	楕丸長方形	2類		Pl.25-15, Pl.26-1
356	71 V-4	陥穴	187	83	94	N-84°-W	楕丸長方形	2類	340号土坑より古い。	Pl.26-2-3
360	71 E-3	陥穴	85	(38)	94	N-38°-W	楕丸長方形か?	2類		Pl.26-4-5
364	71 V-5	陥穴	(160)	110	108	N-0°	楕丸長方形	2類	365号土坑より新しい。	Pl.26-6
365	71 V-5	陥穴	(195)	168	100	N-8°-W	楕円形	2類	364号土坑より古い。	Pl.26-7-8
366	71 W-5	陥穴	187	111	120	N-5°-W	楕丸長方形	2類		Pl.26-9-10
367	71 W-X-5	陥穴	156	94	82	N-60°-E	楕丸長方形	2類		Pl.26-11-12
369	71 Y-5	陥穴	162	98	104	N-3°-W	楕丸長方形	2類		Pl.26-13-14
374	62 S-9+10	陥穴	174	158	128	N-21°-E	楕円形	2類	373号土坑より古い。	Pl.26-15, Pl.27-1
375	62 S-10	陥穴	160	92	90	N-63°-E	楕丸長方形	2類	205号ビットより古い。206号ビットと重複。	Pl.27-2-3
381	62 T-U-7+8	陥穴	180	100	106	N-43°-W	楕丸長方形	2類	380号土坑より古い。	Pl.27-4-5
384	62 V-1	陥穴	176	88	90	N-72°-E	楕丸長方形	2類	8号集石と重複。	Pl.27-6
391	62 T-U-9	陥穴	158	118	134	N-13°-W	楕丸長方形	2類		Pl.27-7-8
396	62 W-6+7	陥穴	186	130	110	N-25°-W	楕丸長方形	2類	395号土坑より古い。	Pl.27-9
397	62 T-U-6+7	陥穴	243	(148)	155	N-37°-W	楕丸長方形	2類	398号土坑より古い。393-401号土坑と重複。	Pl.27-10-11
400	62 V-6+7	陥穴	220	190	127	N-19°-W	楕丸長方形	2類		Pl.27-12-13
407	63 B-1	陥穴	(99)	92	67	N-28°-W	楕丸長方形	2類		Pl.27-14-15
408	62 V-2+3	陥穴	270	202	164	N-16°-W	楕円形	2類		Pl.28-1-2
421	62 V-5+6	陥穴	168	105	65	N-10°-E	楕丸長方形	2類	405号土坑と重複。	Pl.28-3
424	62 V-4	陥穴	275	150	132	N-37°-W	楕丸長方形	2類		Pl.28-4~6
426	71 S-7+8	陥穴	(257)	204	164	N-25°-W	楕丸長方形	2類		Pl.28-7-8
										Pl.28-9-10
										Pl.28-11-12

中世以降

土坑

号区	グリッド	種類	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	分類	新旧関係	写真
263	71 U-V-4		195	-	37	-	楕丸方形	3類		Pl.28-13-14
264	71 Q-6		95	-	14	-	不定形	3類	265号土坑より新しい。	Pl.28-15, Pl.29-1
265	71 Q-6		108	-	14	-	楕丸方形	3類	264号土坑より古く。266号土坑より新しい。	Pl.28-15, Pl.29-2
266	71 Q-6		75	60	15	N-33°-W	楕円形	3類	265号土坑より古く。267号土坑より新しい。	Pl.28-15, Pl.29-3
267	71 Q-6		32	-	24	-	楕丸方形	3類	266号土坑より古い。	Pl.28-15, Pl.29-4
268	71 R-5		155	-	18	-	不定形	3類		Pl.29-5-6
269	71 S-5		90	-	27	-	不定形	3類		Pl.29-7-8
270	71 N-10		112	95	20	N-50°-E	楕丸長方形	3類		Pl.29-9
272	71 N-9		(80)	-	29	-	円形	3類		Pl.29-10-11
273	71 P-Q-8		224	-	45	-	楕丸方形	3類		Pl.29-12-13
274	71 N-9		(94)	-	25	-	円形	3類	278号土坑より新しい。	Pl.29-14-15
275	71 R-5		70	-	21	-	円形	3類		Pl.30-1-2
280	71 Q-8		(94)	(78)	48	N-35°-W	楕円形	3類	282-283号土坑より新しい。	Pl.30-3-4
282	71 Q-8		(190)	(188)	104	N-35°-W	楕円形?	3類	280号土坑より古く。283号土坑より新しい。	Pl.30-3-5
285	62 L-19		60	-	33	-	円形	3類		Pl.30-6-7
286	62 L-20		54	-	32	-	円形	3類		Pl.30-8-9
287	62 L-20		60	-	55	-	円形	3類		Pl.30-10-11
290	71 O-7+8		118	-	59	-	円形	3類		Pl.30-12-13
292	71 M-9		90	-	12	-	-	3類	279号土坑より新しい。	Pl.30-14-15
293	71 N-10		110	-	29	-	円形	3類		Pl.31-1-2
295	71 N-10		190	-	28	-	不定形	3類	119号ビットと重複。	Pl.31-3-4
309	71 M-5		64	45	20	N-65°-E	楕円形	3類		Pl.31-5-6
310	71 O-5		132	-	18	-	楕丸方形	3類	156号ビットより古い。	Pl.31-7-8
311	71 O-5		(70)	132	31	-	-	3類		Pl.31-9-10
312	71 N-5		110	75	20	N-18°-W	楕丸長方形	3類		Pl.31-11-12
317	71 T-4		148	125	59	N-70°-E	楕丸長方形	3類		Pl.31-13-14
319	62 O-15+16		94	-	39	-	円形	3類		Pl.31-15, Pl.32-1
320	71 Q-5		120	-	20	-	円形	3類		Pl.32-2-3
324	71 V-6		50	40	32	N-69°-E	楕円形	3類		Pl.32-4-5
327	71 W-3		98	62	67	N-58°-E	楕円形	3類		Pl.32-6-7
332	71 X-4		226	-	43	-	円形	3類		Pl.32-8-9
334	62 H-I-25		110	80	43	N-39°-E	楕円形	3類		Pl.32-10-11
335	62 I-25		110	80	22	N-48°-E	楕円形	3類		Pl.32-12-13

号	区	グリッド	種類	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	分類	新旧関係	写真
337	72	I-2-3		96	-	38	-	楕円形	3類		
338	72	G・H-2		118	88	48	N-55°-E	楕円長方形	3類		PL.32-14-15
339	72	H-3		120	-	42	-	円形	3類		PL.33-1-2
341	71	T-3-4		60	-	25	-	円形	3類		PL.33-3-4
342	62	I・J-24		53	-	12	-	円形	3類		PL.33-5-6
343	72	G-3		104	92	36	-	楕円形	3類		PL.33-7-8
348	72	G-3-4		146	70	36	N-30°-W	楕円長方形	3類		PL.33-9～11
349	72	F・G-4		112	68	14	N-20°-W	楕円長方形	3類		PL.33-12-13
350	62	H-1-25		94	-	25	-	円形	3類		PL.33-14-15
353	71	W-4		126	64	47	N-76°-W	楕円長方形	3類		PL.34-1
357	71	V-3		60	-	31	-	円形	3類	189号ピットと重複。	PL.34-2-3
358	71	V-3		72	-	19	-	円形	3類		PL.34-4-5
359	71	V-5		125	-	19	-	円形	3類	191号ピットより新しい。	PL.34-6-7
361	72	E-2		192	146	43	N-35°-W	楕円形	3類	362号土坑より新しい。	PL.34-8
362	72	E-2	(122)	98	60	N-89°-W	楕円長方形	3類	361号土坑より古い。		PL.34-9-10
363	72	E-2	(48)	80	51	N-14°-E	-	3類			PL.34-10
368	71	W-6		84	-	17	-	円形	3類		PL.34-11
370	62	S・T-14		(40)	70	58	N-58°-W	-	3類		PL.34-12-13
371	62	X-5		160	(108)	44	N-36°-E	楕円長方形	3類		PL.34-14-15
372	62	W・X-2		94	-	40	-	円形	3類		PL.35-1-2
373	62	S-9		182	70	79	N-23°-E	楕円長方形	3類	374号土坑より古い。	PL.35-3-4
376	62	V-5		120	-	56	-	円形	3類		PL.35-5-6
377	62	X-2		168	140	27	N-21°-W	楕円長方形	3類		PL.35-7-8
378	62	X-2		122	98	60	N-29°-E	楕円形	3類	386号土坑と重複。	PL.35-9-10
379	62	W-2		132	-	62	-	円形	3類	218号ピットと重複。	PL.35-11-12
380	62	T・U-7-8	(136)	85	51	N-48°-E	楕円長方形	3類	381号土坑より新しい。		PL.35-13～15
382	62	S-4		115	-	54	-	楕円形	3類		PL.36-1-2
383	62	U-4		58	-	16	-	円形	3類	古銭出土	PL.36-3-4
385	62	W・X-3		76	-	20	-	円形	3類		PL.36-5～7
386	62	X-2	(80)	-	54	-	不定形	3類	378号土坑と重複。		PL.36-8-9
387	62	U-4		95	-	28	-	円形	3類		PL.36-10～12
388	62	W・X-4		187	148	24	N-77°-E	楕円形	3類		PL.36-13-14
389	62	T-4		118	-	20	-	円形	3類	390号土坑より新しい。	PL.36-15, PL.37-1
390	62	T-4		110	-	33	-	円形	3類	389号土坑より古い。	PL.37-2-4
392	62	V-3-4		170	108	44	N-62°-E	楕円形	3類		PL.37-3-4
393	62	T-6		121	-	20	-	円形	3類	397号土坑より新しい。	PL.37-5-6
394	62	U-4		142	101	27	N-45°-W	楕円長方形	3類		PL.37-7-8
395	62	W-6-7		156	126	80	N-0°	楕円形?	3類	396号土坑より新しい。	PL.37-9-10
398	62	T・U-6-7		-	-	60	-	-	3類	397号土坑より新しい。	PL.27-12-13
399	62	T-6		165	100	32	N-64°-W	楕円形	3類		PL.27-14-15
401	62	U-6		113	(85)	19	N-58°-W	楕円形	3類	397号土坑より新しい。	PL.37-11-12
402	62	W-4-5		118	88	16	N-42°-W	楕円形	3類	246号ピットと重複。	PL.37-13-14
403	62	W-7	(50)	92	23	N-2°-W	楕円形?	3類	396号土坑より新しい。		PL.37-15, PL.38-1
404	53	C-25		95	73	42	N-36°-W	楕円長方形	3類		PL.38-2
405	62	U-5, V-5-6		270	170	23	N-60°-E	楕円長方形	3類	421号土坑より新しい。	PL.38-3-4
406	53-63	B-1-25		198	66	33	N-24°-W	楕円長方形	3類		PL.38-5-6
410	62	V-6		68	-	15	-	円形	3類		PL.38-7-8
411	62	V-6		85	-	59	-	楕円形	3類	409号土坑より新しい。	PL.38-9-10
412	52	U-25		222	120	38	N-70°-E	楕円長方形	3類		PL.38-11-12
413	62	V-1		60	-	34	-	円形	3類		PL.38-13-14
414	52	U-24		125	-	32	-	円形	3類		PL.38-15, PL.39-1
415	52	U-24-25		123	-	19	-	円形	3類		PL.39-2-3
416	52	T・U-25		102	75	14	N-65°-E	楕円形	3類		PL.39-4-5
417	52	S-25		80	-	55	-	円形	3類		PL.39-6-7
418	52-62	S-1-25		105	73	19	N-65°-E	楕円形	3類		PL.39-8-9
419	62	Y-2		100	90	48	N-7°-E	楕円形	3類		PL.39-10-11
420	62	X-1		80	-	21	-	円形	3類		PL.39-12-13
422	62	X-1	(82)	73	42	N-45°-W	楕円形	3類	254号ピットより新しい。		PL.39-14-15
423	52	U-25		190	135	34	N-62°-E	楕円長方形	3類		PL.40-1-2
425	62	X・Y-1		128	84	50	N-65°-W	楕円形	3類		PL.40-3-4
											PL.40-5-6

遺構一覧表

ビット

号	区	グリッド	長軸	短軸	深さ	形状	分類	新旧関係	写真	備考
62	71	S-5	36	-	20	円形			PL.40-7-8	
63	71	Q-6	32	28	37	楕円形			PL.40-9-10	
64	71	Q-5	48	36	14	楕円形			PL.40-11-12	
65	71	Q-5	26	-	19	円形			PL.54-5-6	2層立(P9)
66	71	Q-5	32	27	19	楕円形			PL.40-13-14	
67	71	Q-6	35	28	49	不明			PL.40-15	
68	71	N-10	30	28	38	楕円形			PL.51-19, PL.52-1	1層立(P1)
69	71	R-8	32	31	40	楕丸方形			PL.40-16-17	
70	71	Q-9	29	-	38	円形			PL.40-18, PL.41-1	
71	71	Q-7	51	36	29	楕円形			PL.41-2-3	
72	71	N-9	50	-	25	円形			PL.41-4-5	
73	71	M-9	33	-	39	円形		279号土坑より新しい。	PL.53-2-3	1層立(P10)
74	71	N-9	39	36	52	楕円形			PL.52-4-5	1層立(P3)
75	71	M-9	34	-	39	円形			PL.52-15, PL.53-1	1層立(P9)
76	71	O-9	52	48	74	楕円形		77号ビットより新しい。	PL.52-6-7	1層立(P4)
77	71	O-9	27	-	46	円形		76号ビットより古い。	PL.41-6-7	
78	71	N-8	19	-	40	円形			PL.52-12-13	1層立(P7)
79	71	N-9	34	33	40	楕丸方形			PL.52-2-3	1層立(P2)
80	71	N-8	36	-	42	円形			PL.52-10-11	1層立(P6)
81	71	M-9	32	25	26	楕円形			PL.41-8-9	
82	71	N-8	38	35	32	ほぼ円形			PL.52-8-9	1層立(P5)
83	71	M-9	(25)	35	36	-		284号土坑より古い。	PL.52-14	1層立(P8)
84	71	N-9	64	-	99	-	1類	86号ビットより新しい。	PL.41-10-11	
85	71	N-9	46	32	45	楕丸長方形			PL.41-12-13	
86	71	N-9	68	65	58	円形		278号土坑と重複。	PL.41-14	
87	71	N-9	42	30	59	楕丸長方形	1類	84号ビットより古い。	PL.41-15-16	
88	71	N-9	(38)	34	59	楕丸方形	1類	90号ビットと重複。	PL.41-17-18	
89	71	M-9	(40)	35	25	-		276号土坑と重複。		2号層(P4)
90	71	N-9	48	41	38	楕円形		88号ビットと重複。	PL.41-19-20	
91	62	M-18	37	32	28	楕円形			PL.41-21-22	
92	71	M-9	55	44	28	楕円形				2号層(P3)
93	71	M-9	46	32	24	楕円形				1号層(P5)
94	71	M-9	58	44	28	楕円形				1号層(P4)
95	71	N-9	53	46	45	楕円形			PL.41-23	
96	71	N-9	22	20	21	楕円形			PL.41-24, PL.42-1	
97	71	O-9	32	28	52	楕円形			PL.42-2-3	
98	71	N-8	26	20	7	楕円形			PL.42-4-5	
99	71	O-8	32	-	13	円形				1号層(P1)
100	71	M-10	26	-	20	円形		279号土坑より新しい。	PL.42-6	
101	71	N-10	32	-	44	円形			PL.42-7-8	
102	71	N-9	38	30	8	楕円形				1号層(P3)
103	71	O-8	32	-	51	円形				2号層(P1)
104	71	N-8	25	19	6	楕円形				1号層(P2)
105	71	N-9	23	(8)	21	楕円形			PL.42-9	
106	71	M-9	30	22	23	楕円形			PL.42-10-11	
107	71	M-9	22	-	22	円形			PL.42-12-13	
108	71	M-9	23	-	44	円形	1類		PL.42-14-15	
109	71	L-9	26	-	37	円形			PL.42-16-17	
110	71	M-9	39	31	30	楕円形			PL.42-18-19	
111	71	L-9	25	21	14	楕円形			PL.42-20-21	
112	71	L-9	22	20	19	楕円形			PL.42-22-23	
113	71	M-10	65	46	42	楕円形			PL.42-24, PL.43-1	
114	71	L-9	37	30	32	楕円形				1号層(P6)
115	71	N-8	-	-	38	-		305号土坑と重複。	PL.43-2-3	
116	71	N-10	26	24	25	楕丸方形			PL.43-4-5	
117	71	M-8	44	36	51	楕円形			PL.43-6-7	
118	71	M-8	44	40	11	楕円形			PL.43-8-10	
119	71	N-10	14	-	31	円形		295号土坑と重複。	PL.43-11-12	
120	71	M-10	35	(25)	23	楕円形		279号土坑より新しい。	PL.43-13-14	
121	71	L-10	34	26	39	楕円形			PL.43-15-16	
122	71	N-10	20	-	31	円形			PL.43-17-18	
123	71	N-9	30	-	29	円形			PL.43-19-20	
124	71	N-8	44	36	30	楕円形				2号層(P2)
125	71	N-10	28	-	33	円形			PL.43-21	
126	71	N-9	42	30	16	楕円形			PL.43-22-23	
127	71	M-8	30	-	10	円形			PL.43-24, PL.44-1	
128	71	U-6	30	26	35	楕丸方形		299号土坑より新しい。	PL.44-2	
129	71	U-6	20	19	28	楕円形		299号土坑より新しい。	PL.44-3	

号	区	グリッド	長軸	短軸	深さ	形状	分類	新旧関係	写真	備考
130	71	U-6	30	26	59	楕円形	1類	300号土坑より新しい。	Pl.44-4+5	
131	71	N-7	-	37	56	-		305号土坑より新しい、115号ビットと重複。	Pl.44-6+7	
132	71	T-6	26	22	23	隅丸方形			Pl.44-8+9	
133	71	M-8	42	-	25	円形			Pl.44-10+11	
134	71	M-8	29	22	33	楕円形			Pl.44-12+13	
135	71	M-5	30	26	21	楕円形			Pl.44-14+15	
136	71	M-5	28	-	19	円形			Pl.44-16+17	
137	71	N-4	26	-	22	円形			Pl.44-18+19	
138	71	M-4	30	25	39	楕円形			Pl.44-20+21	
139	71	M-5	30	-	23	円形			Pl.44-22+23	
140	71	M-5	46	-	57	円形	1類		Pl.44-24, Pl.45-1	
141	71	M-5	51	-	51	円形	1類		Pl.45-2~4	
142	71	O-5	27	24	26	ほぼ円形				3号槽(P3)
143	71	M-6	36	-	52	円形	1類	144号ビットより新しい。	Pl.45-5+6	
144	71	M-6	(40)	40	43	楕円形	1類	143号ビットより古い。	Pl.45-5+6	
145	71	N-5	24	-	31	円形			Pl.45-7+8	
146	71	N-5	44	-	18	円形			Pl.45-9+10	
147	71	N-4	39	38	24	隅丸方形			Pl.45-11+12	
148	71	O-5	30	24	31	楕円形				3号槽(P2)
149	71	N-6	23	20	25	楕円形			Pl.45-13+14	
150	71	N-5	25	-	20	円形			Pl.45-15+16	
151	71	N-5	56	48	34	楕円形		152号ビットより古い、158号ビットと重複。	Pl.45-17+18	
152	71	N-5	54	35	28	楕円形		152号ビットより新しい。	Pl.45-17+18	
153	71	M-5	57	53	24	楕円形			Pl.45-19+20	
154	71	N-5	46	35	20	楕円形		155号ビットと重複。	Pl.45-21+23	
155	71	N-5	24	-	17	円形		154号ビットと重複。	Pl.45-23	
156	71	O-5	33	-	26	円形		310号土坑より新しい。		3号槽(P4)
157	71	P-5	30	25	34	楕円形				3号槽(P1)
158	71	N-5	41	34	13	楕円形			Pl.45-24, Pl.46-1	
159	71	Q-7	50	42	18	楕円形			Pl.46-2+3	
160	71	P-7	61	33	27	楕円形			Pl.46-4+5	
161	71	U-5	34	25	26	楕円形			Pl.46-6+7	
162	71	T-3	28	26	20	楕円形			Pl.46-8+9	
163	71	S-4	29	22	15	楕円形			Pl.46-10+11	
164	71	S-4	32	227	26	楕円形			Pl.46-12+13	
165	71	T-3	38	35	16	楕円形			Pl.46-14+15	
166	71	R-4	26	-	31	円形				2層立(P3)
167	71	R-4	24	20	25	隅丸方形				2層立(P2)
168	71	R-4	22	(21)	49	隅丸方形	170号ビットと重複。			2層立(P5)
169	71	S-5	29	20	44	楕円形				2層立(P1)
170	71	R-4	27	21	48	楕円形	168号ビットと重複。			2層立(P4)
171	71	Q-4	26	20	36	隅丸方形				2層立(P6)
172	71	P-5	38	26	47	楕円形				2層立(P7)
173	71	Q-5	36	28	23	楕円形				2層立(P8)
174	71	V-4	31	22	24	隅丸長方形			Pl.46-16~18	
175	62	J-24	29	-	17	円形			Pl.46-19+20	
176	62	J-24	30	-	33	円形			Pl.46-21	
177	62	J-24	38	33	31	楕円形			Pl.46-22+23	
178	62	J-24	36	-	19	円形			Pl.46-24, Pl.47-1	
179	62	J-24	36	-	23	円形			Pl.47-2+3	
180	62	J-24	46	39	30	楕円形			Pl.47-4+5	
181	71	S-4	21	-	26	円形			Pl.47-6+7	
182	71	S-4	39	34	16	楕円形			Pl.47-8+9	
183	71	S-4	30	-	14	円形			Pl.47-10+11	
184	71	S-4	20	19	33	楕円形			Pl.47-12+13	
185	72	H-1	32	-	28	円形			Pl.47-14+15	
186	72	H-2	50	-	23	円形			Pl.47-16+17	
187	71	V-3	31	21	54	楕円形	1類	326号土坑より古い。	Pl.47-18+19	
188	62	L-20	42	38	25	楕円形			Pl.47-20+21	
189	71	V-3	31	-	23	円形			Pl.47-22+23	
190	71	V-3	24	20	25	楕円形			Pl.47-24, Pl.48-1	
191	71	U-5	41	33	13	楕円形		359号土坑より古い。	Pl.48-2	
192	71	W-4	56	46	23	楕円形			Pl.48-3+4	
193	71	V-4	20	18	23	楕円形			Pl.48-5+6	
194	71	V-4	43	-	28	円形			Pl.48-7+8	
195	71	X-5	35	31	20	円形			Pl.48-9+10	
196	62	Q-7	38	-	20	円形			Pl.48-11+12	
197	62	Q-6	30	-	27	円形			Pl.48-13+14	
198	62	R-6	49	44	17	楕円形			Pl.48-15+16	

遺構一覧表

号	区	グリッド	長軸	短軸	深さ	形状	分類	新旧関係	写真	備考
199	62	S-7	50	34	51	楕円形			PL.48-17-18	
200	62	R-6	47	36	73	楕円形		201号ビットより新しい。	PL.48-19-21	
201	62	R-6	54	41	60	楕円形	1類	200号ビットより古い。	PL.48-19-21	
202	62	S-8	31	-	34	円形			PL.48-22-23	
203	62	S-8	27	-	14	円形			PL.48-24, PL.49-1	
204	62	R-6	49	43	52	楕円形			PL.48-20-21	
205	62	S-10	37	(25)	65	-		375号土坑より新しい。206号ビットと重複。	PL.49-2-3	
206	62	S-10	48	(36)	110	楕円形	1類	375号土坑と重複。	PL.49-3	
207	62	X-2	29	-	36	円形			PL.49-4-5	
208	62	X-1	48	32	17	楕円形			PL.49-6-7	
209	52	W-25	49	37	77	楕円形				5号種(P2)
210	62	W-1	22	-	27	円形				5号種(P3)
211	62	W-1	55	-	72	円形				5号種(P4)
212	62	V-1	57	42	80	楕円形				5号種(P5)
213	62	X-2	39	34	42	楕円形			PL.49-8-9	
214	62	X-2	43	37	120	楕円形	1類		PL.49-10-11	
215	62	V-1	30	-	16	円形				5号種(P6)
216	62	V-1	44	38	69	楕円形				5号種(P7)
217	62	V-2	67	55	56	楕円形			PL.49-12-13	
218	62	W-2	50	(45)	28	?		379号土坑と重複。	PL.49-14-15	
219	62	W-1	44	(34)	21	円形		220号ビットと重複。	PL.49-16-18	
220	62	W-1	36	28	26	楕円形		219号ビットと重複。	PL.49-17-18	
221	62	W-2	40	34	41	楕円形			PL.49-19-20	
222	62	V-2	35	(26)	44	-		223号ビットより新しい。	PL.49-21-22	
223	62	V-2	54	43	50	楕円形		222号ビットより古い。	PL.49-21-22	
224	62	V-2	55	-	43	楕円形			PL.49-23-24	
225	62	V-2	59	-	54	円形			PL.50-1-2	
226	62	U-4	51	45	55	楕円形			PL.50-3-4	
227	62	U-4	41	35	59	楕円形			PL.50-5-6	
228	62	U-5	50	45	94	楕円形				4号種(P6)
229	62	U-5	48	43	67	楕円形				4号種(P4)
230	62	U-5	66	46	87	楕円形				4号種(P5)
231	62	U-4	35	-	50	円形			PL.50-7-8	
232	62	U-3	39	35	19	楕円形			PL.50-9	
233	62	V-4	57	50	65	楕円形				4号種(P3)
234	62	V-4	40	38	58	隅丸方形			PL.50-10-11	
235	62	T-4	36	30	19	楕円形			PL.50-12	
236	62	T-4	26	-	42	円形			PL.50-13-14	
237	62	T-5	48	42	67	楕円形				4号種(P7)
238	62	U-4	46	-	31	円形			PL.50-15	
239	62	V-4	40	-	73	円形		424号ビットより新しい。		4号種(P2)
240	62	V-4	46	42	77	楕円形				4号種(P1)
241	62	T-6	26	23	38	楕円形			PL.50-16-17-22	
242	62	T-6	34	30	22	楕円形			PL.50-18-19-22	
243	62	T-6	38	32	93	楕円形	1類		PL.50-20 ~ 22	
244	62	W-5	56	-	21	円形			PL.50-23-24	
245	62	W-6	75	(38)	21	楕円形			PL.51-1-2	
246	62	W-5	45	36	31	楕円形		402号土坑と重複。	PL.51-3	
247	63	A-1	44	37	76	楕円形	1類		PL.51-4-5	
248	62	Y-2	35	-	75	円形	1類		PL.51-6-7	
249	52	X-25	55	50	57	楕円形				5号種(P1)
250	52	T-24	40	30	23	楕円形			PL.51-8-9	
251	52	S-25	62	50	15	楕円形			PL.51-10-11	
252	52	T-24	60	-	56	円形	1類		PL.51-12-13	
253	52	T-24	52	44	19	楕円形			PL.51-14-15	
254	62	X-1	(50)	40	12	楕円形		422号土坑より古い。	PL.40-1-2	
255	71	R-7	32	-	16	円形			PL.51-16-17	

掘立柱建物

号	区	グリッド	長軸	短軸	主軸方位	形状	写真
1	71	M-9, N-8 ~ 10, O-8・9	575	370	N-40°-E	3間×2間	PL.51-18・19, PL.52-1 ~ 15, PL.53-1 ~ 3
2	71	P-5, Q-4・5, R-4, S-5	740	365	N-67°-E	3間×2間	PL.53-4 ~ 15, PL.54-1 ~ 6

礎石建物

号	区	グリッド	長軸	短軸	主軸方位	形状	写真
2	71	L-7, M・N-5 ~ 7	800	720	N-65°-E	4間×4間	PL.54-7 ~ 15, PL.55-1・2

柵

号	区	グリッド	長さ	主軸方位	形状	写真
1	71	L ~ N-9, N・O-8	1190	N-62°-E	5間	PL.55-3 ~ 15, PL.56-1
2	71	M-9, N・O-8	790	N-62°-E	3間	PL.55-3・4, PL.56-2 ~ 9
3	71	O・P-5	500	N-72°-E	3間	PL.56-10 ~ 15, PL.57-1 ~ 3
4	62	T-5, U-4・5, V-4	920	N-56°-E	4間	PL.57-4 ~ 15, PL.58-1
5	52・62	W・X-25, V・W-1	970	N-64°-E	4間	PL.58-2 ~ 15

集石

号	区	グリッド	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	写真
4	62	L-20	110	85	26	N-81°-W	楕円形	PL.59-1
5	71	P-5	78	60	26	N-32°-W	不定形	PL.59-2・3
6	71	R・S-4	230	(145)	10	N-73°-E	-	PL.59-4 ~ 6
7	71	W-4	135	93	26	N-20°-W	楕円形	PL.59-7 ~ 9
8	62	V-1	160	58	30	N-30°-W	楕円長方形	PL.59-10

石垣

号	区	長さ	幅	高さ	主軸方位	形状	写真	
1	53	B・C-21・22, D-22	190	110	125	-	-	PL.59-13・14

焼土

号	区	グリッド	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	写真
21	71	Q-6	52	30	6	N-65°-E	不定形	PL.59-15, PL.60-1・2
22	71	N-8・9	118	78	16	N-68°-E	不定形	PL.60-3・4
23	71	M・N-9	96	41	11	N-45°-W	不定形	PL.60-5 ~ 7
24	71	M-9・10	38	32	7	N-29°-E	不定形	PL.60-8・9
25	71	M-9・10	(64)	(31)	24	-	-	PL.60-10 ~ 12
26	71	P-8	75	48	22	N-80°-E	不定形	PL.60-13 ~ 15
27	62	L-21	95	(43)	14	-	-	PL.61-1 ~ 3
28	62	L-20・21	113	110	25	N-39°-E	不定形	PL.61-4 ~ 6
29	71	V-4・5	46	-	9	N-0°	ほぼ円形	PL.61-7 ~ 9
30	71	V-3	-	-	-	-	-	PL.61-10
31	71	X-3	-	-	-	-	-	PL.61-11
32	72	G-3	42	34	5	N-16°-E	不定形	PL.61-12 ~ 14
33	72	G-3	32	24	9	N-11°-W	不定形	PL.61-15, PL.62-1・2
34	72	E-2	124	92	20	N-27°-W	不定形	PL.62-3 ~ 5
35	62	S-7	-	-	13	-	-	PL.62-6・7
36	62	U-4	101	60	13	N-46°-W	不定形	PL.62-8 ~ 10
37	62	U-4	55	43	9	N-51°-W	不定形	PL.62-11 ~ 13
38	62	W-3	(53)	49	11	N-60°-W	不定形	PL.62-14・15, PL.63-1

溝

号	区	グリッド	長軸	幅	深さ	主軸方位	分類	写真
1	62	V-5, W-4・5	500	36	17	N-62°-E	U字	PL.63-2・3
2	62	V-4, W-3・4	558	50	16	N-60°-E	U字	PL.63-4・5
3	62	T-9・10	450	48	7	N-38°-W	U字	PL.63-6・7
4	62	V-1・2, W・X-1	(990)	46	13	N-64°-E	U字	PL.63-8
5	52・62	W・X-25, V・W-1	(1220)	110	48	N-73°-E	U字	PL.63-9・10

遺物観察表

表11 遺物観察表

縄文・弥生時代

33号住居

採 取 No.	種 類	現 存	出 土 位 置	計 測 値 (cm)・(g)	石 材 /胎 土	特 徴	備 考
第128回 PL.64	1 縄文土器 深鉢	口縁部	5	口: (18.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	口縁内傾。横位隆線+押圧。内外面研磨。	後期初流。 八-49集33 住1と同一。
第128回 PL.64	2 縄文石器 石鏃未成品	完形	1	長:2.0, 幅:1.7 厚:0.6, 重:1.5	チャート	剥片素材。	
第128回 PL.64	3 縄文石器 磨石	完形	7	長:12.0, 幅:7.0 厚:4.4, 重:447.6	粗粒輝石安山岩	楕円盤。一面研磨痕。	

35号住居

採 取 No.	種 類	現 存	出 土 位 置	計 測 値 (cm)・(g)	石 材 /胎 土	特 徴	備 考
第16回 PL.64	1 縄文土器 深鉢	口縁部	7ピット	口:18.0	砂礫。白・赤褐色粒。	口縁内傾。「くの字」頸部。内外面横撫で。	
第16回 PL.64	2 縄文土器 浅鉢	口縁部			砂礫。白・赤褐色粒。	口縁外反。刺突。内外面研磨。	
第16回 PL.64	3 縄文土器 深鉢	胴~底部	48	底:8.0	砂礫。白・赤褐色粒。	縦位沈線。内面横撫で。底部布目?	
第16回 PL.64	4 縄文土器 深鉢	底部		底: (8.0)	砂礫。白色粒。	洗滌。内面横撫で。	
第16回 PL.64	5 縄文土器 深鉢	底部		底: (5.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	底部葉脈痕。内面横撫で。	
第16回 PL.64	6 縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白・赤褐色粒。	隆線+刺突。内外面横撫で。	
第16回 PL.64	7 縄文土器 深鉢	口縁部	12, 13		砂礫。赤褐色粒。	波状口縁。内外面研磨?	
第16回 PL.64	8 縄文土器 深鉢	口縁部	13		砂礫。赤褐色粒。	口縁内湾。内外面研磨。	
第17回 PL.64	9 縄文石器 石鏃未成品	完形		長:(2.1), 幅:(1.8) 厚:0.5, 重:1.3	黒曜石	剥片素材。	
第17回 PL.64	10 縄文石器 楔形石器	完形	7ピット	長:2.0, 幅:2.0 厚:0.6, 重:3.9	チャート	刃部+両側縁加工。	
第17回 PL.64	11 縄文石器 加工痕ある剥片	完形	7	長:7.0, 幅:4.9 厚:0.9, 重:31.7	硬質泥岩	横長剥片素材。二側縁加工。	
第17回 PL.64	12 縄文石器 磨石	完形	27	長:11.3, 幅:11.4 厚:6.0, 重:1213.8	変質安山岩	やや扁平な円盤。両面研磨痕。一面中央くぼみ痕。	
第17回 PL.64	13 縄文石器 くぼみ石	完形	7ピット	長:8.0, 幅:6.4 厚:5.2, 重:392.3	粗粒輝石安山岩	楕円。両端+側縁敲打痕。	
第17回 PL.64	14 縄文石器 くぼみ石	完形	30	長:13.5, 幅:9.7 厚:6.1, 重:768.7	粗粒輝石安山岩	両面研磨痕。周縁敲打痕。	
第17回 PL.64	15 縄文石器 磨石	一端欠損	40	長:(14.6), 幅:8.2 厚:3.7, 重:613.7	デイスait	扁平な楕円盤。一面くぼみ痕。両端敲打痕。	
第17回 PL.64	16 縄文石器 くぼみ石	完形	7ピット	長:14.3, 幅:8.1 厚:4.2, 重:587.8	粗粒輝石安山岩	扁平な楕円盤。両面+周縁くぼみ痕。一端敲打痕。	
第17回 PL.64	17 縄文石器 磨石	完形	29	長:13.3, 幅:7.0 厚:4.6, 重:546.9	粗粒輝石安山岩	楕円盤。両面+一端くぼみ痕。	
第18回 PL.65	18 縄文石器 くぼみ石	完形	31	長:11.5, 幅:10.5 厚:6.5, 重:578.9	粗粒輝石安山岩	円盤。両面くぼみ痕。一端敲打痕。	
第18回 PL.65	19 縄文石器 磨石	一端欠損	34	長:10.8, 幅:(9.9) 厚:4.1, 重:684.6	粗粒輝石安山岩	一端欠損。	
第18回 PL.65	20 縄文石器 磨石	完形	35	長:5.0, 幅:4.6 厚:3.3, 重:112.4	溶結凝灰岩	円盤。一面研磨痕。一端敲打痕。	
第18回 PL.65	21 縄文石器 磨石	完形	41	長:11.4, 幅:10.1 厚:6.5, 重:631.7	粗粒輝石安山岩	円盤。周縁敲打痕。	
第18回 PL.65	22 縄文石器 磨石	完形	7ピット	長:15.6, 幅:4.8 厚:4.2, 重:547.2	粗粒輝石安山岩	縦身の棒状。ほぼ中央で破損。両端敲打痕。	
第18回 PL.65	23 縄文石器 磨石	完形	39	長:9.5, 幅:6.8 厚:4.9, 重:467.2	粗粒輝石安山岩	一面研磨痕。	
第18回 PL.65	24 縄文石器 磨石	完形	37	長:10.3, 幅:8.0 厚:6.4, 重:788.2	変質安山岩	両面研磨痕。	
第18回 PL.65	25 縄文石器 磨石	完形	6ピット	長:7.8, 幅:6.8 厚:6.0, 重:411.9	粗粒輝石安山岩	一面研磨痕。	
第18回 PL.65	26 縄文石器 磨石	完形	28	長:6.2, 幅:5.8 厚:5.3, 重:285.1	デイスait	一面研磨痕。	

51号住居

採 取 No.	種 類	現 存	出 土 位 置	計 測 値 (cm)・(g)	石 材 /胎 土	特 徴	備 考
第21回 PL.65	1 縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白・赤褐色粒。	縄文。横撫で。	前期
第21回 PL.65	2 縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	縄文。横撫で。	前期
第21回 PL.65	3 縄文石器 石鏃未成品	完形	12	長:2.1, 幅:1.4 厚:5.6, 重:0.9	チャート	剥片素材。一側縁加工。原石面残存。	

採掘 PL. No	No	種 器 類 種	残 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第21回 PL.65	4	縄文石器 加工痕ある副片	完形	11	長:3.6、幅:(2.2) 厚:0.7、重:4.0	流紋岩	副片素材。原石面残存。	
第21回 PL.65	5	縄文石器 厚型	完形		長:3.4、幅:3.3 厚:1.0、重:17.2	珪質頁岩	大型副片素材。一側縁加工。	
第21回 PL.65	6	縄文石器 くぼみ石	完形	6	長:12.5、幅:9.3 厚:5.0、重:761.2	粗粒輝石安山岩	両面くぼみ痕。	
第21回 PL.65	7	縄文石器 磨石	完形	10	長:11.8、幅:8.1 厚:5.6、重:733.6	粗粒輝石安山岩	一端縁打痕。	
第21回 PL.66	8	縄文石器 磨石	完形	7	長:9.9、幅:8.5 厚:3.0、重:346.8	粗粒輝石安山岩	扁平な楕円形。両面研磨痕。	
第21回 PL.66	9	縄文石器 くぼみ石	完形	9	長:8.9、幅:6.7 厚:6.1、重:462.6	粗粒輝石安山岩	くぼみが明確でない。	
第21回 PL.66	10	縄文石器 台石	欠損	5	長:(21.4)、幅:20.3 厚:8.8、重:4965.0	粗粒輝石安山岩	一端欠損。	

56号住居

採掘 PL. No	No	種 器 類 種	残 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第24回 PL.66	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白色粒。	隆縁+刻み。沈凹区画。縄文。横撫で。	
第24回 PL.66	2	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白・赤褐色粒。	隆縁+縄文。沈凹区画。内外面研磨。	
第24回 PL.66	3	縄文土器 深鉢	頸~胴部	1		砂礫。白・赤褐色粒。	隆縁+縄文。内面磨きさ。	
第24回 PL.66	4	縄文土器 磨石	完形	4	長:9.5、幅:5.8 厚:3.5、重:288.5	変質安山岩	一面研磨痕。	

57号住居

採掘 PL. No	No	種 器 類 種	残 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第26回 PL.66	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白・赤褐色粒。	横凸縄文。	前期前半
第26回 PL.66	2	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白・赤褐色粒。	竹管文+刻み。口唇部平坦。	前期後半
第26回 PL.66	3	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	隆縁。ボタン状突起付け。	前期後半
第26回 PL.66	4	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	隆帯+刺突+沈凹。横撫で。	
第26回 PL.66	5	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。金雲母。白 色粒。	隆縁。沈凹。横撫で。	
第26回 PL.66	6	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	隆縁。横撫で。	
第26回 PL.66	7	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	無文?横撫で。	

409号土坑

採掘 PL. No	No	種 器 類 種	残 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第27回 PL.66	1	縄文土器 深鉢	口縁~胴部	1,3,4	口:(34.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	隆帯+押圧。縄文。	

遺構外出土遺物(縄文・弥生)

採掘 PL. No	No	種 器 類 種	残 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第28回 PL.67	1	縄文土器 深鉢	口縁~胴部		口:(16.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	唇と口縁部編身の遺糸。内面削り。横撫で。	早期前半
第28回 PL.67	2	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。褐色粒。	口唇部+口縁部磨文。内面削り撫で。	
第28回 PL.67	3	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白・赤褐色粒。	羽状縄文。	前期前半
第28回 PL.67	4	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	縄文。	
第28回 PL.67	5	縄文土器 深鉢	底部			砂礫。白・赤褐色粒。	縄文。横撫で。	
第28回 PL.67	6	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白・赤褐色粒。	爪形。	
第28回 PL.67	7	縄文土器 深鉢	口縁~胴部			砂礫。白色粒。	平行沈凹。条痕。横撫で。	
第28回 PL.67	8	縄文土器 深鉢	胴部	51住		砂礫。白・赤褐色粒。	縄文。横撫で。	
第28回 PL.67	9	縄文土器 深鉢	胴部	51住2		砂礫。白・赤褐色粒。	縄文。横撫で。	
第28回 PL.67	10	縄文土器 深鉢	胴部	62IXD-7		砂礫。白・黒色粒。	縄文。内面剥落。	
第28回 PL.67	11	縄文土器 深鉢	胴部	51住		砂礫。白・赤褐色粒。	縄文。横撫で。	
第28回 PL.67	12	縄文土器 深鉢	胴部	51住1		砂礫。白・赤褐色粒。	縄文。横撫で。	

遺物観察表

採 得 PL.No	No	種 類 器 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/粘土	特 徴	備 考
第28回 PL.67	13	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫、赤褐色粒。	平行沈線+爪形、内面横撫で。	
第28回 PL.67	14	縄文土器 深鉢	口縁部			石英、砂礫、白色粒。	口縁内傾、内面横撫で。	
第28回 PL.67	15	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫多い。白・赤褐色粒。	波状口縁。平行沈線。	
第28回 PL.67	16	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫、白・赤褐色粒。	平行沈線+縄文、横撫で。	
第28回 PL.67	17	縄文土器 深鉢	胴部	78ビット		砂礫、白・赤褐色粒。	平行沈線。横撫で。	
第28回 PL.67	18	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫、白色粒。	刺突。平行。	
第28回 PL.67	19	縄文土器 深鉢	口縁部	52IX-25		砂礫、白・赤褐色粒。	隆帯、刺突。	
第28回 PL.67	20	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫、金雲母、石英、白・赤褐色粒。	隆帯。	
第28回 PL.67	21	縄文土器 深鉢	口縁部	52IXV-25		砂礫、金雲母、白・黒・赤褐色粒。	波状口縁。隆帯、横撫で。	中前期半
第28回 PL.67	22	縄文土器 深鉢	突起部	53IXB-24		砂礫、白色粒。	波状口縁。隆帯+刺突、沈線。	
第29回 PL.67	23	縄文土器 深鉢	口縁~胴部	52IX-25	口：(16.8)	砂礫、白・赤褐色粒。	口縁外反。隆帯+刺突、横撫で。	
第29回 PL.67	24	縄文土器 深鉢	口縁~胴部	52IX-24	口：(14.8)	砂礫、白・黒色粒。	沈線+隆帯。横撫で。	
第29回 PL.67	25	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫、白・赤褐色粒。	隆帯、突起。横撫で。内面剥落。	
第29回 PL.67	26	縄文土器 深鉢	口縁部	62IXV-4		砂礫、白色粒。	口唇刻み。研磨。	
第29回 PL.67	27	縄文土器 深鉢	口縁部	52IXV-24		砂礫、白・赤褐色粒。	隆帯区画。横撫で。	
第29回 PL.67	28	縄文土器 深鉢	口縁部	55住		砂礫、白・赤褐色粒。	波状口縁。横撫で。	
第29回 PL.67	29	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫、石英、白・黒色粒。	波状口縁。隆帯。	
第29回 PL.67	30	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫、白色粒。	横帯隆帯+押圧。横撫で。	
第29回 PL.67	31	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫、白・黒・赤褐色粒。	横帯隆帯。隆帯、横撫で。	
第29回 PL.67	32	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫、赤褐色粒。	隆帯区画。横撫で。	
第29回 PL.67	33	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫、白・赤褐色粒。	口縁外反。隆帯、横撫で。	
第29回 PL.68	34	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫、赤褐色粒。	隆帯。沈線。横撫で。	
第29回 PL.68	35	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫、白色粒。	平行沈線。横撫で。	
第29回 PL.68	36	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫、白・赤褐色粒。	沈線。縄文。隆帯。横撫で。	
第29回 PL.68	37	縄文土器 深鉢	口縁部	62IX-4		砂礫、白・赤褐色粒。	波状口縁。横撫で。器面の割れが顕著。	
第29回 PL.68	38	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫、白・赤褐色粒。	隆帯。沈線。横撫で。	
第29回 PL.68	39	縄文土器 深鉢	胴部	55住		砂礫、白・赤褐色粒。	隆帯+平行沈線+刻み。	
第29回 PL.68	40	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫、白・赤褐色粒。	沈線。横撫で。	
第30回 PL.68	41	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫、白色粒。	隆帯。横撫で。	
第30回 PL.68	42	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫、白・赤褐色粒。	隆線。縄文。	
第30回 PL.68	43	縄文土器 深鉢	胴部	52IXV-24		砂礫、白・赤褐色粒。	隆帯区画。刻み、刺突。横撫で。	
第30回 PL.68	44	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫、白色粒。	沈線+縄文。横撫で。	
第30回 PL.68	45	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫、白・赤褐色粒。	隆帯+平行沈線。	
第30回 PL.68	46	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫、白・赤褐色粒。	隆帯+平行沈線。縄文?	
第30回 PL.68	47	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫、金雲母、白・赤褐色粒。	隆帯+縄文。研磨?	
第30回 PL.68	48	縄文土器 深鉢	胴部	52IXV-24		砂礫、白・赤褐色粒。	沈線区画。刻み。	
第30回 PL.68	49	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫、白色粒。	隆帯+刻み。横撫で。	
第30回 PL.68	50	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫、白・赤褐色粒。	平行沈線区画。刺突。	

採掘 PL.No.	No.	種類 種類	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/粘土	特徴	備考
第30回 PL.68	51	縄文土器 深鉢	胴部	52IX-24		砂礫。白・赤褐色粒。	沈線区画。刻み。	
第30回 PL.68	52	縄文土器 深鉢	胴部	62IX-1		砂礫。白・赤褐色粒。	波状区画+刻み。横撫で。内面剥落。	
第30回 PL.68	53	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	沈線。横撫で。	
第30回 PL.68	54	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	平行沈線区画。隆帯+刻み。横撫で。	
第30回 PL.68	55	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	隆帯+平行沈線。	
第30回 PL.68	56	縄文土器 深鉢	胴部	52IXV-24		砂礫。白・黒色粒。	沈線。方形区画。隆帯。	
第30回 PL.68	57	縄文土器 深鉢	胴部			白・赤褐色粒。	平行沈線。縄文。	
第30回 PL.68	58	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	沈線+縄文。横撫で。	
第31回 PL.68	59	縄文土器 深鉢	口縁部	53住36		砂礫。白・赤褐色粒。	口縁内傾。横位隆帯+押圧。内外面研磨。	33住1と同
第31回 PL.68	60	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白色粒。	突起状貼り付け。横撫で。	
第31回 PL.68	61	縄文土器 深鉢	口縁部	55住		砂礫。白・赤褐色粒。	横位沈線。縄文。内面横撫で。	
第31回 PL.68	62	縄文土器 深鉢	口縁部	62IX-3		砂礫。白・赤褐色粒。	縄文。	
第31回 PL.68	63	縄文土器 深鉢	口縁部	53IXB-25		砂礫。白・赤褐色粒。	貼り付け+刻み。横位沈線+縄文。	
第31回 PL.69	64	縄文土器 深鉢	口縁部	62IXV-3		砂礫。白・赤褐色粒。	縄文を地に沈線区画。	
第31回 PL.69	65	縄文土器 深鉢	口縁部	2溝		砂礫。白・赤褐色粒。	沈線+縄文。内面横撫で。	
第31回 PL.69	66	縄文土器 深鉢	口縁部	52IXC-25		砂礫。金雲母。白・黒色粒。	波状口縁。内面研磨。	
第31回 PL.69	67	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	縦位沈線。内外面焦げ付き。	
第31回 PL.69	68	縄文土器 深鉢	胴部	62IX-3		砂礫。白・赤褐色粒。	横位太沈線。条痕。内面横撫で。	
第31回 PL.69	69	縄文土器 深鉢	底部		底:7.0	砂礫。白・赤褐色粒。	底部葉脈痕。内面横撫で。	
第31回 PL.69	70	縄文土器 深鉢	底部		底:(12.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	底部副刃痕。	
第31回 PL.69	71	縄文土器 深鉢	底部	52IXV-4	底:(12.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	底部罎目痕。	
第31回 PL.69	72	縄文土器 深鉢	底部		底:(9.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	底部植物圧痕。	
第31回 PL.69	73	縄文土器 深鉢	底部		底:(13.6)	砂礫多含。白色粒。	横撫で。	
第31回 PL.69	74	縄文土器 深鉢	底部		底:(11.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	沈線。横撫で。	
第31回 PL.69	75	縄文土器 深鉢	底部		底:6.4	砂礫。白・赤褐色粒。	縦位隆帯。横撫で。	
第31回 PL.69	76	縄文石器 打製石礫	欠損		長:(1.8)、幅:(1.2) 厚:0.4、重:0.6	黒色安山岩	両脚欠損。	
第31回 PL.69	77	縄文石器 打製石礫	欠損	53住	長:2.1、幅:(1.6) 厚:0.4、重:0.7	黒曜石	片脚欠損。	
第31回 PL.69	78	縄文石器 打製石礫	欠損		長:(3.4)、幅:(1.7) 厚:0.5、重:1.9	赤碧玉	片脚欠損。	
第31回 PL.69	79	縄文石器 石礫未成品	欠損	55住	長:(2.3)、幅:(1.8) 厚:0.6、重:2.0	赤碧玉	剥片素材。両端欠損。	
第32回 PL.69	80	縄文石器 打製石礫	欠損		長:(2.4)、幅:(1.6) 厚:0.5、重:1.5	チャート	先端・片脚欠損。	
第32回 PL.69	81	縄文石器 打製石礫	欠損	52IXV-25	長:(2.3)、幅:(1.5) 厚:0.4、重:0.8	流紋岩	先端・両脚欠損。	
第32回 PL.69	82	縄文石器 打製石礫	完形	62IX-3	長:2.0、幅:1.1 厚:0.5、重:0.6	黒曜石	有茎。	
第32回 PL.69	83	縄文石器 石礫未成品	完形		長:1.8、幅:1.5 厚:0.6、重:1.8	チャート	剥片素材。両側縁加工。	
第32回 PL.69	84	縄文石器 剥片	欠損		長:(3.1)、幅:2.0 厚:0.5、重:2.3	黒色安山岩	剥片素材。両側縁加工。	
第32回 PL.69	85	縄文石器 石礫未成品	完形	54住	長:2.1、幅:1.5 厚:0.5、重:1.3	赤碧玉	剥片素材。両側縁加工。	
第32回 PL.69	86	縄文石器 加工痕ある剥片	完形	1溝	長:2.7、幅:2.4 厚:0.7、重:2.7	流紋岩	剥片素材。	
第32回 PL.69	87	縄文石器 石礫	完形		長:2.9、幅:0.9 厚:0.5、重:1.2	赤碧玉	剥片素材。両側縁加工。	
第32回 PL.70	88	縄文石器 石礫?	完形		長:2.1、幅:3.2 厚:0.7、重:3.4	珩質頁岩	剥片素材。両側縁加工。あるいは打製石礫?	

遺物観察表

採掘 PL. No.	種別 No.	種類	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特徴	備考
第328回 PL.69	80	縄文石器 削器	完形		長:9.3, 幅:14.3 厚:1.6, 重:233.4	変質安山岩	大型割片素材。一側縁加工。	
第328回 PL.70	90	縄文石器 加工痕ある割片	欠損		長:(6.2), 幅:(5.6) 厚:1.4, 重:40.7	黒色頁岩	石ノ素材。両側縁加工。先端欠損。	
第328回 PL.70	91	縄文石器 削器	完形		長:3.0, 幅:5.1 厚:1.4, 重:21.1	黒色頁岩	割片素材。両側縁加工。	
第328回 PL.70	92	縄文石器 削器	完形	62IX-3	長:3.5, 幅:5.4 厚:1.0, 重:17.6	黒色頁岩	縦長割片素材。一側縁加工。	
第338回 PL.70	93	縄文石器 加工痕ある割片	完形	52IX-24	長:3.7, 幅:8.5 厚:3.7, 重:37.3	細粒輝石安山岩	縦長割片素材。一側縁加工。	
第338回 PL.70	94	縄文石器 石ノ未成品	完形	52IX-25	長:3.7, 幅:10.6 厚:2.0, 重:242.4	細粒輝石安山岩	割片素材。原石面残存。	
第338回 PL.70	95	縄文石器 剥片	完形		長:6.7, 幅:8.0 厚:1.1, 重:102.2	緑色片岩	楕円形。両側縁加工?	
第338回 PL.70	96	縄文石器 打製石斧	完形		長:13.6, 幅:6.6 厚:2.3, 重:273.4	細粒輝石安山岩	楕円形。	
第338回 PL.70	97	縄文石器 打製石斧	欠損	52IX-24	長:(10.5), 幅:4.5 厚:2.2, 重:121.0	変質安山岩	短冊形。頭部欠損。原石面残存。	
第338回 PL.70	98	縄文石器 打製石斧	完形	62IX-3	長:13.6, 幅:6.0 厚:2.8, 重:253.5	変質安山岩	短冊形。原石面残存。	
第338回 PL.70	99	縄文石器 打製石斧	欠損	1谷	長:(9.3), 幅:8.0 厚:1.5, 重:126.4	細粒輝石安山岩	頭部欠損。	
第338回 PL.70	100	縄文石器 打製石斧?	完形	62IX-4	長:10.0, 幅:4.8 厚:1.6, 重:64.5	黒色頁岩	両側縁加工。あるいは削器?	
第338回 PL.70	101	縄文石器 打製石斧	頭部残存		長:(5.3), 幅:4.5 厚:2.2, 重:61.9	変質安山岩	短冊形。刃部欠損。	
第338回 PL.70	102	縄文石器 打製石斧	頭部残存		長:(5.0), 幅:4.6 厚:1.0, 重:23.7	細粒輝石安山岩	短冊形? 刃部欠損。	
第348回 PL.70	103	縄文石器 打製石斧	頭部残存	55住	長:(9.4), 幅:(6.2) 厚:4.1, 重:265.8	細粒輝石安山岩	楕円形。刃部欠損。原石面残存。	
第348回 PL.70	104	縄文石器 打製石斧	頭部残存		長:(8.3), 幅:(7.1) 厚:2.5, 重:191.3	変質安山岩	楕円形? 頭? 刃部欠損。	
第348回 PL.70	105	縄文石器 打製石斧	頭部残存	52住	長:(4.7), 幅:(4.0) 厚:2.4, 重:43.0	変質安山岩	楕円形? 刃部欠損。	
第348回 PL.70	106	縄文石器 打製石斧?	完形	54住	長:8.9, 幅:5.7 厚:1.2, 重:58.1	細粒輝石安山岩	割片素材。未成品か?	
第348回 PL.71	107	縄文石器 打製石斧	頭部残存		長:(6.8), 幅:5.2 厚:1.9, 重:77.6	黒色頁岩	楕円形? 刃部欠損。	
第348回 PL.71	108	縄文石器 打製石斧	完形	1谷	長:10.5, 幅:6.7 厚:1.9, 重:120.5	細粒輝石安山岩	楕円形。原石面残存。	
第348回 PL.71	109	縄文石器 打製石斧	頭部残存		長:(5.6), 幅:(6.0) 厚:1.7, 重:68.3	変質安山岩	短冊形。刃部欠損。	
第348回 PL.71	110	縄文石器 打製石斧	頭部残存	54住	長:(5.1), 幅:(4.5) 厚:1.5, 重:42.3	変質安山岩	短冊形。刃部欠損。	
第348回 PL.71	111	縄文石器 打製石斧	刃部残存		長:(5.4), 幅:(6.2) 厚:1.0, 重:42.3	変質安山岩	刃部欠損。	
第348回 PL.71	112	縄文石器 加工痕ある割片	完形	55住	長:7.3, 幅:8.4 厚:0.5, 重:13.3	黒色頁岩	大型割片。一側縁加工。	
第348回 PL.71	113	縄文石器 割片	完形		長:3.8, 幅:2.8 厚:0.8, 重:9.2	滑石	片面原石面残存。	
第348回 PL.71	114	縄文石器 割片	完形		長:7.0, 幅:6.4 厚:0.6, 重:7.6	海紋岩	大型割片。一側縁加工。	
第348回 PL.71	115	縄文石器 加工痕ある割片	完形	55住	長:4.8, 幅:9.2 厚:0.9, 重:14.5	黒色頁岩	大型割片。一側縁加工。	
第358回 PL.71	116	縄文石器 加工痕ある割片	完形	55住	長:3.6, 幅:2.6 厚:0.6, 重:5.3	珩質頁岩	両側縁加工。	
第358回 PL.71	117	縄文石器 割片	完形		長:1.5, 幅:0.8 厚:0.4, 重:0.4	黒曜石	縦長割片。調整割片か?	
第358回 PL.71	118	縄文石器 石ノ未成品	完形	53住	長:1.3, 幅:1.2 厚:0.3, 重:0.5	黒曜石	割片素材。	
第358回 PL.71	119	縄文石器 加工痕ある割片	完形	32住7ビット	長:1.6, 幅:1.9 厚:0.5, 重:2.1	チャート	一側縁加工。	
第358回 PL.71	120	縄文石器 石ノ核	完形		長:3.7, 幅:5.9 厚:1.9, 重:39.2	流紋岩	両側からの求心割離。原石面残存。	
第358回 PL.71	121	縄文石器 加工痕ある割片	完形	32住7ビット	長:2.7, 幅:2.0 厚:1.2, 重:7.5	黒曜石	一側縁加工。原石面残存。	
第358回 PL.71	122	縄文石器 石ノ核	完形	32住3	長:5.3, 幅:7.3 厚:2.7, 重:104.1	黒曜石	両側からの求心割離。原石面残存。	
第358回 PL.71	123	縄文石器 石ノ核	完形	1溝	長:2.7, 幅:4.0 厚:1.8, 重:20.3	黒曜石	板状。両側からの求心割離。	
第358回 PL.71	124	縄文石器 石ノ核	完形	2溝	長:1.9, 幅:3.3 厚:2.2, 重:12.7	赤碧玉	両側からの求心割離。原石面残存。	
第358回 PL.71	125	縄文石器 石ノ未成品	完形	52IX-24	長:2.0, 幅:2.2 厚:0.6, 重:1.9	黒曜石	割片素材。	
第358回 PL.72	126	縄文石器 磨石	完形	53住53	長:12.0, 幅:8.2 厚:5.3, 重:777.6	変質安山岩	両側からの求心割離。	

採 取 No.	種 類	現 存	出 土 位 置	計 測 値 (cm)・(g)	石 材 /胎 土	特 徴	備 考
第35図 PL.72	縄文石器 くぼみ石	欠損	52IX-24	長:9.6, 幅:5.4 厚:4.4, 重:359.4	粗粒輝石安山岩	一端欠損。四面くぼみ痕。	
第36図 PL.72	縄文石器 敲石	完形		長:9.6, 幅:9.0 厚:4.2, 重:546.2	粗粒輝石安山岩	円盤。両面周縁敲打痕。	
第36図 PL.72	縄文石器 磨石	完形	52住13	長:10.2, 幅:7.9 厚:3.2, 重:406.1	粗粒輝石安山岩	一面研磨面。	
第36図 PL.72	縄文石器 敲石	完形	62IX-3	長:11.0, 幅:6.5 厚:5.6, 重:588.5	粗粒輝石安山岩	一端敲打痕。	
第36図 PL.72	縄文石器 くぼみ石	完形	55住	長:8.1, 幅:6.9 厚:5.8, 重:434.0	粗粒輝石安山岩	両面中央及び一端くぼみ痕。	
第36図 PL.72	縄文石器 磨石	完形	52住21	長:7.4, 幅:6.2 厚:2.1, 重:168.8	粗粒輝石安山岩	一面研磨面。	
第36図 PL.72	縄文石器 磨石	完形	52住24	長:7.3, 幅:3.8 厚:2.3, 重:96.2	珪質頁岩	一面研磨面。	
第36図 PL.72	縄文石器 くぼみ石	欠損	52住20	長:(8.0), 幅:7.4 厚:3.4, 重:321.7	粗粒輝石安山岩	一面一端敲打痕。	
第36図 PL.72	縄文石器 敲石	完形	52住17	長:10.4, 幅:4.2 厚:4.6, 重:343.6	粗粒輝石安山岩	一面敲打痕。	
第36図 PL.72	縄文石器 敲石	完形		長:12.9, 幅:6.7 厚:4.0, 重:595.7	粗粒輝石安山岩	一面敲打痕。	
第36図 PL.72	縄文石器 敲石	完形		長:8.8, 幅:6.2 厚:2.5, 重:231.7	変質安山岩	一面一端敲打痕。	
第36図 PL.72	縄文石器 敲石	欠損	53住	長:(11.4), 幅:(6.7) 厚:4.0, 重:374.9	デイスait	一端欠損。	
第36図 PL.72	縄文石器 多孔石	欠損	55住	長:(13.8), 幅:(11.4) 厚:(7.7), 重:1501.3	粗粒輝石安山岩	破片。一面くぼみ痕。	
第36図 PL.72	縄文石器 石皿	欠損		長:(27.2), 幅:(30.8) 厚:(9.3), 重:10500.0	粗粒輝石安山岩	半分残存。	
第37図 PL.72	石製品 装身具?	欠損		長:(5.8), 幅:2.6 厚:2.5, 重:44.5	蛇紋岩	四角柱。一端欠損。全面磨き痕。	
第37図 PL.72	石製品 珠状口飾り	一部欠損		長:2.8, 幅:(2.8) 厚:0.5, 重:5.1	変質蛇紋岩	全面研磨面。	
第37図 PL.72	弥生土器 長頸壺	胴部	53住38, 39		砂礫。石英。白・赤褐色粒。	比叡区岡。細身の縄文。内面撫で。	弥生
第37図 PL.72	弥生土器 長頸壺	胴部	55住		砂礫。白・赤褐色粒。	横位平行洗線文。	弥生
第37図 PL.72	弥生土器 長頸壺	胴部	62IXV-5-6		砂礫。白・赤褐色粒。	縦位・横位平行洗線文。	弥生
第37図 PL.72	弥生土器 長頸壺	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	条痕文。	弥生
第37図 PL.72	弥生土器 長頸壺	胴部	62IXV-6		砂礫。白・赤褐色粒。	条痕文。	弥生

平安時代

52号住居

採 取 No.	種 類	現 存	出 土 位 置	計 測 値 (cm)・(g)	石 材 /胎 土	特 徴	備 考
第42図 PL.73	土師器 土甕	口縁部	2,5,6,10,23	口:(13.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	甕削り。	
第42図 PL.73	須恵器 羽釜	口縁部	11	口:(20.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	轆轤成形。外面横位甕削り。	古井型
第42図 PL.73	金属製品 刀子	両端欠損		長:(5.4), 幅:(1.4) 重:11.3		刃部・基部欠損。	
第42図 PL.73	金属製品 不明	両端欠損	12	長:5.4, 厚:0.7 重:8.4		棒状。	
第42図 PL.73	金属製品 鉄滓	完形		長:6.2, 幅:4.1 厚:1.7, 重:53.7			

53号住居

採 取 No.	種 類	現 存	出 土 位 置	計 測 値 (cm)・(g)	石 材 /胎 土	特 徴	備 考
第45図 PL.73	灰釉陶器 高台付椀	口縁～胴部		口:(12.0)		轆轤成形。甕削り。	大原2式
第45図 PL.73	土師器 土甕	口縁～胴部	33,37,45,48, 49	口:(18.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	轆轤成形。甕削り。	
第45図 PL.73	灰釉陶器 高台付椀	底部		底:(7.0)		轆轤成形。甕削り。	
第45図 PL.73	土師器 土甕	口縁～胴部	1,5,8,27,28, 29,30,50,54, 56, 57	口:(26.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	轆轤成形。甕削り。	
第45図 PL.73	石器 台石	完形	21	長:24.5, 幅:14.9 厚:4.8, 重:2800.0	溶結凝灰岩	一面研磨面。一端敲打痕。	

54号住居

採 取 No.	種 類	現 存	出 土 位 置	計 測 値 (cm)・(g)	石 材 /胎 土	特 徴	備 考
第48図 PL.73	須恵器 坏	底部		底:5.0	黒色粒。	底部糸切り。	

遺物観察表

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第48回 PL.73	2	金属製品 釘?	先端欠損		長:4.3, 厚:0.8 重:10.2		断面四角。	
55号住居								
検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第52回 PL.73	1	須置器 環?	口縁～胴部	9	口: (13.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	轆轤成形。	
第52回 PL.73	2	土師器 甕	口縁～胴部	2,21,22	口:19.0	白・赤褐色粒。	「コの字」状口縁。	
第52回 PL.73	3	土師器 甕	口縁～胴部	1	口:19.2	白・赤褐色粒。	「コの字」状口縁。	
第52回 PL.73	4	土師器 甕	口縁～胴部	4,27, 37F	口:13.0	白・赤褐色粒。	「コの字」状口縁。	
第52回 PL.73	5	土師器 甕	口縁～底部	4	口: (14.0), 底:6.0 高:16.6	白・赤褐色粒。	「コの字」状口縁。	
第52回 PL.73	6	土師器 甕	口縁部		口: (15.6)	白・赤褐色粒。	「コの字」状口縁。	
第52回 PL.73	7	土師器 甕	胴～底部	36	底: (2.4)	白・赤褐色粒。	縦削り。内面挽磨で。	
第52回 PL.73	8	土師器 甕	胴～底部	3	底:3.8	白・赤褐色粒。	縦削り。内面挽磨で。	
第52回 PL.73	9	石製品 砥石	両端欠損	16	長: (5.7), 幅: (5.7) 厚: (3.3), 重:118.6	砥沢石	置き砥。	
261号土坑								
検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第53回 PL.74	1	縄文石器 加工痕ある剥片	完形		長:2.8, 幅:3.8 厚:0.7, 重:7.2	流紋岩	縦長剥片。一側縁に僅かに加工痕。	
262号土坑								
検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第53回 PL.74	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。赤褐色粒。	平坦口縁。洗擦。横撫で。	
第53回 PL.74	2	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	洗擦。縄文。削突。研磨。内面棒状磨き。	
271号土坑								
検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第54回 PL.74	1	縄文土器 深鉢	口縁～胴部	1,2,4～9	口: (29.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	波状口縁。縄文を地に隆起区画+押圧。	
277号土坑								
検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第55回 PL.74	1	縄文石器 加工痕ある剥片	完形		長:2.4, 幅:1.9 厚:0.5, 重:2.9	玉髓	縦長剥片素材。一側縁に加工痕。	
第55回 PL.74	2	縄文石器 使用痕ある剥片	完形		長:5.3, 幅:2.4 厚:0.7, 重:16.8	流紋岩	縦長剥片素材。一側縁に使用痕。	
278号土坑								
検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第55回 PL.74	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白色粒多い。	波状口縁。内傾。横撫で。	
第55回 PL.74	2	縄文土器 鉢	口縁部	94ピット1	底:12.0	砂礫。白・赤褐色粒。	無文。研磨。	
第55回 PL.74	3	縄文石器 打製石斧	頭部残存		長: (5.5), 幅:4.6 厚:1.2, 重:46.0	粗粒輝石安山岩	短冊形?	
279号土坑								
検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第56回 PL.74	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白・黒・赤 褐色粒。	研磨。	
284号土坑								
検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第58回 PL.74	1	縄文石器 石核?	完形		長:3.5, 幅:6.3 厚:2.3, 重:41.5	黒曜石	打面再生剥片か?	
第58回 PL.74	2	縄文石器 スタンプ形石器	完形	2	長:10.5, 幅:7.3 厚:4.3, 重:487.4	粗粒輝石安山岩	一端打ち欠き。分割面研磨。	1類
289号土坑								
検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第59回 PL.74	1	縄文土器 深鉢	胴～底部		底: (13.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	縄文。横撫で。	

294号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3060 PL.74	1	縄文土器 深鉢	底部		底:(11.0)	砂漚。白・赤褐色粒。	沈線。粘り付付け。	

297号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3061 PL.74	1	縄文土器 深鉢	口縁～胴部	330土		砂漚。赤褐色粒。	竹筥。沈線。研磨。	
3061 PL.74	2	縄文土器 深鉢	口縁部			砂漚。白色粒。	内面研磨。	
3061 PL.74	3	縄文土器 深鉢	胴部			砂漚。白色粒。	隆線。沈線。内面研磨。	
3061 PL.74	4	縄文土器 深鉢	胴部			砂漚。白・赤褐色粒。	平行沈線。	

298号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3061 PL.74	1	須石器 環	胴～底部		口:(10.0)、底:(5.0) 高:3.7	白色粒。	轆轤成形。底部赤切り。	

300号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3062 PL.74	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂漚。白・赤褐色粒。	矢羽状。横撫で。	
3062 PL.74	2	縄文石器 石核	完形		長:2.7、幅:2.4 厚:1.2、重:7.7	黒曜石	周縁から中心に向けての剥片剥離。扁平な礫で両面に原石面を残す。	

301号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3063 PL.74	1	縄文石器 くぼみ石	完形		長:10.6、幅:8.0 厚:4.9、重:618.4	粗粒輝石安山岩	両面磨り面。内面・一端敲打痕。	

302号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3063 PL.75	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂漚。白・黒・赤褐色粒。	口縁部有孔装飾。内外面研磨。	

303号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3064 PL.75	1	縄文土器 深鉢	底部		底:(11.0)	砂漚。白・赤褐色粒。	底部副代痕。内外面横撫で。	

304号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3064 PL.75	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂漚。白・赤褐色粒。	縄文。内面横撫で。	

306号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3064 PL.75	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂漚。白・黒色粒。	平行沈線。横位平行横撫で。	

313号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3065 PL.75	1	縄文石器 スタンプ形石	完形		長:9.3、幅:6.3 厚:4.8、重:456.1	粗粒輝石安山岩	一端打ち欠き。分割面研磨。	1類

318号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3067 PL.75	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂漚。白・赤褐色粒。	縄文。内面横撫で。	前期前半
3067 PL.75	2	縄文土器 深鉢	胴部			砂漚。白・赤褐色粒。	隆帯区画。	

322号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3068 PL.75	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂漚。白・赤褐色粒。	沈線。内面横撫で。	
3068 PL.75	2	縄文石器 磨石	完形		長:11.1、幅:6.0 厚:3.7、重:304.2	粗粒輝石安山岩	両面磨き痕。くぼみ痕。	

遺物観察表

325号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3068回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・黒・赤 褐色粒。	平行沈線。内面横撫で。	前期後半

326号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3068回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白色粒。	縄文。内面横撫で。	前期前半

328号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3069回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	横状沈線。	前期後半

329号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3069回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白色粒。	羽状縄文。横撫で。	前期前半

347号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3072回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	平行隆線。	
3072回 PL.75	2	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	沈線+縄文。	
3072回 PL.75	3	縄文石器 磨器	欠損		長：(2.4)、幅：(4.1) 厚：1.0、重：12.1	珉質頁岩	剥片素材。一側縁歯状加工。	

351号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3073回 PL.75	1	石製品 砥石	欠損		長：(5.8)、幅：3.0 厚：1.0、重：18.7	カーボナダム	一端欠損。	

364号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3075回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白色粒。	平坦口縁。研磨。	

365号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3075回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。金雲母。白・ 赤褐色粒。	隆帯。横撫で。	中期前半

367号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3075回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・黒色粒。	隆帯。横撫で。	中期前半

384号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3077回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白・赤褐色粒。	波状口縁。浮線。	中期前半

396号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3077回 PL.75	1	縄文石器 磨石	完形		長：8.8、幅：7.2 厚：5.7、重：558.0	変質安山岩	両面磨き粒。	

397号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3078回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	口縁部	1		砂礫。白・赤褐色粒。	内面研磨。	中期前半
3078回 PL.75	2	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白色粒。	縄文。沈線。補修孔。	
3078回 PL.75	3	縄文土器 深鉢	胴部	2		砂礫。白・黒色粒。	隆線。横撫で。	

400号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
3078回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	突起部			砂礫。白・赤褐色粒。	波状口縁。研磨。	

408号土坑

検出 PL.No.	No.	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第79回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白・赤褐色粒。	沈殿。内外面磨き。	
第79回 PL.75	2	縄文土器 深鉢	台部			砂礫。白・赤褐色粒。	横撫で。	

421号土坑

検出 PL.No.	No.	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第79回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	胴～底部		底: (7.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	縄文。横撫で。副たね。	

426号土坑

検出 PL.No.	No.	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第80回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。石英。白色粒。	縄文。横撫で。	

中世以降

412号土坑

検出 PL.No.	No.	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第81回 PL.76	1	軟質陶器 植木鉢	口縁～底部		口: (27.6)、底: 20.0 高: 20.1	砂礫。白・赤褐色粒。	円柱形。轆轤成形。底部中央穴。	
第81回 PL.76	2	軟質陶器 植木鉢	口縁～胴部	409・423上	口: 27.0	砂礫。白・黒・赤 褐色粒。	円柱形。轆轤成形。	
第81回 PL.76	3	軟質陶器 植木鉢	胴～底部		底: 13.4	砂礫。白・赤褐色粒。	円柱形。轆轤成形。底部中央穴。	
第81回 PL.76	4	軟質陶器 植木鉢	胴～底部		底: (11.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	円柱形。轆轤成形。	
第81回 PL.76	5	軟質陶器 植木鉢	底部			砂礫。白・黒・赤 褐色粒。	円柱形。轆轤成形。底部中央穴。	
第81回 PL.76	6	軟質陶器 植木鉢	底部	423上	底: (20.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	円柱形。轆轤成形。	
第82回 PL.76	7	軟質陶器 植木鉢	口縁～底部	409上	長: 23.4、幅: 16.2 高: 6.0	砂礫。白・赤褐色粒。	角形箱型。四脚二穴。横撫で。	
第82回 PL.76	8	軟質陶器 植木鉢	口縁～底部		高: 5.8	砂礫。白・赤褐色粒。	角形箱型。四脚二穴。横撫で。	
第82回 PL.76	9	鉄貨 寛永通寶	完形		径: 2.3、重: 1.7		1636年	
第82回 PL.76	10	金属製品 煙管?	—		長: 1.9、幅: 1.7 重: 0.9		押しつぶされた火口。	

268号土坑

検出 PL.No.	No.	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第83回 PL.76	1	縄文石器 石礫未成品	完形	3		流紋岩	割片素材。一側加工。	

269号土坑

検出 PL.No.	No.	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第83回 PL.76	1	縄文土器 深鉢	口縁部	1		砂礫。白色粒。	平行沈殿+竹管。刺突・縄文。研磨?	

295号土坑

検出 PL.No.	No.	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第85回 PL.76	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。褐色粒。	口唇部・口縁部磨赤文。内面弱い撫で。	早期前半

319号土坑

検出 PL.No.	No.	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第86回 PL.76	1	縄文土器 深鉢	底部		底: (12.0)	砂礫。白・赤褐色粒。	縄文。内面横撫で。	

327号土坑

検出 PL.No.	No.	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第86回 PL.76	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。赤褐色粒。	隆線。沈殿。内面横撫で。	

334号土坑

検出 PL.No.	No.	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第87回 PL.76	1	磁器 碗	口縁～底部	409・412上	口: (12.0)、底: (3.8) 高: 4.4		遊ぶ5人の子供の姿。	

遺物観察表

343号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備考
第88回 PL.76	1	金銅製品	先端欠損		長:3.4、幅:0.6 厚:0.3、重:1.1		和釘。	

355号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備考
第88回 PL.76	1	縄文土器 深鉢	口縁部				砂礫。白・赤褐色粒。斜行沈線。内面研磨。	加曾利B 2 ~3式

361号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備考
第89回 PL.76	1	縄文土器 深鉢	口縁部				砂礫。白色粒。	平坦口縁。無文。内外面横撫で。

368号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備考
第89回 PL.76	1	縄文土器 深鉢	胴部				砂礫。白・赤褐色粒。縄文。横撫で。	中期前半

371号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備考
第90回 PL.76	1	縄文土器 深鉢	胴部				砂礫。白・赤褐色粒。隆帯。沈線。横撫で。	中期前半

376号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備考
第90回 PL.76	1	縄文土器 深鉢	胴部				砂礫。白・赤褐色粒。隆帯。沈線。横撫で。	中期前半

377号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備考
第90回 PL.76	1	縄文土器 深鉢	口縁部	2			砂礫。白・黒・赤褐色粒。平行沈線。爪形。横撫で。	中期前半
第90回 PL.76	2	縄文土器 深鉢	胴部				砂礫。赤褐色粒。条痕。	中期前半

378号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備考
第91回 PL.76	1	縄文土器 深鉢	口縁部				砂礫。白色粒。縄文研磨消し。沈線。内面横撫で。	中期前半
第91回 PL.76	2	縄文土器 深鉢	底部				砂礫。白・赤褐色粒。平行沈線。爪形。横撫で。	中期前半
第91回 PL.76	3	石製品 石臼	1/3		径:29.0、厚:10.8 重:4679.0	粗粒輝石安山岩	下臼。6目?	

379号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備考
第91回 PL.77	1	縄文土器 深鉢	胴部	2			砂礫。白・赤褐色粒。沈線+押圧。	中期前半
第91回 PL.77	2	縄文土器 深鉢	胴部	1			砂礫。白色粒。隆帯。平行沈線+爪形。横撫で。	中期前半
第91回 PL.77	3	縄文土器 深鉢	胴部				砂礫。白・赤褐色粒。条痕。内面撫で。	前期前半

383号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備考
第92回 PL.77	1	銭貨 尊永通寶	完形	1	径:2.4、重:3.6		1636年	
第92回 PL.77	2	銭貨 尊永通寶	完形	2	径:2.4、重:1.9		1636年	

386号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備考
第92回 PL.77	1	縄文土器 深鉢	胴部	1			砂礫。白色粒。沈線。	中期前半

392号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備考
第93回 PL.77	1	縄文石器 石核	完形		長:4.4、幅:4.8 厚:4.3、重:107.2	流紋岩	打面方位を繰り返す。立方体。原石面残存。	

395号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第77回 PL.75	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白・赤褐色粒。	平行沈線。内面横撫で。	中期前半
第77回 PL.75	2	縄文石器 くぼみ石	欠損		長: (10.4)、幅: 7.2 厚: 4.4、重: 447.5	粗粒輝石安山岩	一端欠損。両面両縁くぼみ直。	

401号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第93回 PL.77	1	縄文土器 深鉢	胴部	1,2、398上		砂礫。白・黒色粒。	縄文。横撫で。	

402号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第93回 PL.77	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	外面研磨。内面横撫で。	

405号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第94回 PL.77	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。白・赤褐色粒。	内面撫で。	

413号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第94回 PL.77	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・赤褐色粒。	斜行条痕文。	

419号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第95回 PL.77	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白色粒。	沈線。横撫で。	

422号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第95回 PL.77	1	縄文土器 深鉢	胴部			砂礫。白・黒色粒。	研磨。	

423号土坑

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第96回 PL.77	1	軟質陶器 鉢	口縁部		口: 24.0		轆轤成形。	
第96回 PL.77	2	軟質陶器 鉢	口縁部		口: (27.0)		轆轤成形。	

64号ピット

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第97回 PL.77	1	縄文石器 石鏃未成品	欠損		長: 1.9、幅: (1.9) 厚: 0.5、重: 0.7	チャート	片脚欠損。	

87号ピット

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第98回 PL.77	1	縄文石器 加工痕ある剥片	完形		長: 3.3、幅: 4.4 厚: 1.1、重: 14.8	流紋岩	横長剥片。	

109号ピット

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第99回 PL.77	1	縄文土器 深鉢	口縁部			砂礫。赤褐色粒。	縄文。内面横撫で。	

130号ピット

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第100回 PL.77	1	灰釉陶器 短頸壺	底部		底: (7.0)		轆轤成形。	

139号ピット

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第100回 PL.77	1	銭貨 五銭	完形		径: 2.1、重: 4.2		「明治三十一年」	

174号ピット

検出 PL.No	No	種 器 類 種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第102回 PL.77	1	銭貨 不明	完形	1	径: 2.4、重: 2.9		—	

遺物観察表

挿図 PL.No	No	種 器	類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第102図 PL.77	2	銭貨	無字元寶	完形	1	径:2.4、重:2.7		中国北宋1068年	
第102図 PL.77	3	銭貨	治平元寶	完形	1	径:2.2、重:2.5		中国北宋1064年	
第102図 PL.77	4	銭貨	洪武通寶	完形	1	径:2.3、重:2.6		中国明1368年	
第102図 PL.77	5	銭貨	開元通寶	完形	1	径:2.4、重:2.3		中国唐621年、あるいは韓国998年	
第102図 PL.77	6	銭貨	天禧通寶	完形	1	径:2.4、重:2.5		中国北宋1017年	
第102図 PL.78	7	銭貨	祥符元寶	完形	1	径:2.4、重:2.3		中国北宋1008年	
第102図 PL.78	8	銭貨	聖元元寶	完形	1	径:2.4、重:2.7		中国北宋1101年	
第102図 PL.78	9	銭貨	嘉熙通寶	完形	1	径:2.4、重:2.8		中国南宋1237年	
第102図 PL.78	10	銭貨	祥符元寶	完形	1	径:2.3、重:2.5		中国北宋1008年	
第102図 PL.78	11	銭貨	不明	完形	1	径:2.3、重:2.4		—	
第102図 PL.78	12	銭貨	祥符元寶	完形	1	径:2.3、重:2.7		中国北宋1008年	
第102図 PL.78	13	銭貨	治平元寶	完形	1	径:2.2、重:2.8		中国北宋1064年	
第102図 PL.78	14	銭貨	不明	欠損	1	径:(2.3)、重:1.2		—	
177号ビット									
挿図 PL.No	No	種 器	類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第103図 PL.78	1	金属製品	釘	欠損		長:(2.6)、厚:0.4 重:0.9		先端欠損。	
201号ビット									
挿図 PL.No	No	種 器	類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第104図 PL.78	1	軟質陶器	埴	口縁~胴部	1,2	口:(12.0)	白・赤褐色粒。	轆轤成形。魚軸。天目。	
214号ビット									
挿図 PL.No	No	種 器	類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第105図 PL.78	1	縄文土器	深鉢	胴部			砂漉。白・赤褐色粒。	沈線。横撫で。	
221号ビット									
挿図 PL.No	No	種 器	類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第105図 PL.78	1	縄文土器	深鉢	胴部			砂漉。白・赤褐色粒。	平行沈線。横撫で。	
244号ビット									
挿図 PL.No	No	種 器	類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第106図 PL.78	1	縄文土器	深鉢	胴部			砂漉。白色粒。	隆線。横撫で。	
5号樽									
挿図 PL.No	No	種 器	類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第117図 PL.78	1	軟質陶器	石明皿	胴~底部	2ビット(209 ビット)1	底:5.4	赤褐色粒。	轆轤成形。螺旋状。高台付。	
6号集石									
挿図 PL.No	No	種 器	類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第118図 PL.78	1	軟質陶器	埴塔	口縁部			白・赤褐色粒。	轆轤成形。横撫で。	
7号集石									
挿図 PL.No	No	種 器	類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第119図 PL.78	1	縄文土器	磨石	完形	1	長:10.2、幅:7.0 厚:4.4、重:542.8	粗粒輝石安山岩	両面研磨痕。一面・一端敲打痕。	
第119図 PL.78	2	石器	白石	完形	2	長:34.4、幅:23.7 厚:10.6、重:12850.0	粗粒輝石安山岩	一面磨り面。	
8号集石									
挿図 PL.No	No	種 器	類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第119図 PL.78	1	縄文土器	深鉢	胴部			砂漉。白・赤褐色粒。	条痕。内面撫で。	

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第1190 PL-78	2	縄文石器 削器	完形		長:4.6、幅:3.8 厚:0.8、重:11.2	黒色頁岩	剥片素材。刃縁加工。	
PL-78	3	金属製品 鉄滓			長:7.2、幅:3.5 厚:2.2、重:56.8		太い棒状、錆付着。	
PL-78	4	金属製品 鉄滓			長:5.5、幅:3.0 厚:2.6、重:37.3		太い棒状、錆付着。	
PL-78	5	金属製品 鉄滓			長:6.0、幅:3.2 厚:2.9、重:48.0		太い棒状、錆付着。	

1号石垣

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第1200 PL-78	1	磁器 高台付碗	口縁～胴部	3	口:9.6	砂漚。白・赤褐色粒。	梅の木。	
第1200 PL-78	2	磁器 高台付碗	胴～底部	4	底:4.0	砂漚。白・赤褐色粒。	胴代。	
第1200 PL-78	3	磁器 蓋?	底部	1	底:9.2	砂漚。白・赤褐色粒。	底部糸切り?	

23号焼土

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第1210 PL-79	1	縄文石器 深鉢	胴部			砂漚。白・赤褐色粒。	沈線。横撫で。	
第1210 PL-79	2	縄文石器 加工痕ある剥片	完形		長:1.9、幅:2.3 厚:0.9、重:2.8	黒曜石	一箇縁加工。	

27号焼土

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第1210 PL-79	1	金属製品 刀子	両端欠損		長:(4.3)、幅:1.4 重:5.2		錆付着。	

38号焼土

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第1230 PL-79	1	縄文石器 深鉢	胴部	1		砂漚。白・黒・赤 褐色粒。	沈線。縄文。内面横撫で。剥落。	

遺構外出土遺物(平安以降)

検出 PL.No	No	種 器 類 種	現 存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第1270 PL-79	1	須恵器 高台付杯	胴部	1石垣	底:(5.8)	白・黒色粒。	轆轤成形。底部糸切り。	
第1270 PL-79	2	須恵器 高台付杯	口縁～底部		口:14.8、底:8.4 高:4.9	砂漚。白色粒。	轆轤成形。底部糸切り。	
第1270 PL-79	3	土師器 杯	口縁～底部		口:9.2、底:5.2 高:2.5	黒・赤褐色粒。	底部糸切り。煤付着。	
第1270 PL-79	4	土師器 甕	口縁～胴部	52EXX-24	口:(11.6)	白・黒色粒。	「コ」字口縁。横段削り。	
第1270 PL-79	5	磁器 高台付碗	口縁～底部		口:11.8、底:4.4 高:5.8		蓋。竹に梅。	
第1270 PL-79	6	磁器 高台付碗	口縁～底部	1石垣2、63X A-1	口:11.2、底:3.6 高:5.9		植物文。	
第1270 PL-79	7	磁器 碗	口縁～底部		口:7.6、底:3.8 高:4.0		鳥に花。	
第1270 PL-79	8	磁器 碗	口縁～底部		口:6.8、底:3.4 高:4.4		山道の騎乗人と谷あい架かる木橋。	
第1270 PL-79	9	磁器 碗	口縁～底部		口:5.4、底:3.0 高:3.8		梅の木に印。	
第1270 PL-79	10	磁器 輪花碗	口縁～胴部		口:(14.0)		4輪花。	
第1270 PL-79	11	磁器 菊花皿	3/4		口:9.6、底:4.6 高:2.2		葉三分割。波状口縁。	
第1270 PL-79	12	陶器 鉢	底部		底:12.2	白・黒色粒。	底部段切り。	
第1270 PL-79	13	陶器 皿	口縁～底部		口:(10.8)、底:(5.0) 高:1.7		轆轤成形。口縁部横撫で。	
第1270 PL-79	14	軟質陶器 燈塔	口縁～底部	52EXX-25	口:(35.0)、底:(33.4) 高:5.2	白・黒色粒。	横撫で。内耳。	
第1270 PL-79	15	軟質陶器 大鉢	破片			黒・赤褐色粒。	刻印。	
第1270 PL-79	16	軟質陶器 植木鉢	口縁～底部	63XA-1	口:13.2、底:7.4 高:8.5	砂漚。白・黒色粒。	轆轤成形。底部中央穴。	
第1270 PL-79	17	軟質陶器 植木鉢	口縁～底部	52EXX-25	口:(18.0)、底:(12.0) 高:11.8	砂漚。白・黒・赤 褐色粒。	轆轤成形。底部中央穴。	
第1270 PL-79	18	軟質陶器 瓦?	破片				高熱による火はね?黒色付着物。	
第1270 PL-79	19	軟質陶器 すの子	1/4	52住	長:(6.9)、幅:(5.1) 厚:1.1	白色粒。	9穴?	

遺物観察表

挿図 PL.No	No.	種類 器種	現存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特徴	備考
第128図 PL.79	20	金属製品 刀子	両端欠損		長:(11.8)、幅:2.8 厚:0.4、重:55.2		錆付着。	
第128図 PL.79	21	金属製品 煙管・吸口	完形		長:3.4、幅:1.1 厚:0.1、重:5.2		竹残存。	
第128図 PL.79	22	金属製品 煙管・吸口	完形		長:8.0、幅:1.1 厚:0.1、重:13.9			
第128図 PL.79	23	金属製品 釘	両端欠損		長:(2.3)、幅:0.3 厚:0.3、重:0.8		断面四角。	
第128図 PL.79	24	金属製品 不明	両端欠損		長:8.7、厚:0.5 重:11.5		棒状。	
第128図 PL.79	25	金属製品 鉄滓	完形		長:3.5、幅:2.2 厚:1.9、重:11.8			
第128図 PL.80	26	鉄貨 魂大通寶	完形		径:2.3、重:2.0		1636年	
第128図 PL.80	27	鉄貨 一錢	完形		径:2.4、重:3.9		年号不明。	
第128図 PL.80	28	鉄貨 一錢	完形		径:2.4、重:3.8		年号不明。	
第128図 PL.80	29	鉄貨 一錢	完形		径:1.2、重:0.6		「昭和十六年」	
第128図 PL.80	30	ガラス おぼじき	完形		径:1.8、厚:0.3		灰色の地に薄緑の文様。	
第128図 PL.80	31	石製品 石白・上白	完形		径:37.0、厚:17.9 重:37000.0	粗粒輝石安山岩	6目。	
第128図 PL.80	32	石製品 石白・上白	1/2		径:34.0、厚:12.9 重:12600.0	粗粒輝石安山岩	6目。	
第128図 PL.80	33	石製品 石白・上白	1/3		長:(31.0)、厚:(10.0) 重:7380.0	粗粒輝石安山岩	6目?	
第129図 PL.80	34	石製品 茶白・下白	2/3		径:29.2、厚:12.2 重:14000.0	粗粒輝石安山岩		
第129図 PL.80	35	石製品 石白・下白	1/2		径:34.0、厚:9.5 重:8900.0	粗粒輝石安山岩		
第129図 PL.80	36	石製品 茶白・下白	2/3		上径:29.6 下径:22.6、厚:10.0 重:6100.0	粗粒輝石安山岩		
第129図 PL.80	37	石製品 さいころ	欠損		長:2.3、幅:2.2 厚:2.3、重:25.7	滑石	穿孔のみ。	

写真図版



1. 道跡遠景(東から)



2. 1区西部2区東部1面全景(南から)



3. 1区1面全景(北から)



4. 1区西部西1面(南から)



5. 1区中央部北1面(南から)



1. 1区西部西2面(南から)



2. 1区中央部2面(南から)



3. 2区中央部1面全景(南から)



4. 2区西部2面全景(南から)



5. 2区中央部東1面西2面(南から)



6. 2区東部1面(南から)



7. 2区東部2面(東から)



8. 2区東部2面(南から)



1. 33号住居西側断面(南から)



2. 33号住居東側断面(南から)



3. 33号住居遺物出土状態(南東から)



4. 33号住居切断面(東から)



5. 33号住居切断面(東から)



6. 33号住居が掘り方全景(南から)



7. 33号住居1号土坑断面(南東から)



1. 33号住居P14断面(南東から)



2. 33号住居P14全景(南東から)



3. 33号住居P15断面(南東から)



4. 33号住居P15全景(南東から)



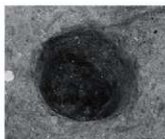
5. 33号住居P16断面(南東から)



6. 33号住居P16全景(南東から)



7. 33号住居P17断面(南東から)



8. 33号住居P17全景(南東から)



9. 33号住居P18断面(南東から)



10. 33号住居P18全景(南東から)



11. 35号住居断面(東から)



12. 35号住居断面(西から)



13. 35号住居断面(南から)



14. 35号住居遺物出土状態(南から)



1. 35号住居遺物出土状態(南から)



2. 35号住居全景(南から)



3. 35号住居が断面(南から)



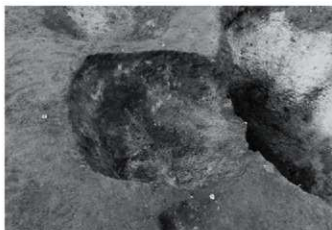
4. 35号住居が断面(東から)



5. 35号住居が全景(東から)



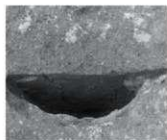
6. 35号住居埋設土器出土状態(南から)



7. 35号住居が掘り方全景(南から)



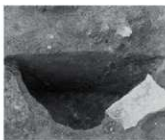
8. 35号住居床下土坑1全景(南西から)



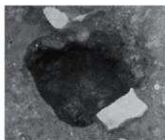
1. 35号住居P6断面(南から)



2. 35号住居P6全景(南から)



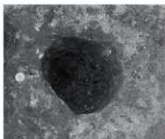
3. 35号住居P7断面(南から)



4. 35号住居P7全景(南から)



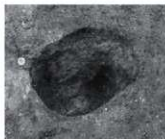
5. 35号住居P8断面(南から)



6. 35号住居P8全景(南から)



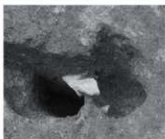
7. 35号住居P9断面(南東から)



8. 35号住居P9全景(南から)



9. 35号住居P10・P11断面(南から)



10. 35号住居P10・P11全景(南から)



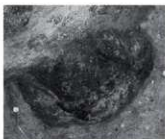
11. 35号住居P12断面(南から)



12. 35号住居P12全景(南から)



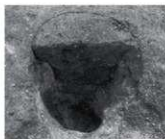
13. 35号住居P13断面(南から)



14. 35号住居P13全景(南から)



15. 35号住居P14断面(南から)



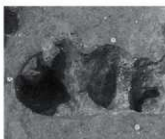
16. 35号住居P15断面(北東から)



17. 35号住居P15全景(東から)



18. 35号住居P16・P17断面(南から)



19. 35号住居P16・P17全景(南から)



20. 35号住居P18断面(南から)



21. 35号住居P18全景(南から)



1. 51号住居断面(南から)



2. 51号住居遺物出土状態(南から)



3. 51号住居遺物出土状態(南から)



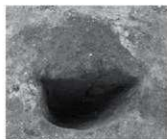
4. 51号住居遺物出土状態(南から)



5. 51号住居掘り方断面(南から)



6. 51号住居掘り方全景(南から)



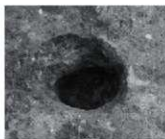
1. 51号住居P1断面(南から)



2. 51号住居P1全景(南から)



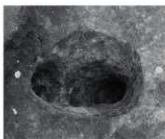
3. 51号住居P2断面(東から)



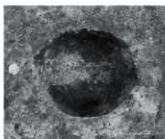
4. 51号住居P2全景(東から)



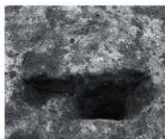
5. 51号住居P3・P4断面(東から)



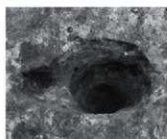
6. 51号住居P3・P4全景(東から)



7. 51号住居P5全景(南から)



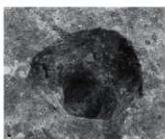
8. 51号住居P6断面(南から)



9. 51号住居P6全景(南から)



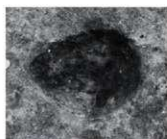
10. 51号住居P7断面(南から)



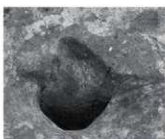
11. 51号住居P7全景(南から)



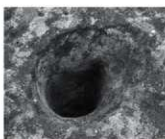
12. 51号住居P8断面(南から)



13. 51号住居P8全景(南から)



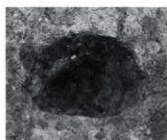
14. 51号住居P9断面(東から)



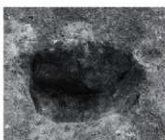
15. 51号住居P9全景(南から)



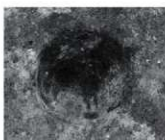
16. 51号住居P10断面(南から)



17. 51号住居P10全景(南から)



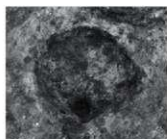
18. 51号住居P11断面(南東から)



19. 51号住居P11全景(南東から)



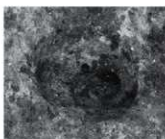
20. 51号住居P12断面(西から)



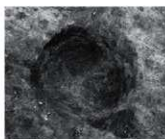
21. 51号住居P12全景(西から)



22. 51号住居P13断面(西から)



23. 51号住居P13全景(西から)



24. 51号住居P14全景(西から)



1. 56号住居全景(南東から)



2. 56号住居切断面(南東から)



3. 56号住居切全景(北西から)



4. 56号住居切掘り方断面(南東から)



5. 56号住居P1断面(北から)



6. 56号住居P1全景(南東から)



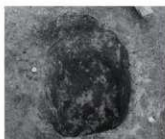
7. 56号住居P2断面(南から)



8. 56号住居P2全景(南西から)



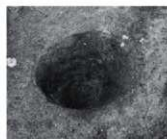
9. 56号住居P3断面(南から)



10. 56号住居P3全景(南から)



11. 56号住居P4断面(南東から)



12. 56号住居P4全景(南東から)



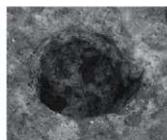
13. 56号住居P5断面(南東から)



14. 56号住居P5全景(南東から)



15. 56号住居P6断面(南から)



16. 56号住居P6全景(南から)



1. 56号住居P7断面(東から)



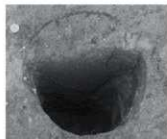
2. 56号住居P7全景(東から)



3. 56号住居P8断面(南から)



4. 56号住居P8全景(南から)



5. 56号住居P9断面(南東から)



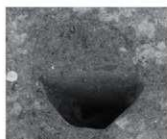
6. 56号住居P9全景(南東から)



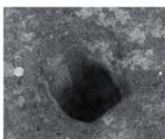
7. 56号住居P10・P11断面(南東から)



8. 56号住居P10・P11全景(南東から)



9. 56号住居P12断面(南東から)



10. 56号住居P12全景(南から)



11. 57号住居断面(西から)



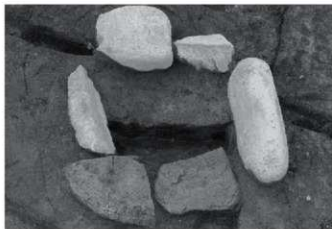
12. 57号住居全景(南から)



13. 57号住居掘り方断面(西から)



14. 57号住居掘り方全景(東から)



1. 57号住居断面(東から)



2. 57号住居全景(北から)



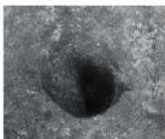
3. 57号住居掘り方断面(東から)



4. 57号住居掘り方全景(東から)



5. 57号住居P1断面(南から)



6. 57号住居P1全景(南から)



7. 57号住居P2断面(南から)



8. 57号住居P2全景(南から)



9. 57号住居P3断面(南から)



10. 57号住居P3全景(南から)



11. 409号土坑断面(東から)



12. 409号土坑出土状態(東から)



13. 409号土坑全景(東から)



1. 32号住居全景(北東から)



2. 32号住居周溝断面(北西から)



3. 32号住居ピット・周溝掘り方全景(南から)



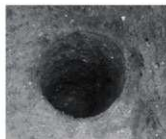
4. 32号住居P7断面(北東から)



5. 32号住居P7全景(北東から)



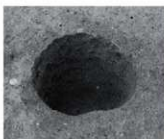
6. 32号住居P8断面(北東から)



7. 32号住居P8全景(北東から)



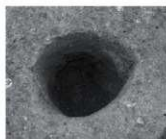
8. 32号住居P9断面(南東から)



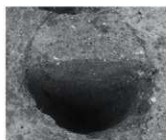
9. 32号住居P9全景(南東から)



10. 32号住居P10断面(南東から)



11. 32号住居P10全景(南東から)



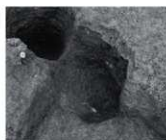
12. 32号住居P11断面(北東から)



13. 32号住居P11全景(北東から)



14. 32号住居P12断面(西から)



15. 32号住居P12全景(西から)



1. 52号住居断面(南から)



2. 52号住居断面(東から)



3. 52号住居全景(西から)



4. 52号住居カマド断面(西から)



5. 52号住居カマド断面(南から)



6. 52号住居カマド全景(西から)



7. 52号住居カマド掘り方全景(西から)



8. 52号住居床下土抗1断面(北から)



1. 52号住居床下土坑1 全景(北から)



2. 52号住居床下土坑2 全景(東から)



3. 52号住居P1断面(西から)



4. 52号住居P1 全景(西から)



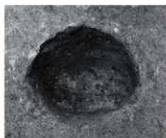
5. 52号住居P2断面(南から)



6. 52号住居P2 全景(南から)



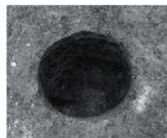
7. 52号住居P3断面(西から)



8. 52号住居P3 全景(西から)



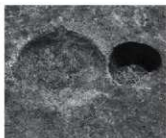
9. 52号住居P4断面(西から)



10. 52号住居P4 全景(西から)



11. 52号住居P5断面(西から)



12. 52号住居P5 全景(西から)



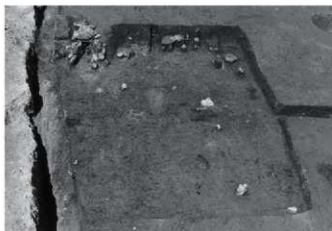
13. 52号住居P5 出土状況(西から)



14. 53号住居断面(東から)



15. 53号住居断面(南から)



1. 53号住居全景(南西から)



2. 53号住居カマド遺物出土状態(南西から)



3. 53号住居カマド全景(南西から)



4. 53号住居カマド断面(西から)



5. 53号住居カマド断面(西から)



6. 53号住居カマド掘り方全景(南西から)



7. 53号住居ピット全景(南西から)



1 .53号住居P1断面(南東から)



2 .53号住居P1全景(南東から)



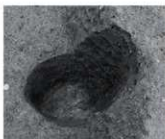
3 .53号住居P2断面(南東から)



4 .53号住居P2全景(南東から)



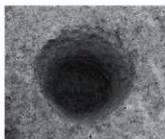
5 .53号住居P3断面(南東から)



6 .53号住居P3全景(南東から)



7 .53号住居P4断面(南東から)



8 .53号住居P4全景(南東から)



9 .53号住居P5断面(南東から)



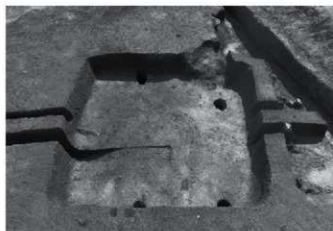
10.53号住居P5全景(南東から)



11. 54号住居断面(南西から)



12. 54号住居遺物出土状態(北東から)



13. 54号住居全景(北東から)



14. 54号住居掘り方全景(北東から)



1. 54号住居カマド断面(北東から)



2. 54号住居カマド遺物出土状態(北東から)



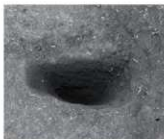
3. 54号住居カマド全景(北東から)



4. 54号住居P1断面(南東から)



5. 54号住居P1全景(南東から)



6. 54号住居P2断面(南東から)



7. 54号住居P2全景(南東から)



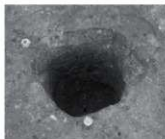
8. 54号住居P3断面(南から)



9. 54号住居P3全景(南から)



10. 54号住居P4断面(南から)



11. 54号住居P4全景(南から)



1. 55号住居断面(北東から)



2. 55号住居断面(南西から)



3. 55号住居遺物出土状態(南西から)



4. 55号住居遺物出土状態(東から)



5. 55号住居遺物出土状態(北東から)



6. 55号住居全景(南西から)



7. 55号住居カマド全景(東から)



8. 55号住居カマド全景(南西から)



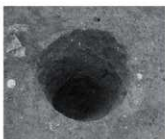
1. 55号住居貯蔵穴・P3断面(西から)



2. 55号住居貯蔵穴遺物出土状態(西から)



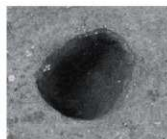
3. 55号住居P1断面(南東から)



4. 55号住居P1全景(南東から)



5. 55号住居P2断面(南東から)



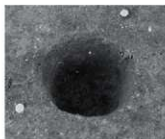
6. 55号住居P2全景(南東から)



7. 55号住居P3全景(西から)



8. 55号住居P4断面(南東から)



9. 55号住居P4全景(南東から)



10. 261号土坑断面(南から)



11. 261号土坑全景(東から)



12. 262号土坑断面(南から)



13. 262号土坑全景(南東から)



14. 271号土坑断面(南東から)



15. 271号土坑全景(南東から)



1. 276号土坑断面(南から)



2. 276号土坑全景(南から)



3. 277号土坑断面(南東から)



4. 277号土坑全景(南東から)



5. 278号土坑断面(南東から)



6. 278号土坑全景(北から)



7. 279号土坑断面(北西から)



8. 279号土坑全景(南東から)



9. 281号土坑断面(南東から)



10. 283号土坑断面(南から)



11. 283号土坑全景(南から)



12. 284号土坑断面(北から)



13. 284号土坑全景(南から)



14. 288号土坑断面(南西から)



15. 289号土坑断面(南から)



1. 289号土坑全景(南から)



2. 291号土坑断面(北西から)



3. 291・305号土坑全景(北西から)



4. 294号土坑断面(南から)



5. 294号土坑全景(北から)



6. 296号土坑断面(南から)



7. 296号土坑全景(南から)



8. 297号土坑断面(南から)



9. 297号土坑全景(南から)



10. 298号土坑断面(南東から)



11. 298号土坑全景(南東から)



12. 299号土坑断面(南西から)



13. 299号土坑全景(南東から)



14. 300号土坑断面(南西から)



15. 300号土坑全景(南から)



1. 301号土坑断面(南から)



2. 301号土坑全景(南から)



3. 302号土坑断面(南から)



4. 302号土坑全景(北から)



5. 303号土坑断面(北西から)



6. 303号土坑全景(北西から)



7. 304号土坑断面(南から)



8. 304号土坑全景(南西から)



9. 306号土坑断面(南西から)



10. 306号土坑全景(南から)



11. 306号土坑北壁小ピット検出状態(西から)



12. 307号土坑断面(北西から)



13. 307号土坑全景(北西から)



14. 308号土坑断面(北西から)



15. 308号土坑全景(南東から)



1. 313号土坑断面(南から)



2. 313号土坑全景(北から)



3. 314号土坑断面(南西から)



4. 314号土坑全景(北西から)



5. 315号土坑全景(北から)



6. 316号土坑断面(北西から)



7. 316号土坑全景(北西から)



8. 318号土坑断面(南東から)



9. 318号土坑全景(南東から)



10. 321号土坑断面(北西から)



11. 321号土坑遺物出土状態(北西から)



12. 322号土坑全景(南東から)



13. 323号土坑断面(南から)



14. 323号土坑全景(南から)



15. 325号土坑断面(南から)



1. 325号土坑全景(南東から)



2. 326号土坑断面(北東から)



3. 326号土坑全景(北東から)



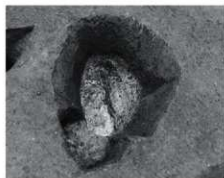
4. 328号土坑断面(北東から)



5. 328号土坑全景(東から)



6. 329号土坑断面(南から)



7. 329号土坑全景(南から)



8. 330号土坑断面(北から)



9. 330号土坑全景(北西から)



10. 331号土坑断面(南西から)



11. 331号土坑全景(西から)



12. 333号土坑断面(南から)



13. 333号土坑全景(南東から)



14. 336号土坑断面(南から)



15. 336号土坑全景(南から)



1. 340号土坑断面(南から)



2. 340号土坑全景(南東から)



3. 340号土坑P1断面(南東から)



4. 340号土坑P1全景(南東から)



5. 344号土坑断面(南東から)



6. 344号土坑全景(南東から)



7. 345号土坑断面(南東から)



8. 346号土坑断面(南から)



9. 346号土坑全景(南から)



10. 347号土坑断面(南西から)



11. 347号土坑全景(南から)



12. 351号土坑断面(南から)



13. 351号土坑全景(南から)



14. 352号土坑断面(北から)



15. 353号土坑断面(東から)



1. 353号土坑全景(南から)



2. 354号土坑断面(東から)



3. 354号土坑全景(東から)



4. 356号土坑断面(南東から)



5. 356号土坑全景(東から)



6. 360号土坑断面(南西から)



7. 364号土坑断面(北から)



8. 364号土坑全景(北から)



9. 365号土坑断面(南から)



10. 365号土坑全景(南から)



11. 366号土坑断面(南から)



12. 366号土坑全景(南から)



13. 367号土坑断面(北東から)



14. 367号土坑全景(北東から)



15. 369号土坑断面(東から)



1. 369号土坑全景(西から)



2. 374号土坑断面(南から)



3. 374号土坑全景(南西から)



4. 375号土坑断面(南西から)



5. 375号土坑全景(南西から)



6. 381号土坑断面(北東から)



7. 381号土坑全景(南東から)



8. 384号土坑断面(西から)



9. 384号土坑全景(西から)



10. 391号土坑断面(南から)



11. 391号土坑全景(南から)



12. 395・396号土坑断面(南東から)



13. 395・396号土坑全景(南東から)



14. 397・398号土坑断面(北東から)



15. 397・398号土坑全景(南東から)



1. 400号土坑断面(北東から)



2. 400号土坑全景(南から)



3. 407号土坑断面(南東から)



4. 408号土坑断面(南東から)



5. 408号土坑遺物出土状態(南東から)



6. 408号土坑全景(南から)



7. 421号土坑断面(南東から)



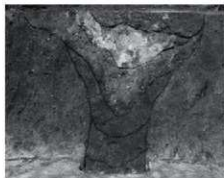
8. 421号土坑全景(南から)



9. 424号土坑断面(北から)



10. 424号土坑全景(北から)



11. 426号土坑断面(南東から)



12. 426号土坑全景(南東から)



13. 263号土坑断面(北西から)



14. 263号土坑全景(北西から)



15. 264~267号土坑断面(南西から)



1. 264号土坑全景(南から)



2. 265号土坑全景(南から)



3. 266号土坑全景(南から)



4. 267号土坑全景(南から)



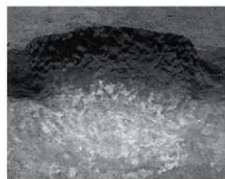
5. 268号土坑断面(北から)



6. 268号土坑全景(北から)



7. 269号土坑断面(北から)



8. 269号土坑全景(北から)



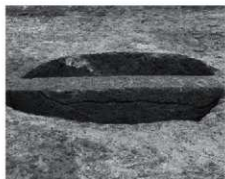
9. 270号土坑断面(北東から)



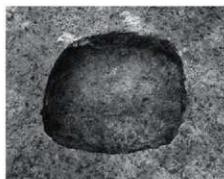
10. 272号土坑断面(南東から)



11. 272号土坑全景(南東から)



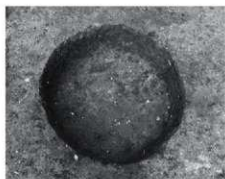
12. 273号土坑断面(南東から)



13. 273号土坑全景(南東から)



14. 274号土坑断面(南東から)



15. 274号土坑全景(南東から)



1. 275号土坑断面(南から)



2. 275号土坑全景(南から)



3. 280・282・283号土坑断面(南から)



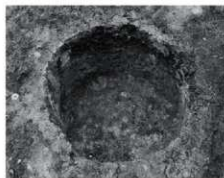
4. 280号土坑全景(南から)



5. 282号土坑全景(北から)



6. 285号土坑断面(東から)



7. 285号土坑全景(東から)



8. 286号土坑断面(南東から)



9. 286号土坑全景(南東から)



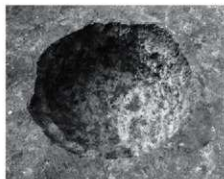
10. 287号土坑断面(南東から)



11. 287号土坑全景(南東から)



12. 290号土坑断面(南東から)



13. 290号土坑全景(南から)



14. 292号土坑断面(南西から)



15. 292号土坑全景(南から)



1. 293号土坑断面(南東から)



2. 293号土坑全景(南東から)



3. 295号土坑断面(南東から)



4. 295号土坑全景(南東から)



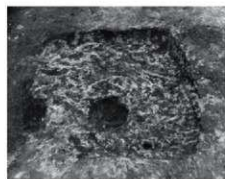
5. 309号土坑断面(南東から)



6. 309号土坑全景(南東から)



7. 310号土坑断面(北東から)



8. 310号土坑全景(北東から)



9. 311号土坑断面(北東から)



10. 311号土坑全景(南から)



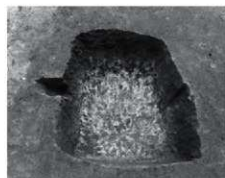
11. 312号土坑断面(南西から)



12. 312号土坑全景(南西から)



13. 317号土坑断面(西から)



14. 317号土坑全景(西から)



15. 319号土坑断面(南東から)



1. 319号土坑全景(南東から)



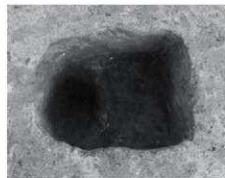
2. 320号土坑断面(南から)



3. 320号土坑全景(南から)



4. 324号土坑断面(南から)



5. 324号土坑全景(南から)



6. 327号土坑断面(北東から)



7. 327号土坑全景(北東から)



8. 332号土坑断面(南東から)



9. 332号土坑全景(南東から)



10. 334号土坑断面(北東から)



11. 334号土坑全景(北東から)



12. 335号土坑断面(北東から)



13. 335号土坑全景(北東から)



14. 337号土坑断面(東から)



15. 337号土坑全景(北東から)



1. 338号土坑断面(南西から)



2. 338号土坑全景(南西から)



3. 339号土坑断面(南東から)



4. 339号土坑全景(南東から)



5. 341号土坑断面(南から)



6. 341号土坑全景(南から)



7. 342号土坑断面(南西から)



8. 342号土坑全景(南西から)



9. 343号土坑断面(南東から)



10. 343号土坑礫検出状態(南東から)



11. 343号土坑全景(南東から)



12. 348号土坑断面(南東から)



13. 348号土坑全景(南東から)



14. 349号土坑断面(北から)



15. 349号土坑全景(北から)



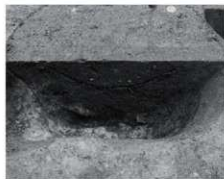
1. 350号土坑断面(南西から)



2. 355号土坑断面(東から)



3. 355号土坑全景(東から)



4. 357号土坑断面(南から)



5. 357号土坑全景(南から)



6. 358号土坑断面(南から)



7. 358号土坑全景(南東から)



8. 359号土坑断面(南から)



9. 361号土坑断面(南東から)



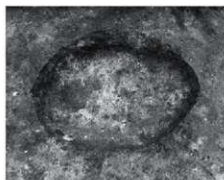
10. 361・362号土坑全景(西から)



11. 363号土坑断面(北から)



12. 368号土坑断面(南東から)



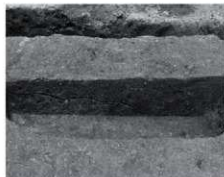
13. 368号土坑全景(南東から)



14. 370号土坑断面(南東から)



15. 370号土坑全景(北西から)



1. 371号土坑断面(南東から)



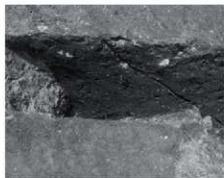
2. 371号土坑全景(南東から)



3. 372号土坑断面(南東から)



4. 372号土坑全景(南東から)



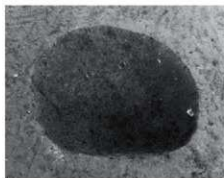
5. 373号土坑断面(南から)



6. 373号土坑全景(南西から)



7. 376号土坑断面(南西から)



8. 376号土坑全景(南西から)



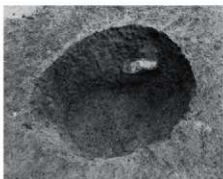
9. 377号土坑断面(南から)



10. 377号土坑全景(南から)



11. 378号土坑断面(南東から)



12. 378号土坑全景(南東から)



13. 379号土坑断面(南東から)



14. 379号土坑遺物出土状態(南東から)



15. 379号土坑全景(南東から)



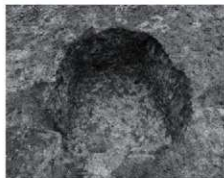
1. 380号土坑断面(南東から)



2. 380号土坑全景(南東から)



3. 382号土坑断面(南東から)



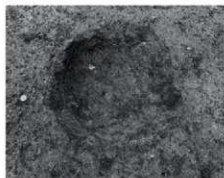
4. 382号土坑全景(南東から)



5. 383号土坑断面(西から)



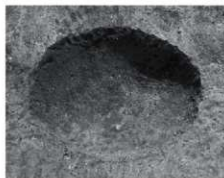
6. 383号土坑遺物出土状態(西から)



7. 383号土坑全景(西から)



8. 385号土坑断面(北東から)



9. 385号土坑全景(北東から)



10. 386号土坑断面(東から)



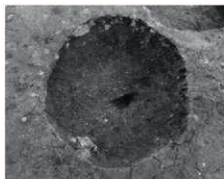
11. 386号土坑遺物出土状態(東から)



12. 386号土坑全景(東から)



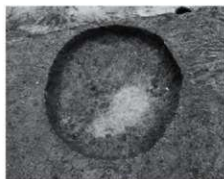
13. 387号土坑断面(北東から)



14. 387号土坑全景(北東から)



15. 388号土坑断面(北東から)



1. 388号土坑全景(北東から)



2. 389号土坑断面(北東から)



3. 390号土坑断面(北東から)



4. 389・390号土坑全景(北東から)



5. 392号土坑断面(北東から)



6. 392号土坑全景(北東から)



7. 393号土坑断面(北から)



8. 393号土坑全景(北から)



9. 394号土坑断面(南東から)



10. 394号土坑全景(南東から)



11. 399号土坑断面(南東から)



12. 399号土坑全景(南東から)



13. 401号土坑断面(南西から)



14. 401号土坑全景(南西から)



15. 402号土坑断面(南から)



1. 402号土坑全景(南から)



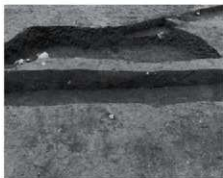
2. 403号土坑断面(北東から)



3. 404号土坑断面(南東から)



4. 404号土坑全景(南東から)



5. 405号土坑断面(南東から)



6. 405号土坑全景(南東から)



7. 406号土坑断面(南東から)



8. 406号土坑全景(南東から)



9. 410号土坑断面(西から)



10. 410号土坑全景(西から)



11. 411号土坑断面(東から)



12. 411号土坑全景(東から)



13. 412号土坑断面(東から)



14. 412号土坑全景(南から)



15. 413号土坑断面(南東から)



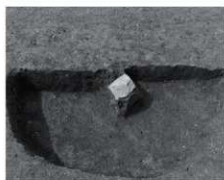
1. 413号土坑全景(南東から)



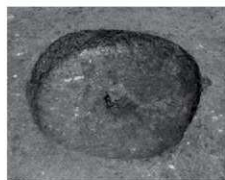
2. 414号土坑断面(南から)



3. 414号土坑全景(南から)



4. 415号土坑断面(南から)



5. 415号土坑全景(南から)



6. 416号土坑断面(南から)



7. 416号土坑全景(南東から)



8. 417号土坑断面(南東から)



9. 417号土坑全景(南東から)



10. 418号土坑断面(南東から)



11. 418号土坑全景(南東から)



12. 419号土坑断面(南東から)



13. 419号土坑全景(北東から)



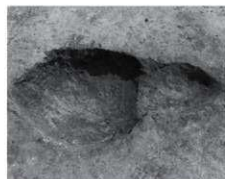
14. 420号土坑断面(北東から)



15. 420号土坑全景(東から)



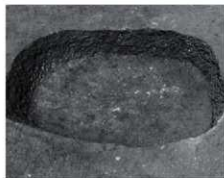
1. 422号土坑・254号ピット断面(南西から)



2. 422号土坑・254号ピット全景(南西から)



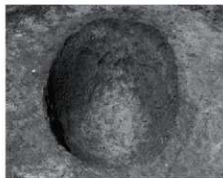
3. 423号土坑断面(東から)



4. 423号土坑全景(南から)



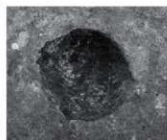
5. 425号土坑断面(東から)



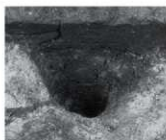
6. 425号土坑全景(東から)



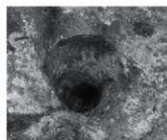
7. 62号ピット断面(南から)



8. 62号ピット全景(南から)



9. 63号ピット断面(南東から)



10. 63号ピット全景(南東から)



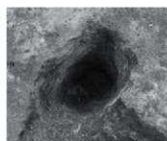
11. 64号ピット断面(東から)



12. 64号ピット全景(東から)



13. 66号ピット断面(西から)



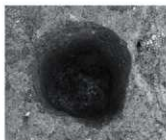
14. 66号ピット全景(西から)



15. 67号ピット断面(西から)



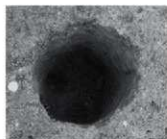
16. 69号ピット断面(南から)



17. 69号ピット全景(南から)



18. 70号ピット断面(南から)



1.70号ピット全景(南から)



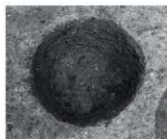
2.71号ピット断面(南から)



3.71号ピット全景(南から)



4.72号ピット断面(南東から)



5.72号ピット全景(南東から)



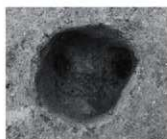
6.77号ピット断面(北西から)



7.77号ピット全景(北西から)



8.81号ピット断面(南東から)



9.81号ピット全景(南東から)



10.84号ピット断面(南から)



11.84号ピット全景(南から)



12.85号ピット断面(南から)



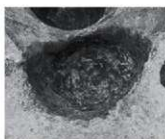
13.85号ピット全景(南から)



14.86号ピット全景(北西から)



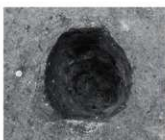
15.87号ピット断面(南から)



16.87号ピット全景(北から)



17.88号ピット断面(南東から)



18.88号ピット全景(南東から)



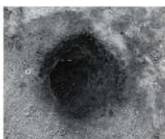
19.90号ピット断面(南から)



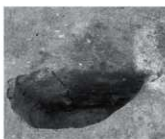
20.90号ピット全景(南から)



21.91号ピット断面(南東から)



22.91号ピット全景(南東から)



23.95号ピット断面(南東から)



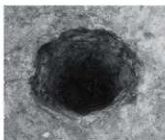
24.96号ピット断面(南東から)



1.96号ピット全景(南から)



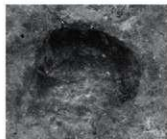
2.97号ピット断面(南東から)



3.97号ピット全景(南東から)



4.98号ピット断面(南東から)



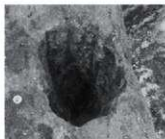
5.98号ピット全景(南東から)



6.100号ピット断面(西から)



7.101号ピット断面(南から)



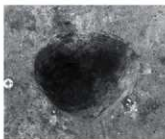
8.101号ピット全景(南から)



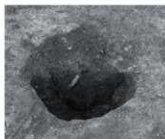
9.105号ピット断面(南東から)



10.106号ピット断面(南から)



11.106号ピット全景(南から)



12.107号ピット断面(南東から)



13.107号ピット全景(南東から)



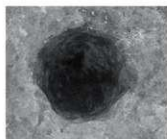
14.108号ピット断面(南から)



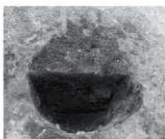
15.108号ピット全景(南から)



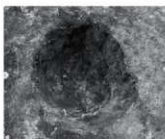
16.109号ピット断面(東から)



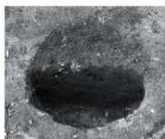
17.109号ピット全景(東から)



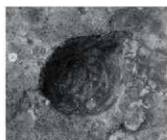
18.110号ピット断面(北東から)



19.110号ピット全景(北東から)



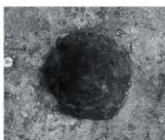
20.111号ピット断面(南から)



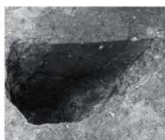
21.111号ピット全景(南から)



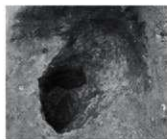
22.112号ピット断面(南から)



23.112号ピット全景(南から)



24.113号ピット断面(南東から)



1.113号ピット全景(南東から)



2.115号ピット断面(北から)



3.115号ピット全景(北から)



4.116号ピット断面(南から)



5.116号ピット全景(南から)



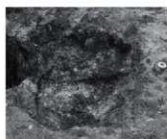
6.117号ピット断面(北から)



7.117号ピット全景(北から)



8.118号ピット検出状態(西から)



9.118号ピット断面(北から)



10.118号ピット全景(北から)



11.119号ピット断面(南東から)



12.119号ピット全景(南東から)



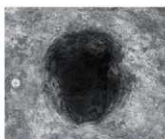
13.120号ピット断面(南から)



14.120号ピット全景(南から)



15.121号ピット断面(東から)



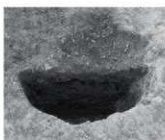
16.121号ピット全景(東から)



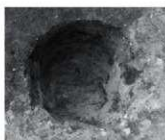
17.122号ピット断面(南から)



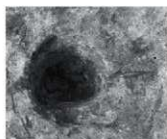
18.122号ピット全景(南から)



19.123号ピット断面(南東から)



20.123号ピット全景(南東から)



21.125号ピット全景(南から)



22.126号ピット断面(南東から)



23.126号ピット全景(南東から)



24.127号ピット断面(南東から)



1.127号ビット全景(南東から)



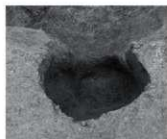
2.128号ビット断面(北から)



3.129号ビット断面(北東から)



4.130号ビット断面(南から)



5.130号ビット全景(北から)



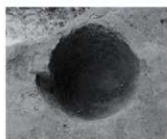
6.131号ビット断面(北東から)



7.131号ビット全景(南西から)



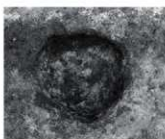
8.132号ビット断面(西から)



9.132号ビット全景(西から)



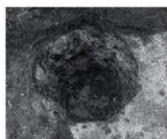
10.133号ビット断面(北西から)



11.133号ビット全景(北西から)



12.134号ビット断面(西から)



13.134号ビット全景(西から)



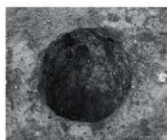
14.135号ビット断面(南から)



15.135号ビット全景(南から)



16.136号ビット断面(南から)



17.136号ビット全景(南から)



18.137号ビット断面(南から)



19.137号ビット全景(南から)



20.138号ビット断面(南から)



21.138号ビット全景(南から)



22.139号ビット断面(東から)



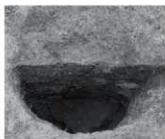
23.139号ビット全景(東から)



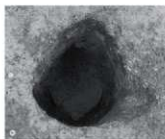
24.140号ビット断面(西から)



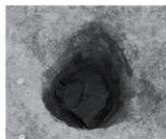
1. 140号ピット全景(西から)



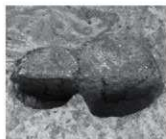
2. 141号ピット断面(西から)



3. 141号ピット全景(西から)



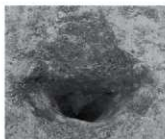
4. 141号ピット石吐状態(西から)



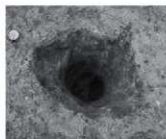
5. 143・144号ピット断面(縮尺から)



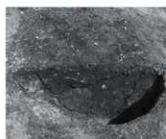
6. 143・144号ピット全景(南西から)



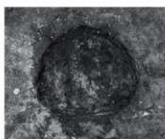
7. 145号ピット断面(南から)



8. 145号ピット全景(南から)



9. 146号ピット断面(南東から)



10. 146号ピット全景(南東から)



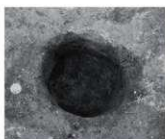
11. 147号ピット断面(南東から)



12. 147号ピット全景(南東から)



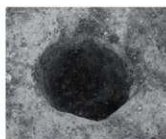
13. 149号ピット断面(西から)



14. 149号ピット全景(西から)



15. 150号ピット断面(南から)



16. 150号ピット全景(南から)



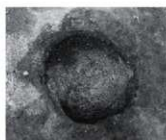
17. 151・152号ピット断面(西から)



18. 151・152号ピット全景(西から)



19. 153号ピット断面(西から)



20. 153号ピット全景(西から)



21. 154号ピット断面(南西から)



22. 154号ピット断面(南東から)



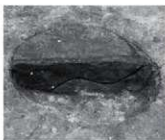
23. 154・155号ピット全景(南東から)



24. 158号ピット断面(西から)



1.158号ピット全景(西から)



2.159号ピット断面(南から)



3.159号ピット全景(南から)



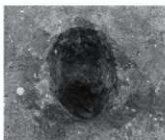
4.160号ピット断面(南から)



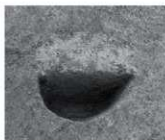
5.160号ピット全景(南から)



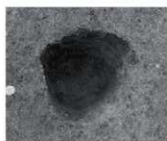
6.161号ピット断面(南から)



7.161号ピット全景(南から)



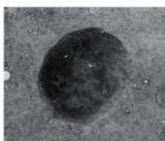
8.162号ピット断面(南から)



9.162号ピット全景(南から)



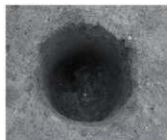
10.163号ピット断面(南から)



11.163号ピット全景(南から)



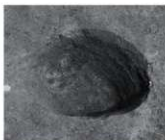
12.164号ピット断面(南東から)



13.164号ピット全景(南東から)



14.165号ピット断面(南東から)



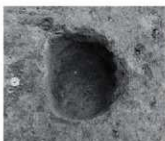
15.165号ピット全景(南東から)



16.174号ピット遺跡分布状態(西から)



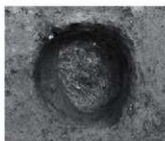
17.174号ピット断面(南から)



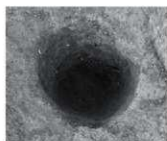
18.174号ピット全景(南から)



19.175号ピット断面(南東から)



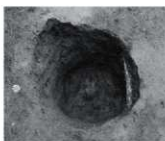
20.175号ピット全景(南東から)



21.176号ピット全景(南東から)



22.177号ピット断面(南東から)



23.177号ピット全景(南東から)



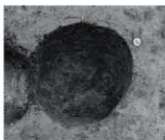
24.178号ピット断面(南東から)



1.178号ビット全景(南東から)



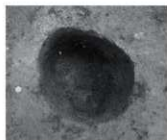
2.179号ビット断面(北東から)



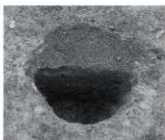
3.179号ビット全景(北東から)



4.180号ビット断面(北東から)



5.180号ビット全景(北東から)



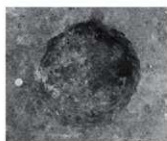
6.181号ビット断面(南から)



7.181号ビット全景(南から)



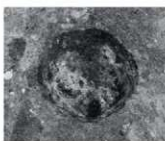
8.182号ビット断面(南から)



9.182号ビット全景(南から)



10.183号ビット断面(南から)



11.183号ビット全景(南から)



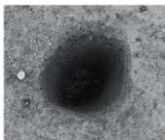
12.184号ビット断面(南から)



13.184号ビット全景(南から)



14.185号ビット断面(東から)



15.185号ビット全景(東から)



16.186号ビット断面(南東から)



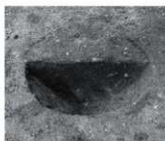
17.186号ビット全景(南東から)



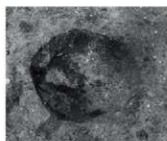
18.187号ビット断面(西から)



19.187号ビット全景(西から)



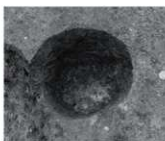
20.188号ビット断面(東から)



21.188号ビット全景(東から)



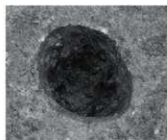
22.189号ビット断面(南から)



23.189号ビット全景(南から)



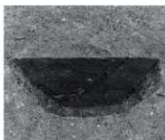
24.190号ビット断面(南東から)



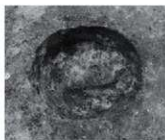
1.190号ビット全景(南東から)



2.191号ビット断面(東から)



3.192号ビット断面(南から)



4.192号ビット全景(南から)



5.193号ビット断面(南から)



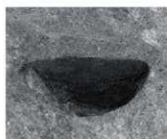
6.193号ビット全景(南から)



7.194号ビット断面(東から)



8.194号ビット断面(東から)



9.195号ビット断面(西から)



10.195号ビット全景(西から)



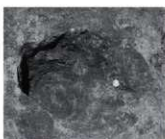
11.196号ビット断面(南東から)



12.196号ビット全景(南東から)



13.197号ビット断面(南東から)



14.197号ビット全景(南東から)



15.198号ビット断面(南東から)



16.198号ビット全景(南東から)



17.199号ビット断面(南東から)



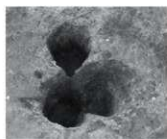
18.199号ビット全景(南東から)



19.200・201号ビット断面(東から)



20.204号ビット断面(南西から)



21.200・201・204号ビット全景(東から)



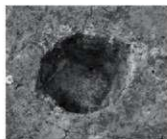
22.202号ビット断面(南東から)



23.202号ビット全景(南東から)



24.203号ビット断面(南東から)



1.203号ビット全景(南東から)



2.205号ビット断面(南から)



3.206・206号ビット全景(南西から)



4.207号ビット断面(南から)



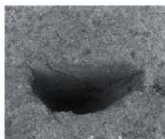
5.207号ビット全景(南から)



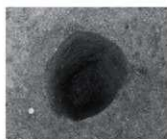
6.208号ビット断面(南東から)



7.208号ビット全景(南東から)



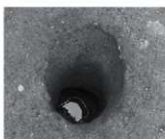
8.213号ビット断面(南東から)



9.213号ビット全景(南から)



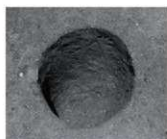
10.214号ビット断面(南東から)



11.214号ビット全景(南から)



12.217号ビット断面(南東から)



13.217号ビット全景(南東から)



14.218号ビット断面(南東から)



15.218号ビット全景(南東から)



16.219号ビット断面(南東から)



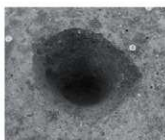
17.220号ビット断面(南東から)



18.219・220号ビット全景(南東から)



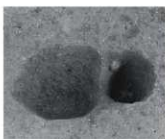
19.221号ビット断面(南東から)



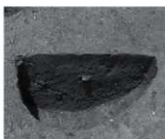
20.221号ビット全景(南東から)



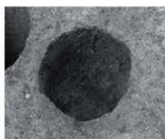
21.222・223号ビット断面(東から)



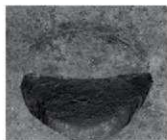
22.222・223号ビット全景(東から)



23.224号ビット断面(東から)



24.224号ビット全景(南東から)



1.225号ビット断面(南東から)



2.225号ビット全景(南東から)



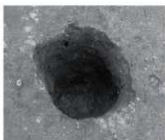
3.226号ビット断面(南東から)



4.226号ビット全景(南東から)



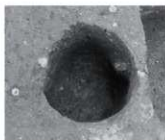
5.227号ビット断面(南東から)



6.227号ビット全景(南東から)



7.231号ビット断面(南東から)



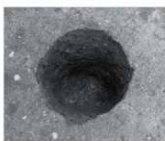
8.231号ビット全景(南東から)



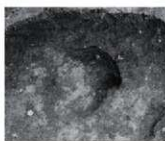
9.232号ビット断面(南東から)



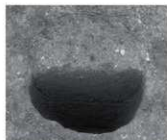
10.234号ビット断面(南東から)



11.234号ビット全景(南東から)



12.235号ビット全景(東から)



13.236号ビット断面(南東から)



14.236号ビット全景(南東から)



15.238号ビット断面(南東から)



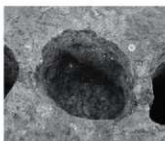
16.241号ビット断面(南東から)



17.241号ビット全景(南東から)



18.242号ビット断面(南東から)



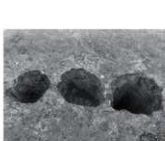
19.242号ビット全景(南東から)



20.243号ビット断面(南東から)



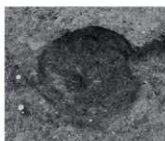
21.243号ビット全景(南から)



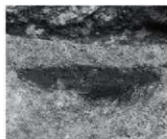
22.240~243号ビット全景(南東から)



23.244号ビット断面(南東から)



24.244号ビット全景(南東から)



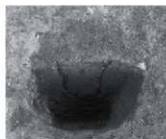
1. 245号ビット断面(西から)



2. 245号ビット全景(南西から)



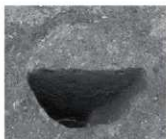
3. 246号ビット断面(南東から)



4. 247号ビット断面(南東から)



5. 247号ビット全景(南東から)



6. 248号ビット断面(南東から)



7. 248号ビット全景(南東から)



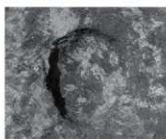
8. 250号ビット断面(南から)



9. 250号ビット全景(南から)



10. 251号ビット断面(南から)



11. 251号ビット全景(南から)



12. 252号ビット断面(南から)



13. 252号ビット全景(南から)



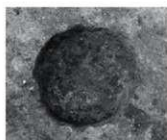
14. 253号ビット断面(南から)



15. 253号ビット全景(南から)



16. 255号ビット断面(南東から)



17. 255号ビット全景(南東から)



18. 1号掘立柱建物全景(北西から)



19. 1号掘立柱建物P1断面(南東から)



1. 1号掘立柱建物P1全景(南東から)



2. 1号掘立柱建物P2断面(南東から)



3. 1号掘立柱建物P2全景(南東から)



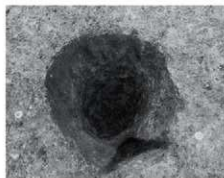
4. 1号掘立柱建物P3断面(南東から)



5. 1号掘立柱建物P3全景(南東から)



6. 1号掘立柱建物P4断面(南東から)



7. 1号掘立柱建物P4全景(南東から)



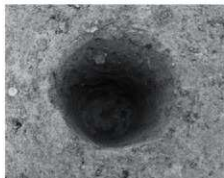
8. 1号掘立柱建物P5断面(南東から)



9. 1号掘立柱建物P5全景(南東から)



10. 1号掘立柱建物P6断面(南東から)



11. 1号掘立柱建物P6全景(南東から)



12. 1号掘立柱建物P7断面(南から)



13. 1号掘立柱建物P7全景(南から)



14. 1号掘立柱建物P8断面(南から)



15. 1号掘立柱建物P9断面(南東から)



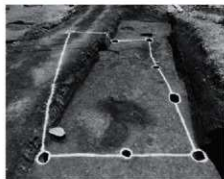
1. 1号掘立柱建物P9全景(南東から)



2. 1号掘立柱建物P10断面(南西から)



3. 1号掘立柱建物P10全景(南西から)



4. 2号掘立柱建物P1全景(東から)



5. 2号掘立柱建物P1断面(西から)



6. 2号掘立柱建物P1全景(西から)



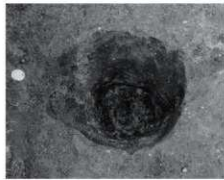
7. 2号掘立柱建物P2断面(南から)



8. 2号掘立柱建物P2全景(南から)



9. 2号掘立柱建物P3断面(東から)



10. 2号掘立柱建物P3全景(東から)



11. 2号掘立柱建物P4断面(東から)



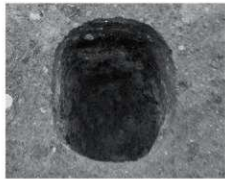
12. 2号掘立柱建物P5断面(東から)



13. 2号掘立柱建物P5全景(東から)



14. 2号掘立柱建物P6断面(南東から)



15. 2号掘立柱建物P6全景(南東から)



1. 2号掘立柱建物P7断面(南から)



2. 2号掘立柱建物P7全景(南から)



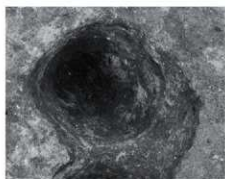
3. 2号掘立柱建物P8断面(南から)



4. 2号掘立柱建物P8全景(南から)



5. 2号掘立柱建物P9断面(北東から)



6. 2号掘立柱建物P9全景(北東から)



7. 2号礎石建物全景(南東から)



8. 2号礎石建物西側全景(北東から)



9. 2号礎石建物礎石1(北東から)



10. 2号礎石建物礎石2(北東から)



11. 2号礎石建物礎石3(北東から)



12. 2号礎石建物礎石4(北東から)



13. 2号礎石建物礎石5(北東から)



14. 2号礎石建物礎石2完堀(北東から)



15. 2号礎石建物礎石3完堀(北東から)



1. 2号礎石建物礎石4完堀(北東から)



2. 2号礎石建物礎石5完堀(北東から)



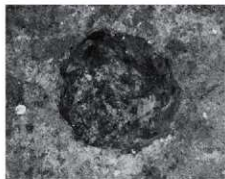
3. 1・2号柵全景(南東から)



4. 1・2号柵全景(南西から)



5. 1号柵P1断面(南東から)



6. 1号柵P1全景(南東から)



7. 1号柵P2断面(北西から)



8. 1号柵P2全景(南から)



9. 1号柵P3断面(南東から)



10. 1号柵P3全景(南東から)



11. 1号柵P4断面(南東から)



12. 1号柵P4全景(南東から)



13. 1号柵P5断面(南東から)



14. 1号柵P5全景(南東から)



15. 1号柵P6断面(南東から)



1. 1号柵P6全景(南東から)



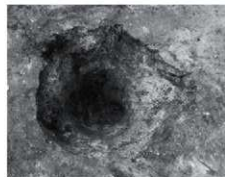
2. 2号柵P1断面(南東から)



3. 2号柵P1全景(南東から)



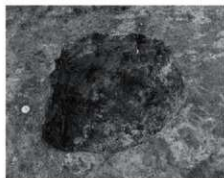
4. 2号柵P2断面(南東から)



5. 2号柵P2全景(南東から)



6. 2号柵P3断面(南東から)



7. 2号柵P3全景(南東から)



8. 2号柵P4断面(北から)



9. 2号柵P4全景(南から)



10. 3号柵全景(西から)



11. 3号柵P1断面(南から)



12. 3号柵P1全景(南から)



13. 3号柵P2断面(北東から)



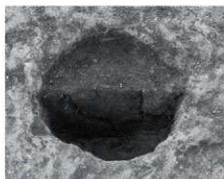
14. 3号柵P2全景(北東から)



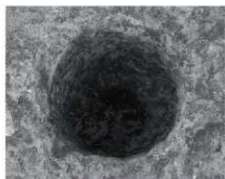
15. 3号柵P3断面(南東から)



1. 3号柵P3全景(南東から)



2. 3号柵P4断面(南東から)



3. 3号柵P4全景(南東から)



4. 4号柵全景(北東から)



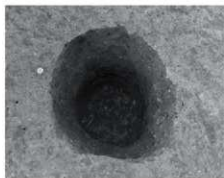
5. 4号柵P1断面(南東から)



6. 4号柵P2断面(南東から)



7. 4号柵P3断面(南東から)



8. 4号柵P3全景(南東から)



9. 4号柵P4断面(南東から)



10. 4号柵P4全景(南東から)



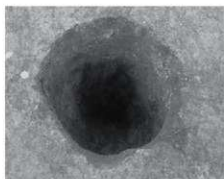
11. 4号柵P5断面(南東から)



12. 4号柵P5全景(東から)



13. 4号柵P6断面(南東から)



14. 4号柵P6全景(南東から)



15. 4号柵P7断面(南東から)



1. 4号柵P7全景(南東から)



2. 5号柵全景(南東から)



3. 5号柵P1断面(南東から)



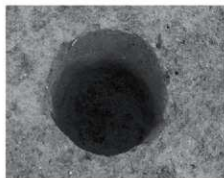
4. 5号柵P1全景(南東から)



5. 5号柵P2断面(南東から)



6. 5号柵P2全景(南東から)



7. 5号柵P3全景(南から)



8. 5号柵P4断面(南東から)



9. 5号柵P4全景(南東から)



10. 5号柵P5断面(南東から)



11. 5号柵P5全景(南東から)



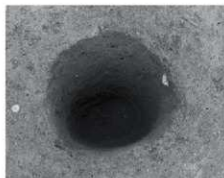
12. 5号柵P6断面(南東から)



13. 5号柵P6全景(南東から)



14. 5号柵P7断面(南東から)



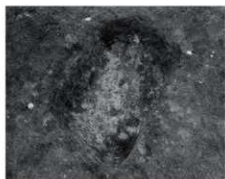
15. 5号柵P7全景(南東から)



1. 4号集石断面(北東から)



2. 5号集石礫出土状態(北から)



3. 5号集石全景(東から)



4. 6号集石礫出土状態(南から)



5. 6号集石断面(北から)



6. 6号集石全景(北から)



7. 7号集石礫出土状態(東から)



8. 7号集石断面(東から)



9. 7号集石全景(東から)



10. 8号集石断面(北東から)



11. 1号石垣全景(南から)



12. 1号石垣全景(西から)



13. 1号石垣断面(西から)



14. 1号石垣断面(南西から)



15. 21号焼土確認面(東から)



1. 21号焼土断面(南から)



2. 21号焼土全景(南から)



3. 22号焼土断面(南から)



4. 22号焼土全景(南から)



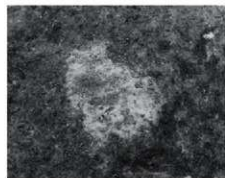
5. 23号焼土確認面(東から)



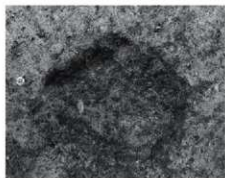
6. 23号焼土断面(西から)



7. 23号焼土全景(西から)



8. 24号焼土確認面(東から)



9. 24号焼土全景(南から)



10. 25号焼土横出状態(西から)



11. 25号焼土断面(西から)



12. 25号焼土全景(西から)



13. 26号焼土確認面(南から)



14. 26号焼土断面(南から)



15. 26号焼土全景(南から)



1. 27号焼土検出状態(北東から)



2. 27号焼土断面(南東から)



3. 27号焼土全景(南西から)



4. 28号焼土検出状態(北東から)



5. 28号焼土断面(南東から)



6. 28号焼土全景(南西から)



7. 29号焼土検出状態(南から)



8. 29号焼土断面(南から)



9. 29号焼土全景(南から)



10. 30号焼土検出状態(南から)



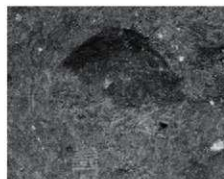
11. 31号焼土検出状態(南から)



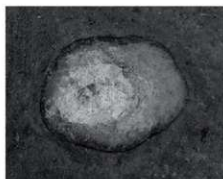
12. 32号焼土検出状態(東から)



13. 32号焼土断面(東から)



14. 32号焼土全景(東から)



15. 33号焼土検出状態(南東から)



1. 33号焼土断面(南東から)



2. 33号焼土全景(南東から)



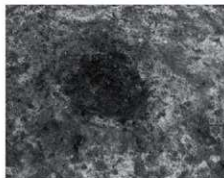
3. 34号焼土石検出状態(北東から)



4. 34号焼土断面(北東から)



5. 34号焼土全景(北東から)



6. 35号焼土検出状態(北西から)



7. 35号焼土断面(南東から)



8. 36号焼土確認面(南西から)



9. 36号焼土断面(南東から)



10. 36号焼土全景(南西から)



11. 37号焼土検出状態(東から)



12. 37号焼土断面(北東から)



13. 37号焼土全景(北東から)



14. 38号焼土確認面(南東から)



15. 38号焼土断面(南東から)



1. 38号焼土遺物出土状態(南東から)



2. 1号溝断面(西から)



3. 1号溝全景(西から)



4. 2号溝断面(西から)



5. 2号溝全景(西から)



6. 3号溝断面(東から)



7. 3号溝全景(東から)



8. 4号溝全景(東から)



9. 5号溝断面(東から)



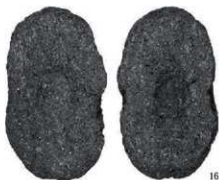
10. 5号溝全景(東から)

PL.64

33号住居出土遺物



35号住居出土遺物(1)



35号住居出土遺物(2)



18



19



20



21



22



23



24



25



26

51号住居出土遺物(1)



1



2



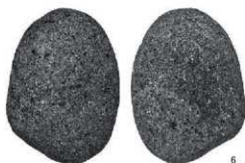
3



4



5



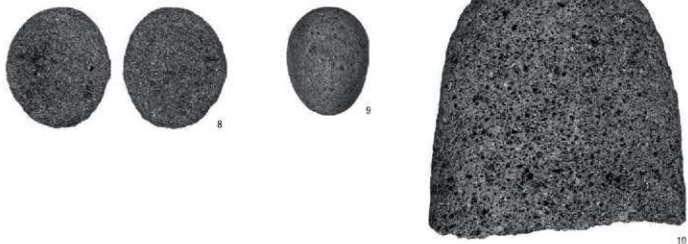
6



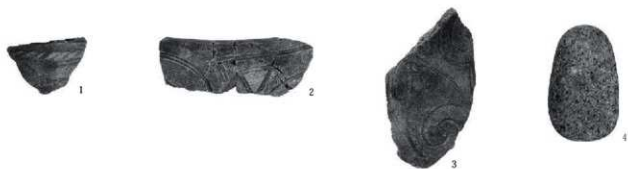
7

PL.66

51号住居出土遺物(2)



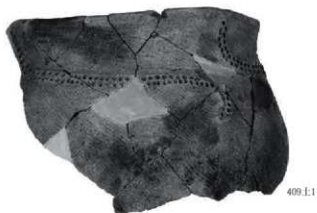
56号住居出土遺物



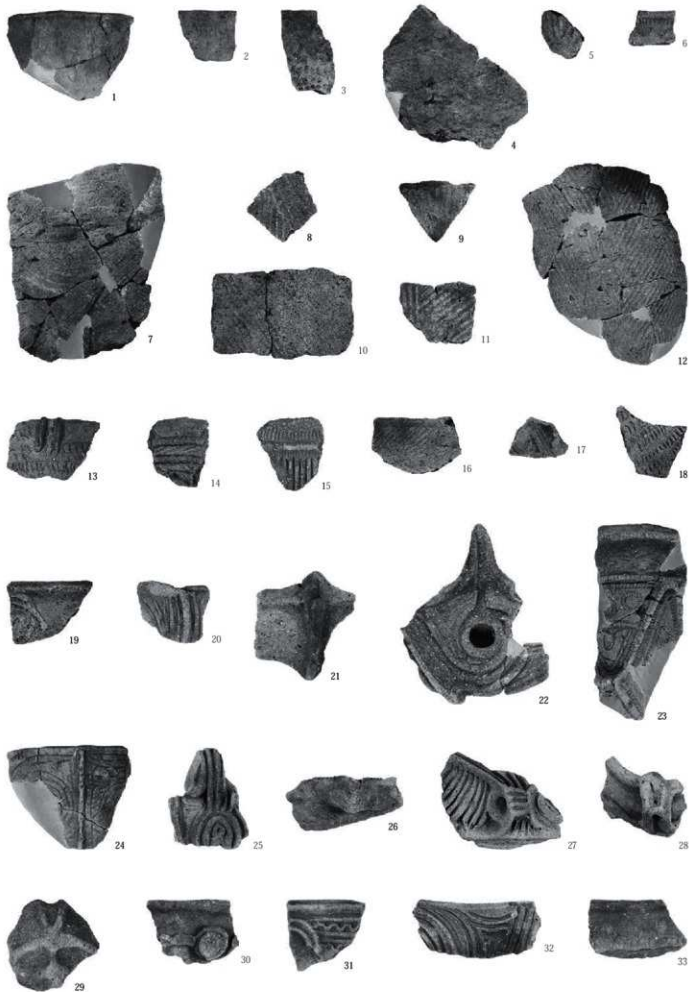
57号住居出土遺物



土坑(縄文時代)出土遺物

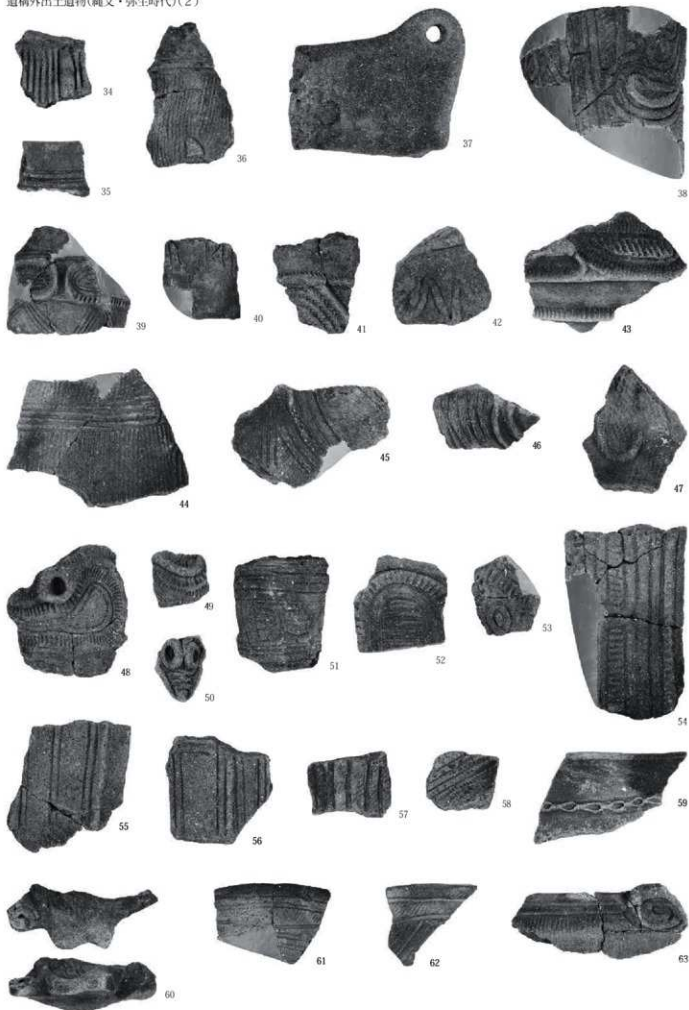


道構外出土遺物(縄文・弥生時代)(1)



PL.68

遺構外出土遺物(縄文・弥生時代)(2)



道橋外出土遺物(縄文・弥生時代)(3)



64



65



66



67



68



69



70



71



72



73



74



75



76



77



78



79



80



81



82



83



84



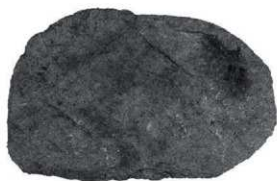
85



86



87



89



88



90



94



91



92



93



95



96



97



98



99



100



101



102



103



104



105

道橋外出土遺物(縄文・弥生時代)(5)



106



107



108



109



110



111



112



113



114



115



116



117



118



119



120



121



122



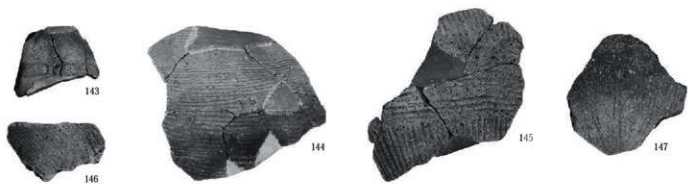
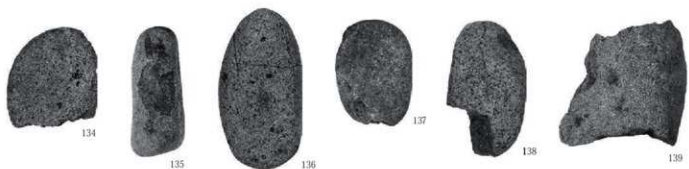
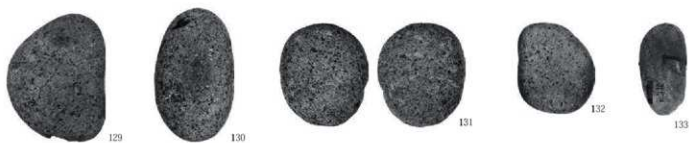
124



123



125



52号住居出土遺物



53号住居出土遺物



54号住居出土遺物

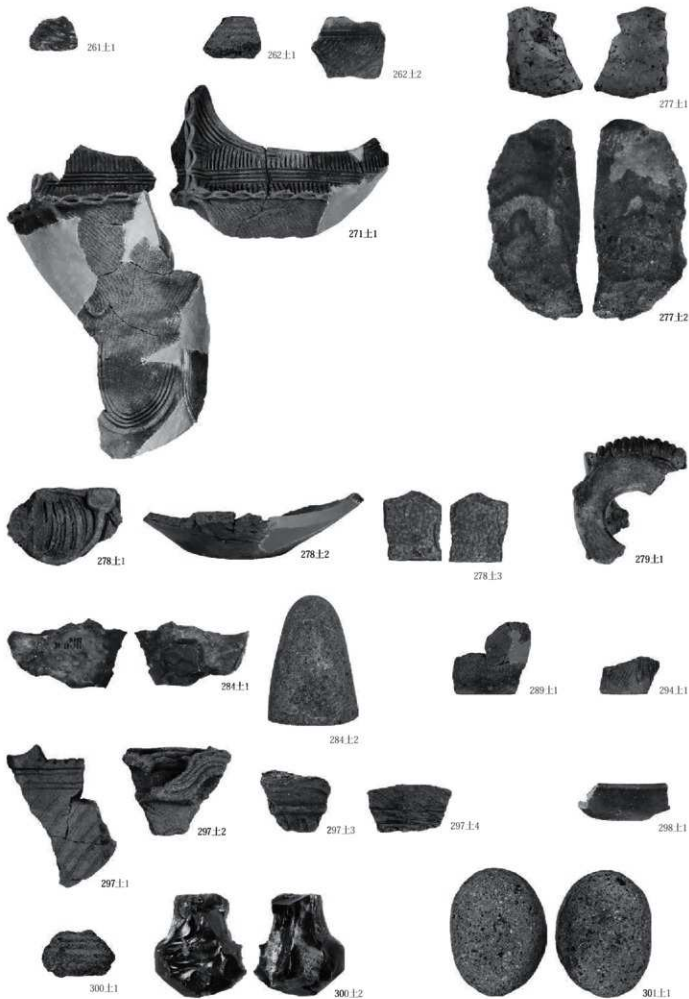


55号住居出土遺物



PL.74

土坑(陥し穴)出土遺物(1)



土坑(陥し穴)出土遺物(2)



302.L1



303.L1



304.L1



306.L1



313.L1



318.L1



318.L2



322.L1



322.L2



325.L1



326.L1



328.L1



329.L1



347.L1



347.L2



347.L3



351.L1



364.L1



365.L1



367.L1



384.L1



396.L1



395.L1



395.L2



397.L1



397.L2



397.L3



400.L1



408.L1



408.L2



421.L1



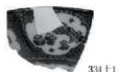
426.L1

PL.76

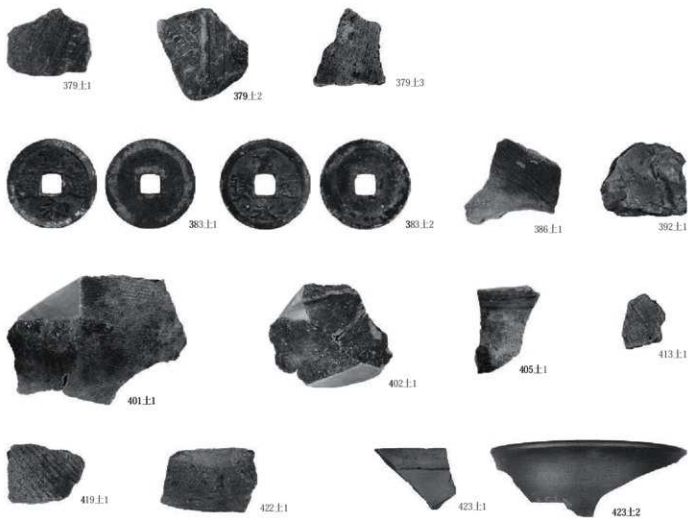
土坑(近世)出土遺物



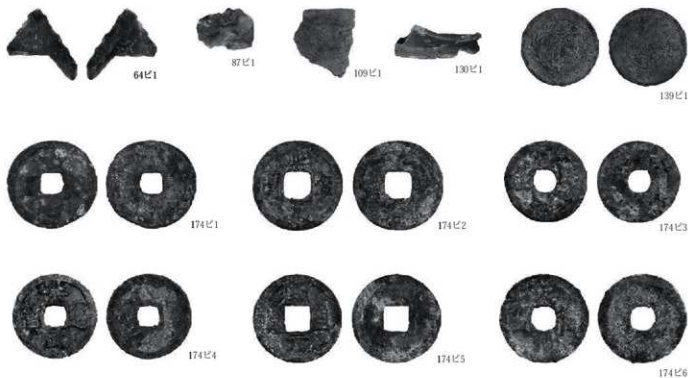
土坑(中近世)出土遺物(1)



土坑(中近世)出土遺物(2)

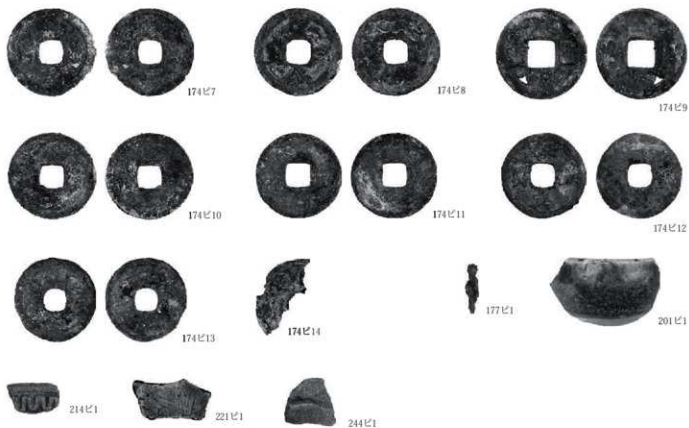


ピット出土遺物(1)



PL.78

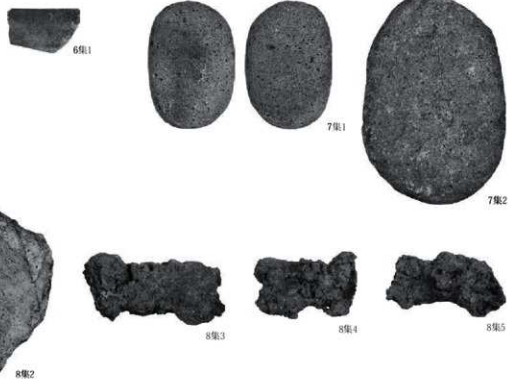
ビット出土遺物(2)



5号掘出土遺物



集石出土遺物



1号石垣出土遺物



焼土出土遺物



遺構外出土遺物(平安時代以降)(1)





26



27



28



29



30



33



31



32



36



34



35



37

報告書抄録

書名ふりがな	うえのたいらいちいせき さん
書名	上ノ平I遺跡(3)
副書名	八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	57
シリーズ名	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	637
編著者名	麻生敏隆
編集機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20180315
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784-2
遺跡名ふりがな	うえのたいらいちいせき
遺跡名	上ノ平I遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんあがつまぐんながのはらまちおおあざかわらはたあざうえのたいら
遺跡所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字川原畑字上ノ平
市町村コード	10424
遺跡番号	0005
北緯(日本測地系)	373302
東経(日本測地系)	1394211
北緯(世界測地系)	377313
東経(世界測地系)	1394159
調査期間	20160501-20160731
調査面積	4,350
調査原因	八ッ場ダム建設工事に伴う代替地造成工事
種別	集落／その他
主な時代	縄文・平安・中近世
遺跡概要	集落—縄文—竪穴住居5、土坑1、平安—竪穴住居5、土坑、溝5、集石5、石垣1
特記事項	縄文時代中期後半から後期初頭の竪穴住居や平安時代の集落と陥し穴
概要	本書は八ッ場ダム建設工事に伴い平成28年度に発掘調査が行われた上ノ平I遺跡の報告である。吾妻川の左岸に形成された河岸段丘最上位面上に位置し、南に開く緩やかな扇状地形である。標高は630～660mで、東側の東沢と西側のさかえ沢に挟まれ、遺跡内には湧水点も存在する。現在の河床からの高さは約90～120mに位置する。検出された遺構・遺跡は、縄文時代の中期後半から後期初頭の竪穴住居、平安時代の集落と陥し穴、近世の掘立柱建物などが検出された。今回は、縄文時代の竪穴住居5棟と土坑1基、平安時代の竪穴住居5棟と陥し穴72基、近世の掘立柱建物2棟と礎石建物1棟、土坑93基、溝5本、石垣1か所など、遺物は縄文土器や石器、平安時代の土師器や須恵器、中近世の陶磁器、金属製品などを報告する。

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第637集

上ノ平 I 遺跡(3)

八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第57集

平成30(2018)年3月8日 印刷

平成30(2018)年3月15日 発行

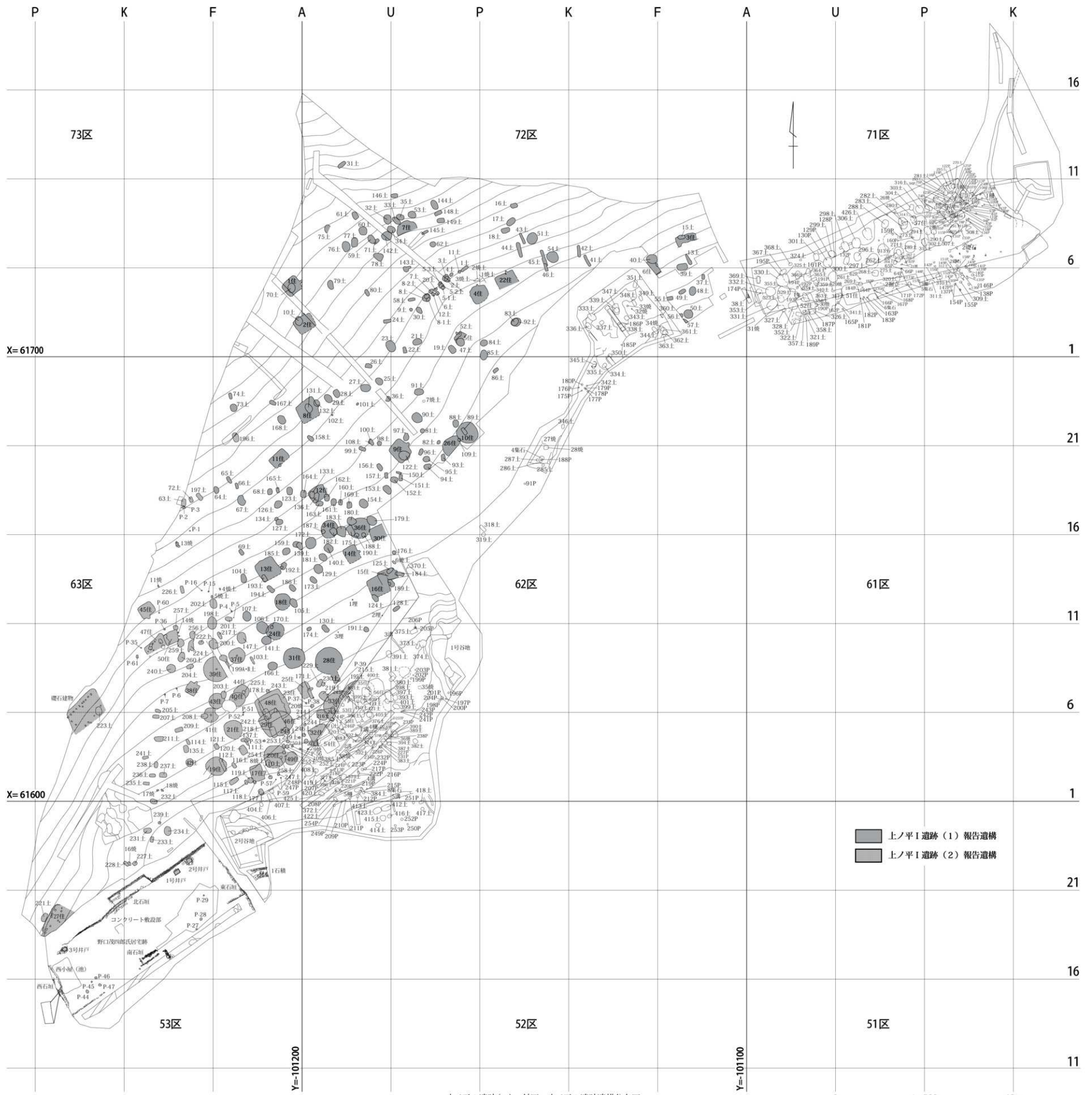
編集・発行／公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北碓町下箱田1784番地2

電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／ジャーナル印刷株式会社



上ノ平I遺跡(3) 付図 上ノ平I遺跡遺構分布図

0 1:500 40m

